

埼玉県における大学と地域等との連携事例（令和7年度）

No.	大学名	取組名	事業の始期	連携先1	連携先2	連携先3	事業内容
1	埼玉大学	連続市民講座	平成21年度	企業	地方自治体		読売新聞さいたま支局との共催で、埼玉大学における研究成果の一端を市民の皆さまに紹介し、豊かな地域づくりに役立てていただくことを目的として実施している。令和7年度は「現代社会を生きるⅡ ～イノベーションとのつきあい方～」をテーマに全5回開講した。
2	埼玉大学	埼玉大学産学官連携協議会	平成12年度	企業			県内企業等と埼玉大学の研究とを有機的に結びつけ、地域産業の一層の発展を図ることを目的に設立され、県内企業等の経営者、技術者および埼玉大学の研究者との交流の場を提供する産学交流事業、埼玉大学における各種情報発信、共同研究等への発展が期待される研究課題についての研究会活動などを実施している。
3	埼玉大学	埼玉大学高大連携講座	平成12年度	高等学校			高等学校生徒に大学教育を開放し、もって大学教育及び本学に対する理解並びに高等学校教育の一層の向上を計ることを目的として、本学と協定を締結している高等学校の生徒に対し、本学で開講している正規授業を受講してもらい、希望者には本学の規則に基づいて単位を認定している。 ※協定締結校：県立浦和高等学校、県立浦和北高等学校、県立川口北高等学校、県立大宮高等学校、県立浦和西高等学校、県立浦和第一女子高等学校、さいたま市立浦和高等学校、さいたま市立浦和南高等学校、さいたま市立大宮北高等学校、さいたま市立大宮国際中等教育学校、学校法人武陽学園西武台高校
4	埼玉大学	地域企業等と連携した教育プログラムの実施 「AL1（課題解決型プログラムa）」 「AL2（課題解決型プログラムa）」 「AL2（課題解決型プログラムb）」	平成29年度	企業			学生の課題解決力及び就業意識を高め、県内企業への理解を深めるとともに、自ら「主体的」に学び行動する力を身につけることを目的に平成29年度から実施している正規授業（AL1は全8回、AL2は全16回）である。授業の最初に埼玉大学と民間企業との共同研究により開発されたキャリア支援アセスメント「長所発見テスト（VSAT）」を受検してもらい、その結果レポートを手掛かりに、自身の可能性と将来について考えを深めてもらい、その後、各企業が提示する課題に対して個人やグループワークをとおして課題解決に結びつく提案を行った。なお、「長所発見テスト（VSAT）」については、参加企業の社員にも受検してもらい、将来このような企業で活躍するならばどのようなスキルが求められるかを学生自身が考えるきっかけとするため、受検結果を学生たちと共有し、それにより、企業理解の一層の促進を図っている。
5	埼玉大学	地域企業等と連携した教育プログラムの実施 「AL2（課題解決型プログラムc）」	平成28年度	企業			地域の魅力づくり・活性化と、次世代の地域づくりを担う人材育成を目的とした包括連携協定を締結しているJR東日本大宮支社と連携し実施している正規授業（全16回）である。令和7年度は、越谷市周辺地域の活性化をテーマとし、フィールドワーク、グループワーク、関係者や地域住民へのインタビュー等を基に、課題解決策の提案を行った。
6	埼玉大学	地域企業等と連携した教育プログラムの実施 「AL2（課題解決型プログラムd）」	令和7年度	企業			JT（日本たばこ産業株式会社）と連携し実施している正規授業（全16回）である。「所沢航空発祥記念館の来場者アップの具体的プランを提言する」をテーマにフィールドワーク、グループワークを通して課題解決策を作成し、埼玉県への提案を行った。
7	埼玉大学	地域企業等と連携した教育プログラムの実施 「AL1（課題解決型プログラムb）」	令和6年度	企業			ところざわサクラタウン（KADOKAWA）と連携し実施している正規授業（全8回）である。興味のあるテーマごとにグループ編成を行い、グループワーク、フィールドワーク、関係者へのインタビュー、アンケート等を基に解決策の提案を行った。
8	埼玉大学	地域企業等と連携した教育プログラムの実施 「AL1（課題解決型プログラムc）」	令和6年度	企業	地方自治体		株式会社エコスと連携し実施している正規授業（全8回）である。フィールドワーク、グループワークを通して、お惣菜、お弁当などの新商品の企画、開発等課題解決策の提案を行った。
9	埼玉大学	地域企業等と連携した教育プログラムの実施 「AL1（課題解決型プログラムd）」	令和5年度	企業			地域の魅力づくり・活性化と、次世代の地域づくりを担う人材育成を目的とした包括連携協定を締結している株式会社さいたまアリーナと連携し実施している正規授業（全8回）である。興味のあるテーマごとにグループ編成を行い、グループワーク、フィールドワーク、関係者へのインタビュー、アンケート等を基に解決策の提案を行った。
10	埼玉大学	地域企業等と連携した教育プログラムの実施 「AL1（課題解決型プログラムf）」	令和7年度	企業	地方自治体		損害保険ジャパン株式会社、さいたま市と連携し実施している正規授業（全8回）である。課題解決学習を通して、社会課題に対する企業（SOMPOグループ）と地方自治体（さいたま市）の防災・減災対策や地域コミュニティの再構築などにかかわる取組みを知り、そのうえで、学生としてSOMPOグループとさいたま市のリソースを用いて課題解決できる取組みを考えることを目的とし授業を実施した。
11	埼玉大学	公立大学法人埼玉県立大学との単位互換の実施	令和5年度	大学・短期大学			埼玉大学及び埼玉県立大学の相互の交流と教育の充実を目的として、互いの大学が提供する科目を履修し、単位を修得できるようにした。
12	埼玉大学	インターンシッププログラムの実施	令和5年度	企業			学部4年生及び博士前期課程2年生を対象に、あいおいニッセイ同和損害保険株式会社において、損保業界の理解、社会課題解決ワークや、職場体験による事業戦略や現場の第一線を体験できるインターンシッププログラムを実施した。
13	埼玉大学	埼玉医科大学との課外学習プログラムの実施	令和4年度	大学・短期大学			埼玉大学及び埼玉医科大学の学生を対象に、主体性を涵養するとともに、幅広い教養や高い専門性を身に付けるための学習機会・体験等を提供することを目的に課外学習プログラムを実施した。
14	埼玉大学	地域志向科目の実施 「地域創生を考えるa」、「地域創生を考えるb」	平成28年度	企業	地方自治体		県内企業や県内自治体から招いたゲストスピーカーの講演を通して、「社会へ出るために、今、何をすればよいのか？」という自らのキャリア形成について考えてもらうとともに、埼玉県に対する理解を深めてもらうことを目的とした正規授業を実施した。
15	埼玉大学	埼玉大学教養学部ミュージアム・カレッジ	平成13年度	地方自治体			埼玉大学教養学部が埼玉県立歴史と民俗の博物館・埼玉県立近代美術館とそれぞれ隔年で共催する公開講座。令和7年度は埼玉県立歴史と民俗の博物館との共催により、「死と生 歴史・美術・考古・民俗からみる人の節目」をテーマに全4回の講座を開催した。
16	埼玉大学	埼玉大学経済学部市民講座	平成8年度	地方自治体			埼玉大学経済学部とさいたま市教育委員会の主催で実施している公開講座。開かれた大学を実現するため、県民・市民との交流を図り、地域社会の文化の向上に資することを目的としており、令和7年度は「変化の時代を読み解くー社会科学へのいざない」をテーマに全8回開講した。
17	埼玉大学	埼玉大学・戸田市連携講座	平成23年度	地方自治体			戸田市民大学認定講座として実施している公開講座。令和7年度は「埼玉大学の研究を共に学ぼう」をテーマに全4回開講した。
18	埼玉大学	3D－CAD & 3Dプリンター無料研修	平成26年度	地方自治体			さいたま市と連携して、市内のものづくり企業が新事業展開など新たな試作開発における人材の育成支援を目的とする。さいたま市の「さいたま市高度ものづくり人材育成支援業務」の一環として実施している。
19	埼玉大学	リカレント教育 経済学部夜間開放授業	平成17年度	地方自治体			埼玉県が実施する「大学の開放授業講座（リカレント教育）」として、県内在住の55歳以上の方々を対象に、生活の充実や社会参加のきっかけづくりとしていただくことを目指して、経済学部夜間開放授業を実施している。
20	埼玉県立大学	シニア向け開放授業		地方自治体			県内在住の55歳以上の方を対象に、埼玉県と県内・近隣にキャンパスを構える大学が協力し、授業科目の一部を開放。（県担当課：福祉部高齢者福祉課）
21	埼玉県立大学	高校生向け開放授業		高等学校			本学の教育内容に対する理解や進路決定への意識的取組の促進等を図るため、本学授業を高等学校の生徒を対象に開放。
22	埼玉県立大学	高校等出張講座	平成15年度	高等学校	小・中学校		高等学校等からの依頼に基づき、教員を派遣。
23	埼玉県立大学	夢を見つける！リアル体験教室事業	平成23年度	地方自治体			埼玉県と連携して、青少年の夢発見と夢実現を支援するため、小学校4～6年生を対象にプロから学び体験する教室を開催。（県担当課：県民生活部青少年課） 7月28日（月）歯と口の健康を守る歯科衛生士になりたい 7月28日（月）3Dプリンタを使う作業療法士になりたい 11月1日（土）看護師になりたい 1月24日（土）大学教授になりたい！－日本の伝統文化を研究しよう－

埼玉県における大学と地域等との連携事例（令和7年度）

No.	大学名	取組名	事業の始期	連携先1	連携先2	連携先3	事業内容
24	埼玉県立大学	千間台西地区との意見交換会	令和3年度	その他			地域が望む「ふらっと立ち寄れる居場所づくり」「学生と住民が協力した街づくり」を目標に住民と共同で隔月で実施。
25	埼玉県立大学	まちなかキャンパス	令和5年度	その他			大学から地域に飛び出し、大学の学びと情報を発信、地域の皆さんがふらっと立ち寄れる「学びと交流の拠点」を目指し、ミニ講座・相談会・各種催し・大学の情報発信等を行うもの。令和7年度は隔月で実施。
26	埼玉県立大学	子ども会との連携	令和5年度	その他			千間台西地区の子ども会と連携して、小中学生向けの3Dプリンタ体験、作業療法について知る催し物を開催。
27	埼玉県立大学	情報発信		地方自治体	その他		広報こしがや、千間台西連合自治会広報等における記事掲載。
28	埼玉県立大学	夏休み子ども学習室in 県立大学	令和4年度	地方自治体			夏休みの小・中学生の学習支援を本学で実施。
29	埼玉県立大学	子ども大学こしがや・まつぶし	平成22年度	地方自治体			地域の大学や市町村、団体、NPO法人が連携して、子ども（小学校4～6年生）の知的好奇心を満足させる学びの機会を提供。 本学では2講座を開催。 ・8月21日(木) お互いを知ることから始まるコミュニケーション ・9月14日(日)身近な放射線と宇宙のふしぎ
30	埼玉県立大学	越谷市生涯学習フェスティバル		地方自治体			生涯学習の一環として子どもから高齢者までのあらゆる世代に学びのきっかけづくりを提供する参加・体験型イベントへの出展。 ・2月22日(日)健康食品の正しい知識を学ぼう！～埼玉県立大学の先生が、あなたの疑問・お悩みに答えます～
31	埼玉県立大学	学校ボランティアの派遣		地方自治体			授業科目の一環として、養護教諭一種免許状取得課程の学生を小中学校にボランティア派遣。
32	埼玉県立大学	エコキャップ回収事業		地方自治体			地域におけるエコキャップの回収事業に協力。
33	埼玉県立大学	埼玉県立大学春日部市民講座		地方自治体			春日部市、在住、在学、在勤の方を対象に、市民講座を開催。 ・10月18日(土) 住み慣れた街で活いき長生き-認知症とともに- ・11月29日(土) あなたの知らない“お薬”の世界
34	埼玉県立大学	連携強化のための意見交換会	令和6年度	地方自治体			越谷市総合政策部政策課等と連携強化のための意見交換会を実施。 ・1月16日(金)
35	跡見学園女子大学	跡見学園女子大学公開講座	昭和55年度			地方自治体	本学新座キャンパスでは、新座市教育委員会共催又は新座市教育委員会後援、及び埼玉県教育委員会後援、並びに「彩の国教育の日協賛事業」の一環として「教養コース」を開講している。
36	跡見学園女子大学	にいざプラスカレッジ (旧:新座市民総合大学)	平成12年度			地方自治体	新座市内にある3大学(十文字学園女子大学、立教大学、跡見学園女子大学)がそれぞれ講座を開講している。新座市内在住、もしくは在勤・在学の18歳以上の方が受講対象。
37	跡見学園女子大学	学問探究プログラム	平成14年度			高等学校	学問への関心を喚起し、また進路選択の一助となることを目的として、本学教員が高校に出向き授業を行う学問探究プログラムを実施している。教員の幅広い専門分野を網羅する形で講義メニューを用意し、高校に案内している。 対面に加えて、オンライン形式でも実施している。
38	跡見学園女子大学	アカデミック・インターンシップ	平成15年度	地方自治体	地域団体(NPO、ボランティア、自治会等)	企業	インターンシップは、マネジメント学部2年次必修科目である。講義科目で学ぶマネジメントに関する理論を、企業・団体や地方自治体等における就業体験を通してさらに発展させ、学生の学習の方向性を明確にするとともに、マネジメントの「マインドとスキル」習得により、実務能力を高めるきっかけとすることを目標としている。 令和7年度には、県内15箇所(企業1、公益財団法人4、社会福祉協議会2、自治体5、その他3)で実習が行われた。
39	跡見学園女子大学	埼玉県三郷市におけるインクルーシブ公園の開発と管理運営	令和3年度	地方自治体			令和5年3月22日にオープンしたインクルーシブ公園「なかよしひろば」の積極的な活用を促進するために、アカデミックインターンシップの課題として、赤松ゼミ2年生が、交流企画を立案・実施。障害児と健常児が一緒に遊ぶ機会を提供した。令和7年度は市民を対象にアンケート調査を実施し、認知度や利用率があまり高いこと、認知ルートがかぎられていること、親子で参加できる季節のイベント開催が求められていることが明らかになった。これらの結果を踏まえて、今年度は認知度アップと利用促進に資する企画を立案・実施する予定である。
40	跡見学園女子大学	基礎ゼミナール(学外実習)でのインターンシップ	平成28年度	地方自治体	地域団体(NPO、ボランティア、自治会等)		講義で学んでいる観光デザインやまちづくりの知識、理論を、企業や自治体、NPOなどの非営利機関における就業体験や社会体験、または特定のテーマに基づく調査活動を通して具体的・実感的に検証する。調査活動では、実習先から与えられたテーマや学生自らの問題意識に基づくテーマで調査を行い、具体的提言を行っている。 令和7年度には、埼玉県内4箇所(自治体3、非営利団体1)で就業体験、調査活動などの実習が行われた。
41	跡見学園女子大学	ATOMIインターンシップ	平成10年度	企業	地方自治体		就職課主催の就業体験としてのインターンシップ(単位認定外)。学生が自己責任に基づいて納得できる就職をするために、早期離職や無目的なフリーターにならないように、しっかりとした職業意識を涵養し、職業観を育成する。加えて、実務経験を通して、人生設計の手がかりを探る機会を与えることを目的としている。令和7年度は48の受け入れ先のうち、7か所が埼玉県内の企業・自治体等であった。
42	跡見学園女子大学	埼玉県大学就職問題協議会主催 合同企業説明会	平成23年度	地域団体(NPO、ボランティア、自治会等)	企業		埼玉県大学就職問題協議会加盟15大学主催(協賛:公益社団法人埼玉県情報サービス産業協会／埼玉中小企業家同友会／株式会社埼玉りそな銀行)の下、合同企業説明会(オンライン)を実施。当日は、埼玉県に拠点を置く54社が参加し、加盟大学所属の学生との就職における交流の場(1日最大8社の説明を受けることが可能)となった。
43	跡見学園女子大学	埼玉県富士見市教育相談事業	令和5年度	地方自治体			埼玉県富士見市教育相談室と連携し、市内小学校へのチューデントサポーター(学生)派遣や、心理検査(WISC検査)を実施し、個別に支援を必要とする児童生徒のサポートを行なっている。
44	跡見学園女子大学	埼玉県和光市夏休み 紙のリサイクル体験	令和7年度	地方自治体			和光市役所教育委員会事務局 生涯学習課 南公民館と連携し、小学生を対象とした「紙のリサイクル体験」講座を実施した。実習では、雑誌がみがみから、再生紙をつくり、それを利用してうちわ作りを行った。本学マネジメント学部教授が担当し、参加者への説明と実習補助は、ゼミ学生が行った。
45	跡見学園女子大学	埼玉県和光市表現力に磨きをかける「ステップアップ朗読講座」	令和6年度	地方自治体			和光市役所教育委員会事務局 生涯学習課 南公民館と連携し、「ステップアップ朗読講座」を開催した。 和光市内在住・在勤の朗読初心者を対象として、令和6年度に実施した講座の第2弾として開催し、講師は元NHKアナウンサーの本学文学部教授が務めた。
46	浦和大学	社会福祉法人浦和福祉会との連携	平成11年度	その他			社会福祉法人浦和福祉会 特別養護老人ホーム「スマイルハウス」と連携し、教育・研究面で様々な交流を生み、大学・施設双方に有意義な連携活動がなされている。
47	浦和大学	「大崎むつみの里」就労支援	平成14年度	地域団体(NPO、ボランティア、自治会等)			知的障害者施設「大崎むつみの里」の就労移行支援及び就労継続支援に協力し、週2回の学内清掃作業を同施設に依頼している。本学が福祉の大学として就労支援に協力することは、本学学生、知的障害者双方に大変有意義なプロジェクトとなっている。
48	浦和大学	「緑区区民祭り」への参加・協力	平成15年度	地方自治体			令和7年10月19日に、本学教員2名、学生ボランティア約50名が参加し、埼玉スタジアムにて大変盛況に実施された。本学は「あそびの広場(水引きづくり、スライムづくり、モルック(棒倒しゲーム)」や「ステージプログラム(エイサーの演技披露)」を通して、来場された区民との交流を図った。

埼玉県における大学と地域等との連携事例（令和7年度）

No.	大学名	取組名	事業の始期	連携先1	連携先2	連携先3	事業内容
49	浦和大学	リレーフォーライフへの参加	平成19年度	地域団体（NPO、ボランティア、自治会等）			令和7年度は特別協賛という形で関わっており、学生はボランティアとして、会場設営からイベント期間中は受付業務、啓発イベントの手伝い、会場案内、イベント終了後は撤収作業まで参加した。
50	浦和大学	さいたまマラソンにおける運営および応援協力	平成27年度	地方自治体			令和7年度は、大学施設貸与等の協力準備を行っていたが、当日は降雪のため大会が中止となった。
51	浦和大学	就職・進学委員会主催 インターンシップ	平成27年度	企業			企業等における就労体験（インターンシップ）を通して、社会を知る、仕事を知る機会として実施。実習先については、地元産業（企業等）を中心に依頼した。
52	浦和大学	サウンドテーブルテニス大会	平成27年度	その他			令和8年1月25日、公益社団法人埼玉県視覚障害者福祉協会が主催する「第39回サウンドテーブルテニス」の大会に、本学と浦和実業学園高等学校がボランティアとして参加した。
53	浦和大学	健康体操教室	平成28年度	その他			以下の期間にて対面形式で実施した。参加者は20名であった。内容としては、①ウオーミングアップ②参加者同士の交流のためのレクリエーション③軽スポーツ④クールダウンであり、1回の開催時間は約1.5時間であった。 実施期間は令和7年10月20日～12月8日（各月曜日）全8回開催された。
54	浦和大学	一日大学生	平成29年度	幼稚園・保育園	小・中学校	高等学校	令和7年度は、「海のいきものを知ろう！」を令和7年8月に実施した。参加申込188名のため抽選を行い、38名が参加した。 学校教育学科7名が、アシスタントとして参加し、指導補助の経験をした。
55	浦和大学	教育インターンシップ	平成29年度	幼稚園・保育園	小・中学校	高等学校	学校教育学科1年生の必修授業として、さいたま市教育委員会とインターンシップ覚書を締結し、小学校のチャレンジスクールで、放課後や土曜日に生徒への学習や体験活動等のサポート活動をしている。学校教育学科2～4年生は、さいたま市のアシスタントティーチャーや、埼玉県の彩の国かがやき教師塾などの事業に参加し、現場体験をしている。
56	浦和大学	第11回浦和美園まつり＆花火大会	平成29年度	地方自治体			令和7年10月19日（日）に開催の「第11回浦和美園まつり＆花火大会」に協賛し、ブース出店を行った（主催：浦和美園まつり＆花火大会実行委員会、事務局：埼玉高速鉄道株式会社）。 本学の出店では、主に小学校低学年児童および未就学児を対象とした遊びのコーナーを設置し、地域の子どもたちとの交流を図った。 また、「埼玉高速鉄道車両基地見学」の受付業務をはじめ、子どもたちに人気の高いE5系ミニ新幹線乗車体験における案内・誘導業務を担当した。当日は教職員30名が参加し、地域住民との連携・交流を深める機会となった。
57	浦和大学	本学主催「おもちゃコンテスト」	平成29年度	地方自治体	企業		令和7年度「第9回おもちゃコンテスト」を以下の内容で実施した。（後援：埼玉高速鉄道（株）、埼玉県、さいたま市） エントリーは800名の全国の高校生からあった。また、埼玉高速鉄道株式会社からは、選考・講評・賞寄与に協力をいただいた。
58	浦和大学	さいたま市民活動サポートセンターフェスティバル	令和4年度	地方自治体			令和8年3月7日、8日に実施されたフェスティバルに教職員3名、学生2名が参加協力した。
59	浦和大学	浦和美園イオン「うらかか広場出展」	令和5年度	地方自治体	企業		令和7年6月22日に教員2名と学生6名が参加協力した。（主催：イオンリテール（株） 後援：さいたま市 共催：美園タウンマネジメント協会） 「絵本の読み聞かせとアートワークショップ」で参加親子は約80組だった。
60	浦和大学	区民フォーラムみどり	令和6年度	地方自治体			令和7年8月6日に、さいたま市緑区役所で、令和7年度「区民フォーラムみどり」が開催され、本学の学生2名が参加した。
61	浦和大学	「ねんりんピック彩の国さいたま2026」総会	令和7年度	地方自治体			令和7年4月25日総会開催において学長が参加した。
62	浦和大学	浦和大学企画「クラブW杯 パブリックビューイング（浦和レッズ vs CFモンテレイ）」	令和7年度	企業			令和7年6月26日本学の階段教室にて「クラブW杯、パブリックビューイング」を開催した。本企画について、応援の投稿ツイートが17.7万回された。
63	浦和大学	浦和大学こども学科科目「スタディ・ナビゲーションC」において フィールドリサーチ1	令和7年度	企業			令和7年7月2日、12月3日の2日間、こども学科2年生54名がイオン浦和美園店2フロアにて「こどもに配慮されている空間とは？」という課題でリサーチを展開する授業を開催した。
64	浦和大学	「虐待ゼロ推進月間」における広報啓発活動	令和7年度	地方自治体			本学からは総合福祉学科 片山学科長、現代社会学科 藤島学科長、学生7名が参加した。
65	浦和大学	「令和7年度 大学生等と県議期議員との意見交換会」	令和7年度	地方自治体			本学からは藤島学生委員会部長、船木地域連携センター長、学生9名が参加した。
66	浦和大学	「つながりサポーター養成講座」開催	令和7年度	地方自治体			令和7年12月15日、本学にて開催した。本学の受講生は100人弱であった。
67	浦和大学	「省エネフェア イベント」	令和7年度	地域団体（NPO、ボランティア、自治会等）			令和8年1月31日、UDSMi主催のイベントがイオン浦和美園で開催された。本学では教員1名、学生3名でワークショップ「スライム作り」を行った。参加したこどもは88名だった。
68	共栄大学	子ども大学かすかべ	平成30年度	地方自治体	地域団体（NPO、ボランティア、自治会等）		春日部市教育委員会、春日部市青年会議所と共同で、子どもの知的好奇心を刺激する学びの機会を提供するため、ものごとの原理やしくみを追求する「はてな学」、地域を知り郷土を愛する心を育てる「ふるさと学」、自分を見つめ人生や将来について考える「生き方学」の3分野について学習する。
69	共栄大学	共栄大学公開講座	平成30年度	地方自治体			開かれた大学を実現するために、春日部市教育委員会及び葛飾区と連携し、地域社会の文化の向上に資することを目的として、開講する公開講座。
70	共栄大学	春日部市（都市計画課）武里夏祭り	令和7年度	地域団体（NPO、ボランティア、自治会等）			武里夏祭り振興会主催 映像花火の出展
71	共栄大学	内牧市民センター・キッズフェスタうちまき	令和7年度	地方自治体			内牧市民センター主催 手回し発電で動く鉄道模型の出展
72	共栄大学	春日部こどもライブフェスタ	令和7年度	地域団体（NPO、ボランティア、自治会等）			春日部こどもライブフェスタ実行委員会がふれあいキューブで行う子供向けイベントのボランティアスタッフ
73	共栄大学	宮代町連携事業：「教育ボランティア」「職場体験の受入」	令和7年度	地方自治体			ふれあい体験として小学校における授業補助・学校行事体験を行う。
74	共栄大学	東武ファンフェスタ	令和7年度	企業			東武鉄道株式会社主催 ゼミで制作した「スペースX」のVRを出展
75	共栄大学	春日部市選挙管理委員会事務局との連携授業（若者の投票率向上に関する啓発活動）	令和7年度	地方自治体			・春日部市との包括連携協定に基づく。 ・教育学部「特別講義V（春日部市連携） フィールドワークⅡ」として実施。（PBL） ・中高生の居場所開設、学内外での選挙啓発活動、春日部市日本語教室における日本語指導活動 ・高校生参加数は中高生の居場所来場者数および大学祭の居場所イベント来場者数の推計
76	共栄大学	春日部ロータリークラブ杯3×3バスケットボール大会	—	地域団体（NPO、ボランティア、自治会等）			春日部ロータリークラブ主催の「3×3小学生バスケットボール大会」に女子バスケットボール部員が参加し小学生に指導を行なうとともに大学ロータクトクラブの学生が参加し、大会を盛り上げる一役を担った。
77	共栄大学	かすかべ平和フェスティバル	—	地域団体（NPO、ボランティア、自治会等）			留学生がフェスティバルに参加し、司会進行や受付に携わった。
78	共栄大学	春日部市身体障害者福祉会体育祭	—	地域団体（NPO、ボランティア、自治会等）			障害者福祉会の方々や一般のボランティアの方々と共に、競技の進行や招集や決勝等の担当をした。
79	埼玉医科大学	「埼玉医科大学市民公開講座」	平成17年度	地方自治体			身近な病気の話題を取り上げ、広く一般の方々を対象とした公開講座。 【詳細】 ・令和7年10月11日 テーマ『現代のテクノロジーを使ったがん診療～ロボット手術と人工知能の力を借りて～』 ・令和8年1月31日 テーマ『大人と子どもの食物アレルギー』

埼玉県における大学と地域等との連携事例（令和7年度）

No.	大学名	取組名	事業の始期	連携先1	連携先2	連携先3	事業内容
80	埼玉医科大学	地域医療連携懇話会	平成22年度	その他			地域の病院との情報交換の場で、隔月第3水曜日に定期的に開催している。
81	埼玉医科大学	毛呂山町との地域連携協定	平成24年度	地方自治体			・本学及び本学短期大学の3ポリシーを踏まえた各種取組に対する外部評価実施 ・毛呂山町振興計画審議会委員として本学職員の派遣 ・毛呂山町まち・ひと・しごと創生有識者会議委員として本学職員の派遣 ・毛呂山町行政改革推進委員会委員として本学職員の派遣 ・歩こうよ！もろやま健康ウォーキング事業への協力 ・本学教職員による町内保育園への手洗い講座の実施 ・生涯学習人権教育講座に講師として本学医師の派遣 ・毛呂山町防災訓練に本学学生の参加 ・ゆずっこ元気体操出前講座に講師として本学職員の派遣 ・本学臨地実習生の受入れ 等
82	埼玉医科大学	小中学校教育体験実習	平成25年度	小・中学校			医学部1年生が毛呂山町立小中学校に半日2回訪問し、授業見学、交流経験を行い、短時間の保健指導を行っている。
83	埼玉医科大学	日高市との地域連携に関する基本協定	平成25年度	地方自治体			・本学の3ポリシーを踏まえた各種取組に対する外部評価実施 ・日高市行政経営審議会委員として本学職員の派遣 ・日高市健康習慣に関するアンケート調査の実施に向けた取組 ・日高かわせみの里ソーテークの協賛への協力 ・日高市内イベント（日高市健康まつり等）への協力 ・ひ・まわり探検隊「体験教室」への協力 ・本学臨地実習生の受入れ ・「高麗川駅周辺のにぎわい創出」に関するワークショップへの参加 ・歩こう健康測定会（測定・講座・分析）への協力 ・市内公立小・中学校での看護師体験実施 等
84	埼玉医科大学	株式会社丸広百貨店との地域連携に関する協定	平成25年度	企業			・新型コロナウイルス感染拡大の影響により事業（丸広百貨店エンジョイ大学セミナー（年4回開催）講師として本学教員の派遣等）を一時休止中
85	埼玉医科大学	株式会社西武ライオンズとの連携協力に関する基本協定	平成28年度	企業			・埼玉西武ライオンズ無料観戦チケット提供応募用紙を本学学生への配布等
86	埼玉医科大学	飯能市との連携・協力に関する基本協定	平成30年度	地方自治体			・本学臨地実習生の受入れ ・地域包括ケアシステム構築のための社会資本の活用に関する共同研究 ・特定保健指導における減塩プログラム評価に関する共同研究 ・市内公立小・中学校への学校医（耳鼻咽喉科）の派遣 ・奥むさし駅伝教護スタッフとして本学看護師の派遣 等
87	埼玉医科大学	株式会社埼玉りそな銀行との連携・協力に関する基本協定	令和元年度	企業			・本学リサーチパークの活用促進に関するビジネスマッチングの検討 等
88	埼玉医科大学	越生町との連携・協力に関する基本協定	令和元年度	地方自治体			・本学臨地実習生の受入れ ・健康づくり検診への医師等の派遣 ・特定保健指導における減塩プログラム評価に関する共同研究 ・黒山・鎌北湖駅伝大会救護スタッフとして本学看護師の派遣 ・越生町防災訓練における応急救護訓練の指導員として本学看護師の派遣 等
89	埼玉医科大学	埼玉大学との連携協定	令和2年度	大学・短期大学			・埼玉大学と埼玉医科大学との包括協定に基づく共同研究支援Grantの実施
90	埼玉医科大学	埼玉県との保健医療に係る連携に関する協定	令和6年度	地方自治体			・地域医療提供体制の強化を目的とする連携事業の実施等
91	埼玉工業大学	心理学セミナー		その他			バラエティーに富んだテーマで心理学の世界を講座として用意し、地元をはじめとした一般の方へ開講する。 臨床心理学に関する心理学セミナー 【令和7年度】7月21日、9月15日、9月23日、11月24日（対面開催）
92	埼玉工業大学	心理相談室		その他			さまざまな心理的な問題や心理的、神経症的な症状に悩む人たちに对し専門家（臨床心理士）・大学院生による心理的援助を行う。 子育ての悩み、学校に関する悩み、人間関係などの悩みに関する相談。（予約制）
93	埼玉工業大学	ふかや市民大学	平成22年度	地方自治体			「ふかや市民大学」は、市民の生涯学習やボランティア活動への理解を深め、学習を通して人と人とのつながり、そこでの学習成果をまちづくりに生かすことを目的として実施する。 【令和7年度】6月7日（対面開催）
94	埼玉工業大学	公開講座	平成12年度	その他			教育・研究成果を地域社会に還元し、学びの場を提供することを目的に開講する。 【令和7年度】6月7日（2講演）、6月14日（2講演）、6月21日 全5回（対面・オンライン開催）
95	埼玉工業大学	SAIKOフェア	平成19年度	その他			一般市民を対象に大学の研究成果や学生プロジェクトの活動状況の発表を行う。 【令和7年度】10月12日（対面開催）
96	埼玉工業大学	子ども大学ふかや	平成22年度	地方自治体			深谷市・深谷青年会議所等と協同で実施 「はてな学」、「生き方学」、「ふるさと学」の3分野について学び、大学教員等による講義や実際に身体を使うワークショップなどの体験活動を行い、成果発表会で学びの成果を発表を行う。 【令和7年度】7月27日、8月2日、8月5日、8月14日、8月19日、8月30日（対面開催）
97	埼玉工業大学	出前授業・模擬授業	平成18年度	高等学校			教育・研究の成果を地域社会に還元すべく、高等学校・地域社会・地元産業界と連携強化を努めている。本学で所有する知的資源を有効に活用するという趣旨で、本学専任教員が直接高等学校に出向き講義を行う。
98	埼玉工業大学	高大連携事業 大学見学		高等学校			大学教育・高校教育の活性化を図るため、協定を締結した連携校の大学見学や体験授業等を行う。
99	埼玉工業大学	高大連携事業 出前授業		高等学校			本学で所有する知的資源を有効に活用するという趣旨で、本学専任教員が連携校に出向き講義を行う。

埼玉県における大学と地域等との連携事例（令和7年度）

No.	大学名	取組名	事業の始期	連携先1	連携先2	連携先3	事業内容
100	埼玉工業大学	先端科学研究所協力会 第1回講演会		企業			研究成果を地域企業に還元することを目的とし開催する。 講演タイトル「ちょっと気になるあの人を理解する見方 一発達障害・ニューロタイパーシティー（神経多様性）の観点から」 【令和7年度】6月19日（対面・オンライン開催）
101	埼玉工業大学	先端科学研究所協力会 第2回講演会		企業			研究成果を地域企業に還元することを目的とし開催する。 講演タイトル「植物の色々な色～花と葉っぱと遺伝子と人～」 【令和7年度】9月25日（対面・オンライン開催）
102	埼玉工業大学	先端科学研究所協力会 第3回講演会		企業			研究成果を地域企業に還元することを目的とし開催する。 講演タイトル「地域活性化の不都合な真実」 【令和7年度】1月20日（対面・オンライン開催）
103	埼玉工業大学	彩の国ビジネスアリーナ2025		企業			研究シーズ、産学官連携活動（技術相談、共同研究事例等）等をイベントで紹介するため、彩の国ビジネスアリーナへ出展する。 【令和7年度】2025年11月18日～19日（対面開催）
104	埼玉工業大学	子ども大学ほんじょう	令和6年度	地方自治体			子どもたちの「理科離れ」を「理科場慣れ」にすることを目的に、大学で科学のふしぎを実際に体験するプログラムを実施する。 【令和7年度】2025年8月24日（対面開催）
105	埼玉工業大学	子ども大学よりい	令和4年度	地方自治体			寄居町では、子どもの学ぶ力や生きる力の向上を目的とし開校する。 【令和7年度】令和8年2月21日
106	埼玉工業大学	本庄市市民総合大学	令和6年度	地方自治体			本庄市の将来像「あなたと活かす。みんなで育む。歴史と教育のまち 本庄 ～世のため、後のため～」を実現してゆく人材の育成と、市民一人ひとりが自己を高め、人格を磨き、幸せで豊かな人生を送ることができるように市民総合大学を設置 【令和7年度】令和7年9月4日
107	埼玉工業大学	おしごとフェスタ2025	令和6年度	地方自治体			「渋沢栄一ひとづくりカレッジ」の一環として、将来を担う小学生を対象に体験しながら道徳と経済が学べる企画「おしごとフェスタ2024」を開催し、道徳とチャレンジ精神（失敗を恐れない）を育みながら、経済の仕組みを学ぶ機会をつくるとともに、開催を通して地域の活性化の視野に取り組むことを目的とする。 【令和7年度】令和7年8月15日、16日
108	芝浦工業大学	埼玉県生涯学習ステーション、リアル体験教室プレミア 公開講座（STEAMプログラム）	平成3年度	地域団体（NPO、ボランティア、自治会等）			芝浦工業大学では、本学の教育・研究成果を地域社会に還元し、また学びの場を提供することを目的として、幅広い世代の方を対象とした公開講座を実施している。令和7年度は、埼玉県生涯学習ステーションへの講座情報の提供および、埼玉県県民生活部青少年課の「リアル体験教室プレミア」事業に参加、下記の講座を実施。 ・測量実習21世紀の伊能忠敬になってみる！～地図づくりのプロたちから学ぶ3次元測量～
109	芝浦工業大学	埼玉県彩の国ビジネスアリーナ/産学連携フェア	平成24年度	企業	地方自治体	地域団体（NPO、ボランティア、自治会等）	研究シーズ、産学官連携活動（技術相談、共同研究事例等）、本学主催イベントを紹介し、県内企業との技術相談・共同研究推進及びイベントへの勧誘をで実施。
110	芝浦工業大学	地（知）の拠点整備事業（大学COC事業）	平成25年度	地方自治体	企業	地域団体（NPO、ボランティア、自治会等）	文科省からの補助金交付は平成29年度で終了したが、大学の自己資金にて活動継続。地域との連携を更に強化して、『まちづくり』と『ものづくり』を通した教育・研究・社会貢献を実施。
111	芝浦工業大学	子ども大学SAITAMA	平成26年度	地域団体（NPO、ボランティア、自治会等）			地域の大学や市町村、企業・団体が連携して、子どもの知的好奇心を刺激する学びの機会を提供する「子ども大学SAITAMA」に参加、子ども向けの講座として「バーチャルリアリティーの仕組みをしよう！」を11月29日（土）に実施。
112	芝浦工業大学	さいたま市高度ものづくり人材育成支援事業	平成26年度	地方自治体	企業		ものづくり企業の製品化を支援するために、プロトタイプング手法を活用した実践的人材育成プログラムを、地域企業の若手技術者に対して実施。
113	芝浦工業大学	埼玉県との連携授業	平成26年度	地方自治体			工学部、システム理工学部において、埼玉県総合技術センターと連携し、県土整備部や都市整備部の職員による連携授業を実施。
114	芝浦工業大学	課題解決型授業への課題提供	平成28年度	地方自治体	企業		埼玉県との連携的包括協定に基づき埼玉県から、さいたま市とのイノベーション協定に基づきさいたま市から、及び埼玉県内・さいたま市内企業様から課題解決型授業への課題提供を頂いた（システム工学特別演習を対面とオンラインで実施）。「埼玉県バーチャルユースセンターを利活用促進するには」に関する提言では、知事が議会答弁で引用。
115	芝浦工業大学	埼玉県産学連携ネットワーク会議	平成29年度	地方自治体	企業		ネットワーク会議への参加で意見交流を実施。
116	芝浦工業大学	（一社）さいしんコラボ産学官主催 「開放特許を活用した学生アイデア発表会 in 埼玉」 ～中小企業のための「知財を活用した商品アイデア創出事業」アイデア発表会～	平成30年度	企業			中小企業のための「知財を活用した商品アイデア創出事業」アイデア発表会in埼玉に、本学では システム工学特別演習の中から 1チーム（長谷川研究室）が参加。アイデア名『スマートウォッチ用アロマクセサリー』審査員特別賞受賞。
117	芝浦工業大学	さいたま市人材高度化タスクフォース事業	平成30年度	地方自治体	企業		市内企業と協力して、さいたま市から補助金を獲得し、共同研究を通して企業若手と学生の人材育成を実施。
118	芝浦工業大学	知と地の創造拠点フォーラム	平成30年度	企業	地方自治体	地域団体（NPO、ボランティア、自治会等）	第1部「私たちがつくるみらい計画」 第2部 COC学生成果報告会 第3部 情報交換会@大宮CP生協食堂 本学の活動事例を、企業、自治体、関連団体、地域の皆様等に広く理解いただくとともに、学生の研究成果発表に対し、参加者からの評価をいただくことで産学連携を通じた人材育成を推進することを目的として実施。

埼玉県における大学と地域等との連携事例（令和7年度）

No.	大学名	取組名	事業の始期	連携先1	連携先2	連携先3	事業内容
119	芝浦工業大学	さいたま市「第15回学生政策提案フォーラムinさいたま」	平成30年度から参加	地方自治体	企業	地域団体（NPO、ボランティア、自治会等）	今年度は1チーム社会システム科学研究室（市川研究室）が参加、『日陰探検隊～日陰を活用した暑さ対策の提案～』を発表。優秀賞受賞。
120	芝浦工業大学	さいたま市スマートシティ関連（大宮地区）	令和2年度	地方自治体	企業	地域団体（NPO、ボランティア、自治会等）	大宮・さいたま新都心プロジェクト会議に正会員として出席。
121	芝浦工業大学	芝浦ビジネスモデルコンペティション（SBMC）開催の後援を承認いただいた	令和3年度	地方自治体	企業		埼玉県、さいたま市、埼玉りそな銀行、埼玉縣信用金庫、さいしんコラポ産学官。
122	芝浦工業大学	志木市環境審議会	令和3年度	地方自治体	企業		システム理工学部 増田教授を審議会会長とする空き家計画策定し市長へ答申（第3期志木市空き家等対策計画R8～12年度 の検討。取りまとめを実施）。
123	芝浦工業大学	埼玉県産業労働部企業立地課「埼玉Rich応援団」に参加	令和4年度	地方自治体	企業		埼玉Rich応援団員として活動中。
124	芝浦工業大学	さいたま市『脱炭素先行地域』関連の共同研究検討	令和4年度	地方自治体	企業		企業（東電PG）と共同研究実施。
125	芝浦工業大学	さいたま市産業創造財団との連携強化	令和4年度	地方自治体	企業		CNIに関連した技術シーズ集の取りまとめ実施。
126	芝浦工業大学	さいたま市・大宮アルディージャとの共同研究	令和5年度	地方自治体	企業		3月4日の覚書締結を受けて、3者共同研究契約締結中。大宮アルディージャVENTUS（U18・U15）と連携し女性アスリートのけがを未然に防止するための研究を実施。
127	十文字学園女子大学	地域活動（ボランティア）Youth Volunteer部	平成8年度	小・中学校	地域団体（NPO、ボランティア、自治会等）		日本赤十字社東京支部学生奉仕団に加盟しており、そこを拠点として様々な活動を行っている。障害者の方々とかかけたりレクリエーションをしたり、定期的にボランティア活動を行っている。
128	十文字学園女子大学	新座市内大学公開講座	平成9年度	地方自治体			新座市教育委員会と本学の共催により、新座市内大学公開講座を開催している。令和7年度は、次の公開講座を開催した。（ ）内は参加者数。 ・10/4「みんなの『実践食事学』 ～持続可能な疾病リスクを減らす学びとは～」（61名） ・10/4「高齢者も子どももみんなごちゃまぜ！！～交流からはじまるつながりづくり～」(61名) ・11/29「自閉スペクトラム症について詳しく知ろう－医学・心理学の研究から分かってきたこと－」(108名)
129	十文字学園女子大学	インターンシップ（大学）	平成11年度	企業	地方自治体		官公庁、一般企業の業務に触れることで、仕事や社会を知り、将来の職業選択を考える機会とする。実施期間：夏季休暇中（前期）または春季休暇中（後期）を中心に、5日間以上の実習について単位を付与する。
130	十文字学園女子大学	にいがプラスカレッジ	平成12年度	地方自治体	大学・短期大学		新座市が市内3大学（跡見学園女子大学、立教大学、十文字学園女子大学）と連携し、「にいがプラスカレッジ」（新座市民総合大学を令和2年度に改称）を開校している。大学キャンパスなどを使用しバリエティに富んだ講師陣による座学、実技・フィールドワークといった特色ある講義を展開している。市内在住・在勤・在学の18歳以上を対象。 令和7年度は「まちづくりコース」を開講し、全7回の講義を実施した。 受講者16名
131	十文字学園女子大学	リカレント教育	平成20年度	地方自治体			埼玉県では、県内大学との協働事業として、県内在住の55歳以上の方を対象に、生活の充実や社会参加のきっかけづくりとなるよう、授業科目の一部を開放するリカレント教育事業（開放授業講座）を実施しており、本学も参画している。 令和7年度受講者数 前期：29名 後期：19名
132	十文字学園女子大学	子ども大学にいが	平成22年度	地方自治体	地域団体（NPO、ボランティア、自治会等）	大学・短期大学	子ども大学にいが実行委員会（新座市教育委員会・地域ボランティア団体“雑木の会”・十文字学園女子大学）が主催し、小学4年生～6年生を対象に、大学教員や地域の方を講師に講義を行う。令和7年度は、次のとおり全2回の講義を実施した。 ・7/30「なぜまわる？ くるくるトンボを作って回してみよう」（講師：雑木林維持管理ボランティアグループ 雑木の会） ・7/31「自分だけのイニシャルキーホルダーをつくろう！」（講師：日本大学生産工学部創生デザイン学科 教員） 参加者38名
133	十文字学園女子大学	中山間「ふるさと支援隊」	平成22年度	地方自治体			埼玉県内の中山間地域における、高齢化や過疎化の進行により農林業や地域活動の維持が困難な地域に対して、大学生の感性や知識を活かして地域の活性化を図る支援活動。大学の研究室等で学生が「ふるさと支援隊」を組織し、地域で実際に活動し、地域住民との協働活動や農業支援活動を行う。 令和7年度は＜横瀬町全域地区＞、＜皆野町日野沢・金沢地区＞、＜ときがわ町大附地区＞において活動。
134	十文字学園女子大学	子ども大学しき	平成26年度	地方自治体	地域団体（NPO、ボランティア、自治会等）		子ども大学しき実行委員会（志木市教育委員会・NPO法人アンサーズネット・十文字学園女子大学）が主催し、小学4年生～6年生を対象に、大学教員や地域の方を講師に講義を行う。令和7年度は、次のとおり全2回の講義を実施した。 ＜テーマ＞フシギな世界を 体験しよう！ ・2/28「なりきりマジシャン」（まちづくりマジシャン Toshi氏） ・3/7「脳はダメされやすい？ ー実験で確かめてみよう」（十文字学園女子大学 池田 まさみ教授） 参加者24名

埼玉県における大学と地域等との連携事例（令和7年度）

No.	大学名	取組名	事業の始期	連携先1	連携先2	連携先3	事業内容
135	十文字学園女子大学	株式会社西武ライオンズとの連携事業	平成28年度	企業			(株)西武ライオンズとの連携協力に関する協定に基づき、以下の連携事業を行っている。 ・球団イベントへの学生ボランティアの派遣（R7は球団からの依頼なし） ・球団・新座市・大学プラットフォーム“TJUP”との共催による、本学での親子野球体験イベントの実施（学生が運営スタッフとして参加）
136	十文字学園女子大学	埼玉東上地域大学教育プラットフォーム（TJUP）	令和元年度	大学・短期大学	地方自治体	企業	埼玉県西部の東武東上線沿線及び西武線沿線に所在の15大学・22自治体・17事業者等で構成する「埼玉東上地域大学教育プラットフォーム（TJUP）」に加盟。地域の活性化を目指し、共同で公開講座、FD・SD、単位互換、地域の教育支援、地域への就職促進、入試広報活動、地域との連携事業（イベント等）に取り組んでいる。令和7年度もオンラインを併用しながら、各活動に取り組んだ。
137	淑徳大学	インターンシップ	平成10年度	地域団体（NPO、ボランティア、自治会等）	企業	地方自治体	在学中の就業体験を通じて社会や企業・団体を知るだけでなく、自分の適性や働くことの意味を理解する機会であり、自分探しや就職活動に生かしている。
138	淑徳大学	リカレント教育（開放授業講座）	平成19年度	地方自治体			県内在住の高齢者や団塊の世代の方に対し、授業科目の一部を受講できるように開放している。
139	淑徳大学	夏季淑徳教師養成塾	平成25年度	地方自治体	小・中学校		子ども達とふれあう楽しさや指導する難しさに気づき、教職を真剣に目指す意識を強固にすることを目的としたボランティア活動であり、夏季休暇期間中に教育連携先自治体等の要請を受けて、児童の宿題や個別学習の支援を行う。
140	淑徳大学	子育て支援事業	平成25年度	地方自治体	幼稚園・保育園		教員・保育士を目指す学生のボランティア活動を通じた実践の場として、学内外（保育園、幼稚園、児童館、自治体の施設等）での乳幼児を対象とした公演やふれあい活動を実施している。
141	淑徳大学	フレンドシップ事業	平成29年度	地方自治体	大学・短期大学		教員の養成段階において学生が種々の体験活動等を通して子ども達と触れ合い、子ども達の気持ちや行動を理解し、教員としての実践的指導力の基礎を習得することを目的とした事業で、近隣自治体の行事へのボランティア参加要請により、地域社会との連携強化を図っている。
142	城西大学	わこらぼまつり	令和7年度	地方自治体			和光市役所主催のお祭りである。本学学生が近隣大学のゼミや市民ボランティアなどと共に企画段階から関わり、ステージや広場での企画立案、SNSによる広報などを行った。当日は受付の手伝いやステージの司会、広場の運営、SNSへの投稿など様々な役割を担い、地域に貢献した。
143	城西大学	東秩父村との連携スポーツフェスティバル	令和7年度	地方自治体			東秩父村で開催された第2回スポーツフェスティバルに「ロコモ診断」として参加した。最初に、ロコモティブシンドロームについての認知度や自身のロコモ度を把握していただくことを目的にロコモ度テストを実施した。その後、ロコモ度をフィードバックした。
144	城西大学	埼玉県秩父地域振興センターとの連携 城西大学 秩父地域公開講座	令和7年度	地方自治体			城西大学の教育機能を広く地域に開放し、秩父地域の地域振興を図り、今後の連携につなげる。埼玉県秩父地域振興センターとの包括連携協定に基づき開催。
145	城西大学	日本標準ふれあいまつり	令和7年度	企業			日高市に所在する、学校用教材などを出版発行している日本標準が主催する地域住民向けのイベント「日本標準ふれあいまつり」に本学薬学部が出展し、運営スタッフとして数学科の学生が参加した。
146	城西大学	ガーデンパークイルミネーション点灯式イベント	令和7年度	地方自治体			鶴ヶ島市にある、鶴ヶ丘児童公園を「魅力ある公園にしよう」するための活動の一環で、イルミネーション点灯式イベント開催を支援。
147	尚美学園大学	小・中学校、高等学校との交流（異文化交流含む）	平成16年度	高等学校	小・中学校		国際理解学習や国際交流事業において、実際に外国の方々と交流を通して、異文化に触れる体験的な学習を目的とした授業に外国人留学生を派遣している。留学生は母国の文化・習慣などの紹介や生徒との意見交換などを行っている。令和7年度は市内高等学校1校へ訪問、小学校1校、中学校2校を本学に招いて交流や体験授業などを行った。
148	尚美学園大学	日商PC検定対策セミナー	平成21年度	地方自治体	地域団体（NPO、ボランティア、自治会等）		川越市との連携講座。外部講師をお呼びし、求職者を対象にしたPCセミナーを大学で実施している。令和7年度は8月と3月の2回行った。
149	尚美学園大学	川越大学間連携講座	平成24年度	地方自治体			川越市との連携講座。川越市民対象の公開講座で、毎年実施している。令和7年度は11月の毎週水曜日（4回）、スポーツマネジメント学部の教員を講師とした講座を大学内で実施した。
150	尚美学園大学	2音大クラシック・コンサート	平成24年度	地方自治体	大学・短期大学		平成24年度から、市内に2校ある音楽系の大学、尚美学園大学と東邦音楽大学によるクラシック・コンサートを開催している。地元川越で音楽を学び研鑽を積んでいる学生達の演奏と大学で指導する教員の技量を披露する場となっている。
151	尚美学園大学	外国人のための高校進学ガイダンス川越会場	平成27年度	地域団体（NPO、ボランティア、自治会等）	地方自治体		ケリア日本語学習支援教室及び川越市国際文化交流課が主催する日本語を母語としない中学生やその家族等を対象とした「進学ガイダンス」に外国人留学生を派遣している。留学生は参画校と参加者間の通訳スタッフをしている。令和7年度は所沢、川越の2会場に参加した。
152	尚美学園大学	大東地区子どもフェスティバル	平成30年度	地域団体（NPO、ボランティア、自治会等）			大東地区地域子どもサポート委員会主催による「子どもフェスティバル」（昔ながらの遊びや地域の方による体験教室を通じて交流を図る目的の事業）に外国人留学生を派遣している。留学生は運営ボランティアとして、母国紹介などをしている。令和7年度は4ヵ国4名の学生が参加した。
153	尚美学園大学	放課後パワーアップ教室	令和元年	小・中学校			近隣小学校において、児童の安全かつ安心な居場所を設け、学習支援を通じて児童が地域社会の中で心豊かに健やかに育まれることを目的とした事業に学生ボランティアとして派遣している。学生は宿題や自主学習の支援を行っている。令和7年度は全21回のうち、8回参加した。
154	尚美学園大学	小えど多文化共生まつり	令和6年度	地域団体（NPO、ボランティア、自治会等）			川越市民と国内外の方々と共に、多文化共生社会の理念に基づいた文化交流を通して相互理解を深めることを目的としたイベントに、本学から学生ボランティアとして会場運営や誘導などに参加した。令和7年度は10名を超す学生がボランティアとして参加した。
155	尚美学園大学	課題解決型学習（PBL）の実施	令和7年度	地方自治体	企業		スポーツマネジメント学部にて課題解決型学習（PBL）を実施した。令和7年度は県内企業2社、川越市役所、川越地区消防局にご協力を依頼し、産官学連携事業として学生も積極的に参加した。優秀なグループは企業等に出向いてのプレゼンも行った。
156	尚美学園大学	ふじみ野市20周年記念動画の作成	令和7年度	地方自治体			本学と包括連携協定を締結しているふじみ野市役所20周年を記念した動画を本学情報表現学科の教員、学生が中心となり制作した。
157	尚美学園大学	川越市こども計画 意見聴取	令和7年度	地方自治体			「川越市こども計画」において、子ども・若者が意見を表明し、政策決定のプロセスに主体的に参画する機会を確保するため、本学の学生からの意見聴取が行われた。
158	尚美学園大学	弁天大市へのボランティア参加	令和7年度	地域団体（NPO、ボランティア、自治会等）			「地域の方とのつながりを深め、素敵なお店を知り、これからの川越らしさを考える場所とすること」を目的とした地域のイベント（お祭り）に本学の学生がボランティアとして参加した。
159	尚美学園大学	北本市子供公園授乳室のリニューアル事業	令和7年度	地方自治体	企業		北本市子供公園内の授乳室をさらにゆったりとした気持ちで利用できるよう、改修工事を実施する際に本学、北本市、地元企業の産官学連携事業として授乳室内の壁面イラストを本学の学生がデザインした。
160	尚美学園大学	こどもの居場所づくり事業 自習室サポート	令和7年度	地方自治体	企業		市が主催となり、企業の施設を利用し、こどもの居場所を作るために自習室を一時的にオープンさせた取組みとなり、本学学生もボランティアとして運営に携わった。
161	尚美学園大学	川越市二十歳のつどい	令和7年度	地方自治体			川越市内の成人式「二十歳のつどい」の実行委員（運営スタッフボランティア）として本学の学生が参加した。

埼玉県における大学と地域等との連携事例（令和7年度）

No.	大学名	取組名	事業の始期	連携先1	連携先2	連携先3	事業内容
162	尚美学園大学	川越市部活動地域展開実証事業	令和7年度	地方自治体			令和7年度は市内中学校の吹奏楽部の指導に本学が協力をする形で約3か月にわたる実証事業を行った。
163	日本栄養大学	鴻巣市にぎわい交流館「にこのす」にて地域の食材を使用した学生考案メニューの完成報告会を実施	令和7年度	地方自治体			「地場産業の振興等に関する包括連携協定」を結んでいる埼玉県鴻巣市の「にぎわい交流館『にこのす』」にて、地域の食材を使用した学生考案のカフェメニュー完成報告会を実施
164	日本栄養大学	川越大学間連携講座「女子栄養大学の学び体験 ～作る、味わう、考える～」を実施	令和7年度	地方自治体	大学・短期大学		川越市では市民の生涯学習への意欲を応援するために市内の大学等と連携講座を開催しており、市と包括協定を締結している本学も昨年から連携講座の実施に協力
165	日本栄養大学	学生が開発したおいしさと健康に配慮したお弁当がコープデリグループの店舗にて発売	令和7年度	企業			コープデリ生活協同組合連合会の会員5生協（コープみらい、いばらきコープ、とちぎコープ、コープぐんま、コープながの）にて、本学のゼミ生が開発したおいしさと健康に配慮したスマートミール基準のお弁当を発売
166	日本栄養大学	第18回JAいるま野こども料理コンクールが坂戸キャンパスにて開催	令和7年度	地域団体（NPO、ボランティア、自治会等）			本学と連携協定を締結しているJAいるま野が主催し、本学が協賛する「第18回こども料理コンクール」が、坂戸キャンパスにて開催
167	日本栄養大学	本学監修 ベルクのお弁当「健康を考えるシリーズ」発売	令和7年度	企業			スーパーマーケットチェーンのベルクが販売する栄養バランスの取れた「健康を考えるシリーズ」のお弁当メニューを本学が監修。毎月2点のお弁当が発売。
168	日本栄養大学	学生が開発したベルクのスイーツ共同開発 が発売	令和7年度	企業			学生がスーパーマーケットチェーンのベルクと新スイーツの共同開発に取り組み、商品化されたスイーツがベルク全店舗で発売
169	日本栄養大学	学生が商品開発に関わった「東松山さんぽ やきとり牡丹だんご」の完成報告会が開催	令和7年度	地方自治体	高等学校	企業	東松山市まち・ひと・しごと創生に関する6者協定のもと、地元の新名物を生み出すべく開発された。学生がアイデアを出し、高校生達も意見を出して、東松山の名物「やきとり」の辛味噌だれと老舗和菓子店「富久屋」の牡丹だんごを組み合わせた商品が完成。
170	日本栄養大学	寄居町 老人クラブ連合会の研修で本学教員が講演	令和7年度	地方自治体			寄居町保健福祉総合センター ユウネスにて、寄居町老人クラブ連合会の会員を対象に、「健康寿命を延ばすための高齢者の食事」と題し、本学 府川則子准教授が講演を実施。今回の講演は、老人クラブ連合会女性部の研修として企画された。
171	日本栄養大学	三芳町と本学学生が「みよし野菜」を使ったお弁当2種類を考案	令和7年度	地方自治体			包括連携協定を締結している埼玉県三芳町との取り組みで、学生と「みよし野菜ブランド化推進研究会」で「みよし野菜」を使った「みよし野菜癒しのレシピ」を開発
172	日本栄養大学	寄居町にて学生が考案したお弁当新メニューが発売	令和7年度	地方自治体			埼玉県寄居町との連携事業の一環として、学生が考案した「YORII KENKO弁当」が発売。 寄居町の健康寿命が県内でも下位であり、脳血管疾患の罹患率や死亡率が高い等の現状を、食を通じて改善したいという町の依頼を受け健康的かつ寄居町らしい弁当を考案・発売
173	日本栄養大学	学生が川越駅前アトレマルヒロ 35周年記念企画「Ducky Duckキッチン」販売の川越限定コラボメニューを考案	令和7年度	企業			川越駅前アトレマルヒロ 7 階レストラン「DuckyDuck キッチン」にて販売されたアトレマルヒロ 35 周年記念の川越限定コラボメニューを学生達が考案
174	日本栄養大学	富士見市食育推進事業「基礎から学ぶ！ はじめてのパン作り教室」に協力	令和7年度	地方自治体	地域団体（NPO、ボランティア、自治会等）		富士見市との食育推進事業の取組みとして、富士見市文化施設「ピアザ☆ふじみ」にて、「基礎から学ぶ！ はじめてのパン作り教室」が開催。本学教員が講師として協力。
175	日本栄養大学	富士見市 国際交流フォーラム2025「世界へのとびら」に参加協力	令和7年度	地方自治体			富士見市主催の国際交流フォーラム2025「世界へのとびら」へ教員と学生が参加協力
176	日本栄養大学	学生が考案した惣菜商品が株式会社ヤオコーより発売	令和7年度	企業			学生が考案した惣菜商品が、株式会社ヤオコー店舗にて発売。国分関信越株式会社、デリシャス・クック株式会社、ヤオコーの協力のもと、学生が新しい惣菜商品を検討・提案し商品化された。
177	日本栄養大学	毛呂山町にて親子を対象としたパン作り教室を開催	令和7年度	地方自治体			連携先である毛呂山町の主催する「キッズチャレンジ事業」の一環として、町内在住の親子を対象に、えんどう豆を使ったイタリアのパン作り教室を開催。本学教員が講師として協力。
178	日本栄養大学	桶川市スポーツ少年団主催「スポーツ・健康に関する研修会」にて講演	令和7年度	地方自治体			連携先である桶川市との取組で、桶川市地域福祉活動センターにて、桶川市スポーツ少年団の主催する「スポーツ・健康に関する研修会」に本学教員が講師として協力
179	日本栄養大学	富士見市主催の講座に学生が協力	令和7年度	地方自治体			本学との連携先である富士見市の主催する「子ども文化芸術大学☆ふじみ」の講座として、「世界を知ろう☆食文化～セルビアの伝統料理と文化を学ぼう！～」が開講され、学生が子どもたちへの料理補助として協力。
180	日本栄養大学	富士見市食育講座に協力	令和7年度	地方自治体			連携先である富士見市との取り組みとして、本学の学生食堂で実際に提供されている定食メニューを紹介する「女子栄養大学Cooking教室」が実施され、学生食堂の管理栄養士が講師として協力
181	日本栄養大学	鳩山町で開催された「鳩山あんずフェス」に学生が出店	令和7年度	地方自治体			鳩山町コミュニティ・マルシェで開催された「鳩山あんずフェス」に出店し、鳩山産のあんずを使った和菓子を販売。販売した和菓子は、川越市の和菓子店の協力のもと考案した「鳩山あんずどら焼き」を含む3品。
182	日本栄養大学	川越アトレマルヒロにて開催された「アカデミーフェスティバル」に出展	令和7年度	企業			川越市のアトレマルヒロにて開催された「アカデミーフェスティバル」に学生が参加し、学生が開発した商品の販売と、ベジチェックによる推定野菜摂取量測定や健康アドバイスを実施。
183	駿河台大学	市民のための無料法律相談（飯能市、入間市）	平成6年度	地方自治体			飯能市および入間市の市民相談への貢献および本学学生に対する法学実地教育の機会として、両市との共同開催による市民のための無料法律相談を行っている。平成17年度には飯能市と、平成18年度には入間市と、それぞれ法律相談に係る協定も結んでいる。
184	駿河台大学	市民の大学Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ	平成10年度	地方自治体			本学教員や各分野の識者・専門家を講師に迎え、4テーマをそれぞれ4回連続の講座で取り上げている。
185	駿河台大学	地域インターンシップ	平成15年度	企業	地方自治体		近隣自治体や企業等にインターンシップ実習の受入を依頼し、協定を締結したうえで、5日間から2週間ほど受け入れていただいている。学生は、実習にあたって、事前研修を行い、実習後、報告会で実習の成果を発表する。最終的には、「地域インターンシップ/インターンシップⅠ」という科目名で単位が認定される。
186	駿河台大学	学生参加による〈まち〉活性化プロジェクト	平成18年度	地域団体（NPO、ボランティア、自治会等）	企業	地方自治体	近隣地域を中心に企業団体等の地域活動を学生が体験学習し、コミュニケーション能力や社会性、現実的な職業観を涵養するとともに、地域社会の重要性を認識し、大学として地域の活性化及び共生を目指す。

埼玉県における大学と地域等との連携事例（令和7年度）

No.	大学名	取組名	事業の始期	連携先1	連携先2	連携先3	事業内容
187	駿河台大学	飯能信用金庫との産学連携事業	平成19年度	企業			地域企業である飯能信用金庫と地域における産学連携活動を推進するため相互に協力している。地域社会の発展に貢献することを目的としており、事業内容としては、以下の事業について提携・協力を行っている。 (1) 地域の経済及び企業経営に関する調査・研究 (2) 地域振興活動推進への助言・指導 (3) 地域企業へのインターンシップの促進 (4) 大学における金融教育の促進 (5) 地域教育機関における金融教育方法の共同研究 (6) その他産学連携活動に寄与する事項の推進
188	駿河台大学	子ども大学はんのう	平成26年度	地域団体(NPO、ボランティア、自治会等)	企業	地方自治体	飯能商工会議所・飯能市教育委員会・飯能信用金庫と実行委員会を組織し、小学生が学校では学ぶことができないことを大学の教員や地域の専門家などが5日間にわたり授業を行う。
189	駿河台大学	飯能市コーディネーショントレーニング推進協議会	平成26年度	地域団体(NPO、ボランティア、自治会等)	地方自治体		飯能市、飯能市体育協会と連携し、コーディネーショントレーニングの普及に関する活動を行うことにより、飯能市民の健康づくりと運動能力の向上及びコーディネーショントレーニングによるまちづくりに寄与することを目的に、協議会を設立。保育園児や小学生の体験会だけではなく、指導者育成を目的とするセミナーも開催している。
190	駿河台大学	おでかけフェスタ	平成26年度	地方自治体			親子や大人と子どもの交流を深め、子育てが楽しくワクワクすることを実感してもらうことを目的に、飯能市と連携し、本学を会場にプログラムを実施。学生も参加している。
191	駿河台大学	飯能市選挙サポーター	平成28年度	地方自治体			飯能市から任命された学生が、選挙での若者の投票率を上げるための活動を行う。
192	駿河台大学	埼玉東上地域大学教育プラットフォーム(TJUP)事業	平成30年度	大学・短期大学			東武東上線沿線及び西武線沿線に所在する20大学・短大で構成する地域連携プラットフォーム(TJUP)に参画。参加校は相互に、また、自治体、産業界とも連携・協力して、人口の減少、少子高齢化の進行、コミュニティの弱体化、地域の活力低下、産業・経済の後退など地域社会が抱える諸課題の解決に取り組み、地域の自立と持続的な発展に寄与することを目的に発足した。合同企業説明会など実施。
193	駿河台大学	中山間「ふるさと支援隊」	平成30年度	地域団体(NPO、ボランティア、自治会等)			埼玉県の委託事業である中山間「ふるさと支援隊」を実施。飯能の里山資源を活用した「体験」を提供するアウトドア・スポーツ・ツーリズムを盛り上げる活動を進めている。
194	駿河台大学	駿河台大学オンライン公開講座	令和3年度	地方自治体			近隣自治体(入間市、所沢市、飯能市、日高市、秩父市、青梅市)の後援のもと、市より講師派遣をしていただき、様々なテーマを取り上げたオンライン(Zoom)で実施の公開講座である。
195	駿河台大学	中学生社会体験チャレンジ	不明	小・中学校			生徒の校外授業の一環として、地域の事業所における社会体験を通じ、勤労の尊さや意義を学び、自立心をもって“生きる力”を身に付けることをサポート。
196	駿河台大学	小学生社会科見学	不明	小・中学校			飯能市内小学校の社会科見学受入。
197	駿河台大学	フィンテックグローバル株式会社との産学連携事業	令和7年度	企業			地域活性化に貢献することを目的に、メッツアのある飯能の隠れた魅力を映像を用いて情報発信した。
198	聖学院大学	福祉教育について考える会こころの輪「こころ輪」	平成29年度	地域団体(NPO、ボランティア、自治会等)			「こころの輪(通称:こころ輪)」は、精神保健福祉領域における福祉教育活動を行っている。「みんなで学ぼうメンタルヘルス、共に学ぼうリカバリーストーリー」を合言葉に、当事者の方々と一緒に学ぶことを大切にしながら、「誰もが住みやすい地域にしていこう」を目指し活動しており、行政の人権講演会の講師等として当事者とともに活動を行っている。令和7年度は12月10日(水)と3月2日(月)に公演会を兼ねた福祉教育のプログラムを開催した。
199	聖学院大学	「基礎自治体マネジメント研究会」の開催	令和3年度	地方自治体			令和3年度より本学と包括連携協定を結んでいる上尾市、さいたま市、春日部市、桶川市、埼玉県比企管内8町村(川島町、滑川町、嵐山町、小川町、吉見町、鳩山町、ときがわ町、東秩父村)、岩手県釜石市の自治体職員の研修を目的とし、「基礎自治体マネジメント研究会」を発足させた。具体的には、多くの自治体において喫緊の課題となっている「組織の担い手たる人材育成」を支援する事を目的とし、協定を締結した自治体職員対象に定期的な研修プログラムを実施している。令和7年度は全10回の研修プログラムを開催した。
200	聖学院大学	「地域連携活動助成金」に基づくcottacottacottaとの連携事業の実施	令和6年度	その他			令和3年度より地域の企業やNPO等の団体、大学関係者との協働を促進していく事を目的に「地域連携活動助成金」を設立。本助成金を通じて令和7年度はcottacottacottaとの連携に基づき、学内にて歌声喫茶v計15回・月2回開催、9月23日(土)にミニコンサート、12月17日(火)に本学チャペルにて、学生と地域住民が共演するミュージカル公演『神の道化師』を上演を行った。
201	聖学院大学	「地域連携活動助成金」に基づくピュア・スマイルとの連携事業の実施	令和7年度	地域団体(NPO、ボランティア、自治会等)			令和3年度より地域の企業やNPO等の団体、大学関係者との協働を促進していく事を目的に「地域連携活動助成金」を設立。本助成金を通じて令和7年度は+H12特定非営利活動法人ピュア・スマイルとの連携に基づき、本学の心理福祉学科のゼミによる施設訪問を通じた、音楽療法やコミュニケーションツールを活用した交流プログラムを行った。
202	聖学院大学	子ども大学あげお・いな・おけがわ	平成23年度	地域団体(NPO、ボランティア、自治会等)			埼玉県教育局、上尾市教育委員会、桶川市教育委員会、伊奈町教育委員会、日本薬科大学と本学で組織された子ども大学あげお・いな・おけがわ実行委員会的主催で実施している。小学校5～6年生までの違う学校・学年の子どもたちが大学のキャンパスで学ぶ子どもたちのための大学で、教員が本学の特色を生かした学びの機会を提供している。令和7年度は計5回の講義プログラム(定員60名)が実施され、本学においてはそのうちの2回の講義プログラムが行われた。
203	聖学院大学	さいたま北商工協同組合との地域イベントを通じた連携事業の実施		地域団体(NPO、ボランティア、自治会等)			さいたま北商工協同組合に大学として会員加入。「さいたまKI-TAまつり」など地域の活性化活動に学生が運営ボランティアとして参加。その他、組合会員企業とインターンシップの促進に関する覚書や、組合が管理する宮原駅近隣のコミュニティカフェ施設使用に関する覚書を交わし、連携を図っている。令和7年度の「uneune防災フェスタ」は5月24日(土)、25日(日)の2日間、「さいたまKI-TAまつり」は10月19日(日)に開催された。いずれも本学の学生がボランティアとして当日の運営やイベント出演、出店に携わった。
204	聖学院大学	埼玉中小企業家同友会との連携プログラムの実施	令和5年度	その他			令和5年4月27日に一般社団法人埼玉中小企業家同友会と産学連携包括協定を締結。埼玉県内の中小企業との連携体制を構築するとともに、本学の教員を企業の研修やメンタルヘルスのプログラムに派遣する等、地域社会の課題にともに取り組む体制の構築を図っている。本学との共同企画として令和7年度は ①.6月インターンシップマッチングイベントへ参加、2年次シティズンシップ科目「キャリアデザイン」内にて共同求人委員会委員長山本氏によるイベント紹介を行った。当日は4名の学生が参加した。 ②.6月学内会社説明会へ加盟企業11社参加(4年生対象) ③.8月～9月 地元企業体験・見学ツアー実施(1年生～2年生対象)→3日(1日3社)に分けて計9社に訪問し、仕事の様子について見学と体験を行った。4.11月ヴェリタス祭企画「地元企業って、すごい展！」を開催した。
205	聖学院大学	自由の森学園高等学校との高大連携に基づく、能登半島ボランティアスタディツアーの実施	令和5年度	高等学校			令和6年3月6日(水)に本学は自由の森学園高等学校との連携協定を締結。平成23年度の東日本東北大震災の復興支援を契機として自由の森学園高等学校との交流が始まり、これまでボランティアや福祉に関連する授業の実施や東北ボランティアスタディツアーを通じて、連携を行っている。令和7年度は能登半島ボランティアスタディツアーを共同実施した。
206	聖学院大学	大学コンソーシアムさいたま	平成23年度	大学・短期大学			本学を含む県内12大学が加盟し、教育及び研究分野における連携に関することや民産学官との連携及び交流の促進に関する取り組みを行っている。
207	聖学院大学	埼玉県出前講座	令和5年度	地方自治体			埼玉県庁でSDGs推進担当である計画調整課の職員による「埼玉版SDGs」をテーマにした出前講座を6月11日(水)に開催した。
208	聖学院大学	そごう大宮店で学ぶ埼玉県の環境フェア	令和6年度	企業			そごう大宮店からの依頼を受け、環境にやさしい社会づくりに取り組む企業と埼玉県で主催するフェアにて、本学で行われている環境教育についてポスター展示を行った。

埼玉県における大学と地域等との連携事例（令和7年度）

No.	大学名	取組名	事業の始期	連携先1	連携先2	連携先3	事業内容
209	聖学院大学	イケア新三郷とのコラボ企画「イケアのプラントボール試食会」および「イケアサステナブルストアツアー」の実施	令和5年度	企業			企業のサステナブルな取り組みについて学ぶため、令和5年度より学生向けの「イケアサステナブルストアツアー」をイケア新三郷にて実施し、令和7年度には学内にて「イケアのプラントボール試食会」を実施した。
210	聖学院大学	日本シーム株式会社とのアップサイクルプロジェクトの実施	令和7年度	企業			循環型社会の実現を目指す日本シーム株式会社（埼玉県川口市）と連携し、学内で回収したペットボトルキャップを再資源化し、その再生資材を活用して新たな製品へと生まれ変わらせることを目的とした「ペットボトル・アップサイクルプロジェクト」を開始した。
211	聖学院大学	RB大宮アルディージャとの課題解決型の地域・産学連携授業	令和6年度	企業			RB大宮アルディージャとのインターンシップ（PBL型）による授業プログラムを実施した。学生たちは映えフォトスポットのイベント企画やSNSの活用などを提案を行った。
212	聖学院大学	埼玉上尾メディックスとの課題解決型の地域・産学連携授業	令和7年度	企業			埼玉上尾メディックスとのインターンシップ（PBL型）による授業プログラムを実施した。1月11日のホーム戦での学生提案による「学生DAY!!!」企画を実施した。
213	聖学院大学	切手整理ボランティア	令和5年度	その他			コープみらいと連携し、学期中、月1回程度切手整理ボランティアを学内で実施している。
214	聖学院大学	能登半島636	令和7年度	地方自治体	地域団体（NPO、ボランティア、自治会等）		埼玉県防災学習センター、学生団体そよかぜ（川越市社会福祉協議会登録団体）と連携し、石川県鳳珠郡能登町の方をゲストにお招きした講演会を実施した。
215	聖学院大学	上尾・桶川・伊奈障がい者事業所ボランティア交流会	令和7年度	地域団体（NPO、ボランティア、自治会等）			上尾・桶川・伊奈障害福祉関係事業所連絡会との連携で、12/4（木）本学において、学生と障がい者事業所の方々が交流し事業所の紹介や活動内容を紹介する「障がい者事業所ボランティア交流会」を開催した。
216	聖学院大学	聖学院大学公開講座	昭和45年度	地方自治体			さいたま市教育委員会・上尾市教育委員会と共催して、聖学院大学公開講座を実施している。令和7年度は教養講座、英会話講座、女声コーラスの計3講座が開催された。
217	聖学院大学	春日部市民講座	令和5年度	地方自治体			春日部市教育委員会と共催して、令和5年度より聖学院大学公開講座を実施している。令和7年度は11月8日（土）（会場：春日部市教育センターにおいて）作家・井上靖のフランス体験－ロダン、ダヴィンチ作品への眼差しから小澤征爾との出会いまで（教養講座）が、開講された。
218	大正大学	地域創生学部公共政策学科フィールドワーク	令和2年度	地方自治体	その他	その他	公共政策学科では、令和2年度から実習を実施しており、R7は松伏町が受け入れ先となり実習を実施している。 また、一般社団法人埼玉県観光物産協会、一般社団法人秩父おもてなし観光公社ジオパーク秩父にも授業にてご協力いただいている。
219	大正大学	地域創生学部地域創生学科地域実習	令和7年度	地方自治体			地域創生学科ではH28から地域実習を実施しており、R7は所沢市が受入先となり地域実習を実施している。
220	東京家政大学	≪東京家政大学・狭山市共催講座≫	平成18年度	地方自治体			狭山市スポーツ振興課と連携し、市民向け健康増進公開講座を前期・後期各1講座実施。 【前期】 「転ばない身体・環境づくり～転倒予防特化型トレーニング～」。 転倒に対する知識、ならびに転倒予防法の講義、および特別な器具を使用せず、実施・継続しやすい実技を紹介した。狭山市在住・在勤の方対象。6名参加。 【後期】 「転ばぬ先の膝のケアー膝の構造や痛みと転倒の関係について知ろう」 膝関節の構造を理解しながら、痛みや転倒との関係を学び、最新の知見を踏まえた予防方法について、実技・実践を行った。狭山市在住・在勤の方対象。16名参加。
221	東京家政大学	≪入間市共催研修会≫ 小学校教員向け集中研修会	小学校外国語活動集中研修会： 平成22年度 理科観察実験実技研修会： 平成25年度	地方自治体			「小学校外国語活動集中研修会」は、基礎から学び、外国語活動担当者や5・6年の学級担任以外の先生方にも取り組みやすく、実践で十分役立つスキルを身につけることを目的とする。 「理科観察実験実技研修会」は、理科の観察実験授業を「安全に」「確実に」実施するための技術を身につけることを目的とする。小学校または中学校教員が対象。 「小学校外国語活動集中研修会」22名、「理科観察実験実技研修会」17名参加。
222	東京家政大学	子ども大学さやま・いるま	平成22年度	地方自治体			狭山市・入間市の教育委員会と実行委員会を組織し、教育資源を活用しながら、子どもの知的好奇心を刺激する学びを提供する。狭山市・入間市在住の小学4～6年生が対象。7月・8月・9月に3日間4コマ形式で開催。狭山市32名・入間市31名参加。
223	東京家政大学	≪東京家政大学・狭山市・入間市主催、TJUP共催講座≫ 子どもスポーツ体験教室	平成24年度	大学・短期大学	地方自治体		近隣自治体のスポーツ推進の一環として生涯スポーツの充実化を目指す取組みとして、狭山市・入間市との連携により2012年（平成24年）から「スポーツ体験教室」を継続実施している。埼玉東上地域大学教育プラットフォーム（TJUP）会員大学の学生には、当日参加児童の補助業務を担ってもらい、地域の児童を対象に様々な運動遊びを体験させ、各個人の能力・可能性を広げる等の教育支援活動を通し、今後の大学生活におけるネットワークを構築するとともに、地域社会への貢献力を学ぶ機会とした。当日は29名の児童の参加があり、学生7名を含む50名のスタッフで実施した。
224	東京家政大学	≪埼玉県≫リアル体験教室・プレミア教室事業参画 ジュニアサイエンススクール・ジュニアアートスクール2025	平成29年度	地方自治体			埼玉県・青少年育成埼玉県民会議主催、埼玉県教育委員会後援、小学4～6年生対象の、夢の実現を応援するための「学びと体験の教室」の、企業や大学等が主催している「プレミア教室」に参画。(1)夏休み理科自由研究「サポート講座Ⅰ」科学遊びを体験しよう！には、30名参加。(2)夏休み理科自由研究「サポート講座Ⅱ」「調理」を科学の目で見ながら再発見！サイエンス&クッキングーチーズ・バター作りに挑戦！ーには、17組34名の親子が参加。(3)夏休み美術「サポート講座Ⅲ」「親子でアート」臨床美術を体験しよう！には、12組24名の親子が参加。(4)「楽しく学ぶ！プログラミング」には、5名が参加した。
225	東京家政大学	埼玉東上地域大学教育プラットフォーム（TJUP）	平成30年度	大学・短期大学	地方自治体	企業	埼玉県西部の東武東上線沿線及び西武線沿線に所在する15大学による、埼玉東上地域大学教育プラットフォーム（TJUP）の会員校として参画。 多様な大学・地域・地元企業との連携、協働により、地域社会が抱える課題解決に取り組み、高等教育による地域の活性化を目的とし、推進活動を実施。（単位互換・公開講座・学生募集・共同研究・地域連携の推進等） 令和7年度は、TJUP学生イベント交流委員会事業「集まれ！学生ボランティア～語ろう、つながろう、次の一步へ～」および、学生イベント交流委員会共同FD・SD「学生主体の探索的なコミュニケーション教育ー専門教育と教員・学生間のコミュニケーションを融合させた各大学の教育活動から考えるー」実施、学生イベント交流委員会事業「音楽大学の授業（モーツァルト編）×はじめてのフルート体験」・「TJUP会員校対抗モルック競技大会」への運営参加、TJUP県西部大学連携リレー公開講座実施。
226	東京家政大学	≪入間市共催研修会≫ 保育者研修会	令和元年度	地方自治体			入間市保育幼稚園課との共催で、新任から15年未満の保育者（幼稚園教諭・保育士・保育教諭）を対象に、保育現場における様々な課題に向け研修会をおこなった。保育者意識の向上及び実践で十分役立つスキルを身につけることを目的とする。 11名の参加があった。
227	東京家政大学	Tokyo Kasei 塾2025（保育者編 専門講座）	令和4年度	地方自治体			狭山市子ども支援部保育幼稚園課・入間市子ども支援部保育幼稚園課と連携（後援）協力し、少人数で課題を明確にし、研究開発につながる専門講座として開催。狭山市・入間市他、他市の公立・私立等の幼稚園・保育園等の保育者が対象。令和7年度は「子ども支援と保育支援」（前期）Part1 保育における基軸をテーマに4講座、（後期）Part2 保育における支援をテーマに4講座を実施。延べ141名の参加があった。

埼玉県における大学と地域等との連携事例（令和7年度）

No.	大学名	取組名	事業の始期	連携先1	連携先2	連携先3	事業内容
228	東京国際大学	ふじみ野市学生インターンシップ	平成17年度	小・中学校			ふじみ野市との学生インターンシップ活用事業に関する協定に基づき、教員を志し、また教育に関心をもつ本学学生の社会貢献実習の一環として、小学校及び中学校へフレッシュサポーターとして言語コミュニケーション学部3年生を派遣。 ＜令和7年度＞ ふじみ野市立花の木中学校に学部3年生1名を派遣。
229	東京国際大学	鶴ヶ島市学校インターンシップ	平成25年度	小・中学校			鶴ヶ島市との学生インターンシップ活用事業に関する協定に基づき、教員を志し、また教育に関心をもつ本学学生の社会貢献実習の一環として、小学校及び中学校へ言語コミュニケーション学部3年生を派遣。 ＜令和7年度＞ 鶴ヶ島市立南中学校に学部3年生1名を派遣。
230	東京国際大学	川越市インターンシップ	平成18年度	地方自治体			平成18年度より自治体である「川越市」の協力を得て、毎夏2～4名の学生を派遣し就業体験を実施。 ＜令和7年度＞ 川越市役所都市景観課へ1名の学生を派遣。
231	東京国際大学	川越市立霞ヶ関小学校_通級指導教室の学生ボランティア	令和4年度	小・中学校			川越市立霞ヶ関小学校より学生ボランティア募集の養成を受け、学生有志を募り、福祉心理学科に所属する学生を小学校へ派遣した。通級指導教室の学生ボランティアとして児童の学習面ならびにメンタルサポートの業務を実施した。
232	東京国際大学	現代GP子ども支援プロジェクト	平成19年度	小・中学校	地方自治体		平成19年に文部科学省の採択を受けて始まった人間社会学部の学生が行っているボランティア活動。現在是不登校や障害を持つ児童生徒への学習支援や家庭訪問等を行うことで当該児童への支援を行うと共に、学生自身の「気づき」や「成長」を促していく活動を行っている。ボランティア学生（スチューデント・サポーター）の活動場所は主に市内の小中学校や教育センターであり、教職員、教育関係機関が協働・連携して行っている。 ＜令和7年度＞ 実数6人、延べ数30件の学生が参加した。
233	東京国際大学	リカレント教育（開放授業講座）	平成21年度	地方自治体			「埼玉県福祉部と東京国際大学との授業科目の開放に関する覚書」に基づき、県内在住の55歳以上の方を対象に授業科目の一部を開放。 ＜令和7年度＞ 春学期「高齢者福祉」を開講。参加者 3名。 秋学期「戦略的マネジメント・コントロール」を開講。参加者 0名。
234	東京国際大学	飯能信用金庫との産学連携事業	平成22年度	企業			飯能信用金庫と包括協定を結び、その一環として冠講座の提供、学生に各業界の就業体験を経験させるためにインターンシップ先の紹介・支援の提供等を行う。 ＜令和7年度＞ 科目名：地域金融講座（飯能信用金庫寄附講座）
235	東京国際大学	川越大学間連携講座東京国際大学共催事業	平成24年度	地方自治体			川越市内にある4大学と連携し川越市民対象の「川越大学間連携講座」を開催。 ＜令和7年度＞ 演題：理学療法士の活動と、中高年・子どもに多い疾患や外傷について 講師：生田 太（東京国際大学 医療健康学部 教授） 会場：東京国際大学 川越第1キャンパス 2号館 233教室 受講料：500円 受講者数39名で受講後アンケートにおいてもエコーの理解や運動器疾患について理解しやすかった等おむね満足の高い結果を得られていた。
236	東京国際大学	「小江戸(川越)まちおこし」プロジェクト	平成25年度	地方自治体	企業	地域団体（NPO、ボランティア、自治会等）	東京国際大学では、「グローバル×ローカル」をキーワードに、地域のまちおこしを担う人材の育成を目指している。本プロジェクトでは、大学・行政・民間（企業・NPO等）の三者が連携し、地域志向型の教育活動を推進している。 本事業の目的は以下の3点。 1. 地域の商業・産業の活性化 2. 川越の文化・歴史資産（観光資源）の国内外への発信 3. 地域活性化の現場で活躍できる人材の育成 これらの目的達成に向け、学内外における学びと交流の機会を創出し、地域との関係を深める教育・研究体制を整備している。 【令和7年度 実施内容】 1. 公民学連携会議の開催 川越市の地方創生や地域活性化に関する課題をテーマに、産学官による連携会議を開催。本学が進める川越活性化プロジェクトの進捗報告を行うとともに、川越市および地域企業等との意見交換を通じて、地域課題の共有と解決策の検討を図った。。 2. 川越地域を対象とした地域活性化プロジェクトの実施 学生が主体となり、川越の魅力を再発見し、発信するための地域活性化プロジェクトを実施しました。学生はグループに分かれ、それぞれの視点から川越の観光資源や地域課題を調査し、具体的な企画づくりに取り組んだ。ツアー班では、留学生の視点も取り入れながら、川越の文化・歴史・まちなみを活かしたツアー造成を行った。マップ＆ラリー班では、川越を何度も訪れているリピーター観光客や本学周辺の住民を対象に、ハンドブック型の川越散策マップとスタンプラリーを作成した。また、フード＆アート班では、川越市内の空き家活用、子ども食堂の認知度向上、観光客の集中によるオーバーツーリズムへの対応をテーマに検討を行った。空き家を活用した子ども食堂を地域交流の拠点として位置づけ、観光資源としても活用することで、子どもたちが安心して集まり、多世代や観光客との交流が生まれる場づくりを提案した。これらの取り組みは、学生にとって地域課題を実践的に学ぶ機会となるとともに、川越の新たな魅力発信と地域プロモーションへの貢献という成果を生み出した。
237	東京国際大学	キャリアプランニング	平成25年度	地方自治体			キャリア形成支援科目のひとつとして埼玉県警察幹部職員を講師として迎え、治安行政と個人や社会の安全を守るための警察行政について理解を深め、社会生活上犯罪被害を防止するための具体的な知識を習得することを到達目標とした授業を実施。 ＜令和7年度＞ 科目名：「地域の安全と警察」
238	東京国際大学	川越商工会議所との連携事業「インターンシップ」他	平成27年度	地域団体（NPO、ボランティア、自治会等）	企業		キャリアプランニング教育の一環として、商学部学生が地元企業の実態を知る機会を持ち、就業機会の拡大を目的として実施。 ＜令和7年度＞ 13事業所に18名を派遣。
239	東京国際大学	「スクール・インターンシップ」による学校支援事業	平成27年度	小・中学校			川越市教育委員会が市内近郊の大学と連携し、市立小・中学校を対象に教職課程に在籍する学生を派遣し、学習指導の支援や部活動支援をとおして児童生徒の学力及び体力の向上を図ることをねらい、これからの学校教育を担う情熱をもった教師の育成を目的に実施。 ＜令和7年度＞ 派遣学生数：27名 活動内容： 1) 授業における学習支援 2) 部活動における支援 3) 学校行事などにおける児童生徒の参加に関する支援 4) その他、学校教育に関する支援
240	東京国際大学	川越国際交流フェスタ	令和3年度	地方自治体	地域団体（NPO、ボランティア、自治会等）		＜令和7年度＞ 異文化交流と国際ボランティアの祭典に国際関係学部の岡本ゼミ、杉本ゼミが参加した。

埼玉県における大学と地域等との連携事例（令和7年度）

No.	大学名	取組名	事業の始期	連携先1	連携先2	連携先3	事業内容
241	東京国際大学	小江戸川越ハーフマラソン ボランティア派遣	平成23年度以前より	地方自治体	地域団体(NPO、ボランティア、自治会等)		川越市では毎年、“小江戸川越ハーフマラソン大会”を開催している。そのイベントの一部として、ゴールした参加者に対して「川越汁」を配布しており、その担当は青年会議所である。そこに学生を派遣している。 ＜令和7年度＞ 人間社会学部に所属する1年生30名を派遣 川越汁の調理補助と配布を担当
242	東京国際大学	川越商工会議所連携事業「商学部公開授業」	平成27年度	地域団体(NPO、ボランティア、自治会等)	企業		川越商工会議所と連携し、①事業の維持・継続・発展、②事業の経営理念・経営目標・経営戦略、③事業の承継と後継者の育成④事業承継と税制（資金調達）の観点より事業承継に関する基礎知識を埼玉県民へ一般公開する取組。 ＜令和7年度＞ 「管理会計論」を川越商工会議所の会員企業に公開。
243	東京国際大学	学生キャリア支援	平成30年度	地域団体(NPO、ボランティア、自治会等)	企業		＜令和7年度＞ 1.「企業実践研究」の授業において、川越市角栄商店街振興組合から具体的な経営課題を提示してもらい、学生がその課題解決のプロセスを体験する中で学習していくPBL(Problem Based Learning)型の授業を展開した。 2.「ビジネス・ソリューション」では、武蔵ワイナリー、社団法人リアート、めがね珈琲豆店、いろは本舗にご協力いただきマーケティング戦略の立案を中心としたPBL型授業を実践した。
244	東京国際大学	犯罪防止啓発ビデオ作成	令和3年度	地方自治体			埼玉県警・川越警察署と連携して、映像制作の授業の中で、犯罪防止を啓発するショート動画を制作した。この映像は川越市内において、犯罪防止啓発活動に利用してもらうなど広報活動に役立ててもらっている。この活動がきっかけになり、本学学生が制作した動画が、警察庁が行う令和7年度サイバー防犯ボランティア広報啓発コンテストの「サイバー攻撃者にさせないための取組」部門において、局長賞（最優秀作品）に選出された。
245	東京国際大学	埼玉県立松山高等学校 生徒英語研究発表会への留学生派遣	令和7年度	高等学校			埼玉県立松山高等学校では、理数科クラスが中心となり、大学関係者やOBを招いて「生徒英語研究発表会」を実施している。本発表会は、生徒による英語での研究発表の場であるとともに、発表後には交流会も設けられており、生徒の英語運用能力の向上および国際的視野の育成を目的としている。本校では、当該取組に対する評価および交流活動の充実を図るため、英語が堪能な留学生を派遣し、プログラムの円滑な運営および活性化に協力する。 ＜令和7年度＞ 令和7年度においては、高校生による英語での研究発表会および交流会に対し、英語力に優れた留学生5名を派遣し、発表の評価補助や交流活動への参加を通じて、本プログラムの円滑な実施および国際交流の促進に寄与した。
246	東京国際大学	川越警察署による 新入生オリエンテーション	令和7年度	地方自治体			東京国際大学に入学する留学生の遵法意識および防犯意識の向上を目的として、新入生向けオリエンテーションの一環として、川越警察署から署員を派遣してもらい、違法行為や犯罪被害の実態、ならびに日常生活における安全確保の重要性について、具体的な事例を交えながら説明を行った。 ＜令和7年度＞ 令和7年度においては、新入生オリエンテーションの機会を活用し、川越警察署から派遣いただいた署員2名の協力のもとプレゼンテーションによる具体的かつ実践的な説明および質疑応答が執り行われた。本取組を通じて、新入生が日本の社会生活における基本的なルールや防犯意識について理解を深める機会となり、安心・安全な学生生活のスタートに寄与した。
247	東京国際大学	川越青年会議所メンバーとの意見交換	令和7年度	地域団体(NPO、ボランティア、自治会等)			“小江戸川越ハーフマラソン大会”をきっかけとして、川越市の青年会議所のスタッフと交流するようになった。具体的には、青年会議所の総会において、青年会議所のメンバーと学生と働き方などについて意見交換を行った。またそのための準備として、事前に数回のミーティングを行っている。 ＜令和7年度＞ 人間社会学部に所属する3年生20名程度が参加
248	東京電機大学	埼玉産業人クラブ TDU産学交流会	平成2年度	企業			埼玉産業人クラブ会員企業の技術レベル向上を図るため本学と産学交流を行う。年間にわたり、技術講演会・事例発表会、先進企業・工場見学会、学生対象企業・業界研究会等を開催。会員企業24社と本学との連携により運営している。
249	東京電機大学	埼玉県坂戸市住宅団地にぎわい再生事業 北坂戸にぎわいサロン運営	平成26年度	地域団体(NPO、ボランティア、自治会等)	その他	地方自治体	坂戸市との協定に基づき、東武東上線北坂戸駅前UR所有の店舗を借り受け、地域の活性化を目的ににぎわい再生活動を行っている。令和7年度は、スマホ・パソコン相談、健康管理アドバイス、ペーパーバンドクラフト教室、編み物教室のほか、本学留学生との交流会を年間を通じ開催した。
250	東京電機大学	宇宙・産学官・地域連携コンソーシアム (ここから武蔵コンソーシアム)	平成28年度	地域団体(NPO、ボランティア、自治会等)	大学・短期大学	地方自治体	比企地域の自治体や大学、企業等が連携し地域が抱える様々な課題に対する解決策を協議し、それを実現させるための活動を支援し、地域の振興と発展に寄与する。令和7年度はワークショップや講演会を実施した。
251	東京電機大学	埼玉東上地域大学教育プラットフォーム(TJUP)	平成30年度	大学・短期大学	地方自治体	企業	大学・短大14校、自治体22市町、事業所等18団体により構成。地域の課題解決のため諸活動を展開。令和7年度は、単位互換・公開講座・地域リスクマネジメント・社会人対象教育プログラムのほか東松山市における外国籍児童生徒への就学支援活動に参加した。
252	東京電機大学	UR連携活性化プロジェクト	令和3年度	地域団体(NPO、ボランティア、自治会等)	高等学校	大学・短期大学	UR北坂戸団地の活性化を目的に団地商店会・住民自治会・UR・地域ボランティア・高校と連携し、「光と音楽の祭典」「北坂戸弥生祭」を開催した。
253	東洋大学	川越大学間連携講座	平成12年度	幼稚園・保育園	小・中学校	高等学校	川越市共催事業という市民講座。
254	東洋大学	学術講演会(オープン講座)	平成15年度	地方自治体			本学の教員が、研究成果や学問的知見などをもとに、地域の環境保全、交通安全、防犯、福祉、学術的・芸術的な要素のものなどからテーマを取り上げ、市民の生涯学習の一環として開講している公開講座。年1回開講。 ※受講者は、川越市民以外でも可。
255	東洋大学	川越市立鯨井中学校 学習サポート	平成18年度	小・中学校			本学の教職志望学生を川越市立鯨井中学校に派遣。テスト範囲の学習を、生徒個人の質問に応える形式でサポートしている。
256	東洋大学	鶴ヶ島市・東洋大学連携スポーツ講習会	平成21年度	地方自治体			理工学部生体医工学科の教員が、研究活動成果を地域住民の健康管理を目的とし、鶴ヶ島市教育委員会と共同で市民講習会を開催している。
257	東洋大学	ソーシャルデザインプロジェクト	平成23年度	地方自治体			建築学科教員が公共インフラの提案を実施。インフラの老朽化、市街地の衰退、人口減少などに対応し、いかに維持管理費を抑えながら住民ニーズを満たしていくかを提案している。現在、「入間」の1か所で本プロジェクトを展開している。
258	東洋大学	川越市との連携	平成24年度	地方自治体			教育研究等における協力関係について包括協定を締結し、多方面で連携関係を構築している。
259	東洋大学	埼玉県立高等学校 学習サポーター	平成24年度	高等学校			本学の教職志望学生を埼玉県内の公立高等学校に派遣。理科・数学の補講指導、進学相談、始業前の生活指導など、多くの面で教員を補助することで教育現場を体験する。
260	東洋大学	川越市立学校スクールサポート	平成27年度	小・中学校			本学の教職志望学生を川越市立の小・中学校に派遣。テスト範囲の学習を、生徒個人の質問に応える形式でサポートしている。
261	東洋大学	さいたま市学習ボランティア	平成29年度	小・中学校			本学の教職志望学生をさいたま市の小学校に派遣。学習を、生徒個人の質問に応える形式でサポートしている。
262	東洋大学	デジタル・エンジニアリング・アカデミー	平成30年度	企業			工業技術研究所と武蔵野銀行の共催による、生産現場の自動化を課題としている企業を対象とした連続講座。2025年度は「工場のIoT化からDX化に向けて」のテーマで、本学教員を講師としてマイコンを使った実習や、デジタル技術を用いた生産技術の開発に取り組んでいる企業の工場見学、課題を共有して解決策を議論するグループディスカッション、また活動から得られた成果や課題の発表を行った。

埼玉県における大学と地域等との連携事例（令和7年度）

No.	大学名	取組名	事業の始期	連携先1	連携先2	連携先3	事業内容
263	東洋大学	川越市民の水害時における車両避難場所としての施設利用	令和3年度	地方自治体			水害時において、川越市の地域住民が避難の円滑化を図るため、大学の駐車場を車両避難場所として利用することを認める。
264	東洋大学	毛呂山町放課後学習教室 学習サポート	令和4年度	小・中学校			本学の教職志望学生を毛呂山町立小学校に派遣。学習（宿題・ドリル等）の支援。
265	東洋大学	サマースクール	平成11年度	地方自治体			川越市および近隣の小中学生を対象に、ロケット作りや速乾コンクリートでの工作、昆虫採集など、様々な実験や体験を通して、工学やものづくりへの関心を育んでもらうことを目的とする。毎年夏開催。
266	東洋大学	川越市小・中・大学連携ふれあい事業	平成18年度	地方自治体	小・中学校		私立小学校、中学校に本学教員を派遣して理科授業を実施。理科離れが危惧される小中学生に、理科の楽しさを伝えることを目的とする。
267	東洋大学	子ども大学あさか	令和7年度	地域団体（NPO、ボランティア、自治会等）	地方自治体		大学のキャンパス等を会場に、大学教授や地域の専門家等が講師となり、朝霞市の小学生高学年を対象に年4回の講義や体験活動をおこなっている。 主催：子ども大学朝霞実行委員会（NPO法人アンサーズネット、一社 朝霞青年会議所、朝霞市教育委員会） 協力：ASAKA CITY Lab、東洋大学
268	東洋大学	TOYO UNIV.SOCCER CLINIC in ASAKA2025	令和7年度	地方自治体			東洋大学男女サッカー部による朝霞市在住・在学小学生に向けたサッカー教室 参加申込者:118名(朝霞市在住・在学小学1年生～6年生) 主催:東洋大学 後援:朝霞市・朝霞市教育委員会
269	東洋大学	理工系の豊かなイメージと多様な未来を！ 彩の国・理工系進路選択エンカレッジプログラム	令和7年度	企業	大学・短期大学	地方自治体	・WISE-P出前授業（所沢市立中央中学校、三芳町立三芳東中学校） ・東洋大学朝霞キャンパスボツアー：東洋大学朝霞キャンパスでの研究や卒業生の社会での活動の様子を紹介し、実際に研究機器・施設を見学するキャンパスボツアーを実施。20名の中高生が参加。 https://park.saitama-u.ac.jp/diversity/main/wp-content/uploads/2026/04/8ca5dcb4881a57768a43adfff9e1ebc4.pdf
270	獨協大学	学内献血の実施	昭和44年度	その他			ボランティアを活動目的とする愛好会団体のWAPが、埼玉県赤十字血液センターの献血事業に毎年協力している。 2025年度も、学内で2回埼玉県赤十字血液センターによる献血事業が実施され、愛好会WAPが企画し、運営サポートを実施した。
271	獨協大学	国際交流フェスティバル「草加国際村一番地」	平成16年度	地方自治体			本学を会場として国際交流フェスティバル「草加国際村一番地」（主催・草加市国際交流協会、共催・獨協大学）を例年6月に開催している。世界各国出身の草加市民が中心となり、本学学生とともに、自国の文化・料理・音楽・ダンスや民族衣装を披露し、来場者との交流や国際理解を深めることを目的としたイベントである。本学の学生団体やゼミ等も多数参加し、研究発表や交流型イベントを行っている。また「ワールド・ランゲージ」という企画では、本学海外協定校からの留学生が参加し、各国の言語で高校生や市民・子どもたちと会話する機会を提供し、好評を得ている。来場者は、毎回約6,000名で、その運営に多くの本学学生がボランティアとして携わっている。
272	獨協大学	草加ふささら祭りとのジョイント開催	平成24年度	地方自治体			2025年、雄飛祭同日の11月1日（土）に開催されたふささら祭りでは、ステージプログラムで、文化会古典ギター部、文化会フラメンコ部 YERBA BUENAがそれぞれ参加し、ステージ上でパフォーマンスを披露した。
273	獨協大学	草加市・獨協大学地域研究プロジェクト事業	平成25年度				「草加市・獨協大学地域研究プロジェクト事業に関する基本協定書」に基づき、草加市と獨協大学は、互いに連携・協力して豊かな地域社会を創るため、地域研究の共同研究事業を実施する。
274	獨協大学	防災に関する連携事業	平成26年度	地方自治体			草加市と締結している「災害時における応急活動の協力に関する協定書」に基づき、前年度に続いて令和7(2025)年度も本学防災訓練（10月22日）の一部訓練を草加市危機管理課と協働で実施した。具体的には、訓練参加者に実際の災害イメージを掴んでもらうとともに、個人による防災備蓄対策の意識を向上することを目的とした防災展示会を行った。
275	獨協大学	子ども大学そうか	平成27年度	地方自治体			子ども大学は、大学のキャンパスなどを会場に大学教員や地域の専門家が講師となり、子どもの知的好奇心を育む講義や体験活動を行うもので、埼玉県内各地で広く実施されている。草加市では「子ども大学そうか」として草加市と獨協大学が主催し、平成27（2015）年度から開講された。草加市内の小学校の子どもたちが、獨協大学のキャンパスや市内の事業所などで楽しく学んでいる。令和7(2025)年度は7月、10月に獨協大学キャンパスで実施
276	獨協大学	高齢者用施設での慰問生け花		その他			2025年度は、敬老の日に近い隣の高齢者福祉施設「KINGS GARDEN」にて、文化会茶華道部が慰問と生け花の実演を行った
277	獨協大学	草加宿かがやき特別支援学校での公演、演武指導	平成30年度	小・中学校			2025年度、学校内の体育館で体育会合気道部が演武披露の後、児童に簡単な実技指導を実施した。
278	獨協大学	PICNIGOODでの演奏、公演	令和5年度	地域団体（NPO、ボランティア、自治会等）			松原団地記念公園にて定期的に開催される祭典PICNIGOOD（ピクニグッド）に、文化会古典ギター部、文化会JAZZ研究会が参加、演奏を披露した。
279	獨協大学	そうか産学行連携事業	平成16年度	地方自治体			獨協大学・草加市・草加商工会議所が地域産業の活性化、地域振興を図るための交流会や地域に根ざした産業振興支援事業を実施する。
280	獨協大学	SOKA ENGLISH CAMP	令和4年度	小・中学校			「生きた英語」による体験活動を通し、日本文化や習慣を再発見するとともにコミュニケーション能力や国際感覚を養う。 子どもたちが新しい仲間と出会い、共に活動することで友情と信頼を深め、協力する態度や責任感を養う。 体験活動を通し、子どもたちの英語及び外国語活動、地域への興味関心を高める。 本学での開催時はもちろん、他会場での開催の折も経済学部、外国語学部の学生がボランティア活動で大きな役割を果たしている。
281	獨協大学	草加市英語検定試験学習会	平成29年度	小・中学校			草加市教育委員会と獨協大学の教育支援連携協定に伴い、英語検定試験推進事業を図るため、獨協大学が協力して草加市内の公立中学校3年生の希望者を対象に英語検定試験の学習会を開催する。 コロナ禍により、令和2年度開催見合わせ、令和3年度獨協大学学生による動画配信による開催、令和4年度から通常の形態での開催
282	獨協大学	草加宿場まつり	令和28年度	地方自治体			旧日光街道沿いとなる、市道2095号線（回向院通り、草加神社通り）の一部、草加小学校校庭、草加駅東口広場までを会場としたお祭りで、その1つ、江戸時代の衣装を身につけ街道を行進するイベント「大名行列」に一般市民とともに、文化会の演劇部が参加した。
283	獨協大学	獨協大学前＜草加松原＞駅西側地域におけるまちづくり協定5者代表者による意見交換会	令和7年度	地方自治体	企業	その他	獨協大学前（草加松原）駅西側地域における産官学連携によるまちづくりについて協定を締結した草加市、獨協大学、UR都市機構、東武鉄道株式会社、トヨタホーム株式会社の5者代表者により協定終結後の活動や課題を共有すると共に、今後の活動の方向性について意見交換を行い5者が連携協力してまちづくりを推進することを確認した。
284	獨協大学	獨協大学前＜草加松原＞WELL FES 2025 WINTER	令和6年度	地方自治体	企業	その他	2024年5月9日（木曜日）に締結した「獨協大学前＜草加松原＞駅西側地域における産官学連携によるまちづくりに関する協定書」に基づき、関係する5者（草加市、獨協大学、東武鉄道株式会社、UR都市機構、トヨタホーム株式会社）が継続的ににぎわいと交流を創出し、地域の活性化に資する取組としてスカイランタンを作成するワークショップと打ち上げセレモニーを実施した。
285	獨協大学	草加市主催 自治体SDGsモデル事業「まちのヒーローアカデミー」講座監修、講座講師	令和7年度	地方自治体			草加市が主催する自治体SDGsモデル事業「まちのヒーローアカデミー」を経済学部高安健一教授が講座監修した。また、高安ゼミの学生が一部の講座の講師を担当した。

埼玉県における大学と地域等との連携事例（令和7年度）

No.	大学名	取組名	事業の始期	連携先1	連携先2	連携先3	事業内容
286	獨協大学	獨協大学前＜草加松原＞駅西側地域における産官学連携によるまちづくりに関する連絡調整会議・設置	令和7年度	地方自治体	企業	その他	獨協大学前＜草加松原＞駅西側地域における産官学連携によるまちづくりに関する協定書に基づき連絡調整会議を設置し各年度内に1回以上開催することし、会長を1年ごとに順番で5者が担当していくこととなった。
287	獨協大学	獨協大学前＜草加松原＞駅西側まちづくりミーティングシンポジウム	令和7年度	地方自治体	企業	その他	獨協大学前＜草加松原＞駅西側エリア会議事務局と草加市都市計画課主催で官民学が一体となり情報や課題を共有し、地域の未来ビジョン実現に向けた活動の企画実施を通して地域の価値向上及び持続可能なまちの実現を目的として、2025年8月からスタートした獨協大学前＜草加松原＞駅西側まちづくりミーティングの活動報告およびシンポジウムをコミュニティスクエアで開催した。
288	獨協大学	NHK、草加市主催SDGsイベント「NHK あおきいろ たいけんパークinそうか」	令和7年度	地方自治体			NHK、草加市主催のSDGsイベント「NHK あおきいろ たいけんパークinそうか」の開催の際に、本学コミュニティスクエアの会場貸しをするともに、高安ゼミの学生がそうか革職人会の運営協力のもと、「作って体験！レザークラフトワークショップ」を開催した。
289	獨協大学	オープンカレッジ特別講座	平成3年	地方自治体			草加市と共催。生涯学習講座事業であるオープンカレッジを年に2回、春学期（7月ごろ）と秋学期（3月ごろ）に無料で特別講座として開講している。 令和7年度は「なぜバピュリズムは定着したのか」と「生成AIが巻き起こす半導体開発競争」をタイトルに本学教員が担当した。
290	獨協大学	「伝えよう！ふるさと草加 第3回草加市小中学生ICTプレゼンテーションコンクール」	令和6年度	小・中学校			令和8年1月24日（土）、獨協大学コミュニティスクエアで開催された、草加市との連携事業。 教職課程を履修している学生たちが学生・中学生の発表にコメント・助言をするという形式で行った。 教職を志す学生たちには日頃から草加市内の小中学校や県内の高校を訪れて児童生徒と接する機会を持つようしており、この事業もその一貫となっている。 プレゼンテーションコンクールでの発表に向けて日々努力をしてきた児童・生徒と学生との意見交換は双方にとってよい刺激になり、毎年、目覚ましくレベルが上がっている。
291	獨協大学	高校生と留学生の交流イベント	令和7年度	高等学校			高等学校で外国語を学んでいる生徒が、学んだ外国語を生かす場として留学生との交流会を実施した。
292	獨協大学	まちたんけん	令和7年度	小・中学校			草加市立花栗南小学校の2年生15名が生活科の学習として大学を訪問。事前送付された質問を基に簡単な大学の説明、施設見学を2025年9月と10月に実施した。
293	日本医療科学大学	埼玉東上地域大学教育プラットフォーム(TJUP)	平成30年度	大学・短期大学	地方自治体	企業	単位互換・公開講座・学生募集・地域リスクマネージメント・共同研究・知財活用・IPE/IPWプログラムの発展的展開・履修証明型市民大学の提供・地域連携の推進 等
294	日本医療科学大学	イオンモール浦和美園 「～イオンモール浦和美園から広がる健幸の輪～」	令和4年度	企業	地方自治体		産官学連携による健康とスポーツのイベントとして有資格者による本格的な測定会や専門の研究者による講演・体験イベント「うららか広場～イオンモール浦和美園から広がる健幸の輪～」に出展した。
295	日本医療科学大学	子ども大学はとやま	令和4年度	地方自治体	大学・短期大学		鳩山町、東京電機大学並びに山村学園短期大学、日本医療科学大学が連携し、地域の大学の特色を生かした学習活動に子ども自身が学び、生きる力を身につける。
296	日本医療科学大学	子ども大学にしいるま	令和5年度	地方自治体	大学・短期大学		坂戸市・毛呂山町・越生町の教育委員会と連携し、子どもの学ぶ力や生きる力をはぐくみ、地域で地域の小学生を対象として講座を実施。
297	日本医療科学大学	毛呂山消防団「学生機能別団員」	令和2年度	地方自治体	地域団体(NPO、ボランティア、自治会等)	大学・短期大学	毛呂山町消防団「大学生機能別団員」に日本医療科学大学の学生が入団し、地域の消防防災体制の充実強化のため、平常時（広報啓発や訓練など）及び大規模災害時の活動に協力する。
298	日本医療科学大学	高大連携	平成27年度	高等学校			高等学校からの要望に合わせて、出張講義や大学見学会を実施している。
299	日本工業大学	NITEC埼玉産学交流会	昭和60年度	企業			NITEC埼玉産学交流会は、本学協力のもと、埼玉産業人クラブが会員企業の技術レベル向上を図るため、NITEC埼玉産学交流会を推進するとともに、あわせて地域産業の発展に寄与することを目的として、研究現場訪問や産学連携セミナーなどを実施している。
300	日本工業大学	情報ボランティアの派遣制度	平成9年度	地方自治体			本学の情報メディア工学科では、地域社会の情報化への貢献、ボランティア精神の涵養などを目的に、情報技術の専門知識を生かしたボランティア活動を行う「情報ボランティア」として、学生を近隣の小学校などに派遣してきた。平成9年度より毎年開催してきたが、令和4年度は宮代町社会福祉協議会の、また令和5年度からは杉戸町社会福祉協議会の依頼に基づき両町の高齢者のスマホ相談会に学生を派遣している。
301	日本工業大学	教育ボランティアの派遣制度	平成19年度	小・中学校			将来、教員を目指す学生が、教育現場に入り児童・生徒及び教職員と交流し教育の意義と役割を考えること、学生の若い力で地域の教育活動に貢献することを目的として、学部生で教職課程を履修している者及び大学院生で教員免許を所持している者を近隣の小・中学校等に派遣し、授業補助やクラブ活動の補助などの活動を行っている。
302	日本工業大学	大学によるリカレント教育	平成20年度	地方自治体			埼玉県の提唱による県内在住のシニア(55歳以上)方々の社会参加と自己実現を目指す市民開放講座に本学も賛同、「シニアチャレンジ講座」の名称で春学期、秋学期を開講。
303	日本工業大学	夢を見つける！リアル体験教室「科学者になりたい！」 (埼玉県青少年夢のかけし事業を改名)	平成21年度	地方自治体			埼玉県・青少年育成埼玉県民会議が主催する連携事業で、小学生の夢発見や夢実現を支援するため、各分野で活躍中の埼玉ゆかりの一流のプロフェッショナルから学び・体験する教室。本学では、「科学者になりたい！」として物理教員が担当し、理科工作と実験の実演を行っている。

埼玉県における大学と地域等との連携事例（令和7年度）

No.	大学名	取組名	事業の始期	連携先1	連携先2	連携先3	事業内容
304	日本工業大学	彩の国連携力育成プロジェクト	平成24年度	大学・短期大学	地方自治体		埼玉県立大学（代表校）、埼玉医科大学、城西大学、本学および埼玉県が参画。地域住民の豊かな暮らしを支えるための多職種及び地域住民の連携力育成を目的とする。4大学の学生がチームで現場実習に取り組む連携科目を共同開発・開講したほか、実社会で活躍する現任者の方々と地域を対象とした取組など、多様に展開している。
305	日本工業大学	プログラミング教育推進事業	平成30年度	地方自治体			本学が所在する宮代町の全ての小学校4～6年生の児童に対して、総合的な学習の時間を活用し、年間40分5コマのプログラミング授業を設定した。内容としては、小学生でもプログラミングができるソフトを用いてプログラミング的思考を学習した。
306	日本工業大学	スチューデントラボ中学生科学教室	平成15年度	地方自治体			7/26（土） 本学スチューデントラボで中学生科学教室を開催。「作って実験！ペンデュラムウェーブ～振り子の不思議な動き～」宮代町・杉戸町ほか近隣に在住の中学生が参加した。
307	日本工業大学	スチューデントラボ親子ものづくり教室	平成13年度	地方自治体			8/2（土） 宮代町・杉戸町ほか近隣に在住の小学生と保護者を対象とした親子ものづくり教室が本学スチューデントラボで開催された。 (1) 二足歩行ロボットをつくろう (2) トコトコウサギをつくろう (3) 発電ポートをつくろう (4) LED光ファイバーアートをつくろう (5) 家を作る素材で楽器をつくろう
308	日本工業大学	関東地区リフレッシュ理科教室（埼玉会場）	平成15年度	地方自治体			8/23（土） 関東地区「リフレッシュ理科教室」埼玉会場として開催。対象は小・中学校の児童生徒及び教員。 「風に向かって走る車」の工作と、面白科学実験を実施した。
309	日本工業大学	児童館コスモス（越谷市）でのインタラクティブアート・ゲームの体験イベント	令和元年度	地方自治体			8/2（土）、8/3（日） 12の学生が参加し自ら制作したの作品を展示。子供たちや保護者の方々、のべ300名以上の皆さんが体験した。
310	日本工業大学	宮代町ゼロカーボン推進協議会	令和6年度	地方自治体			本学も協議会メンバーとして参画しており、脱炭素型のまちづくりに協力している。
311	日本工業大学	川口信用金庫による寄附講座「創業の基礎」の贈呈式	平成23年度	企業			9/10（水）、川口信用金庫（埼玉県川口市）による寄附講座「創業の基礎」の贈呈式が行われた。 本講座は毎年開講されており今年で14年目、全14回の授業で構成される。本講座では同金庫職員や第一線で活躍する実業家が講師を務め、公的金融機関による創業施策、起業家自身の創業体験や創業のポイントなどを紹介している。
312	日本工業大学	宮代町・杉戸町と連携して「子ども大学みやしろ」「子ども大学すぎと」を開催	（みやしろ）平成23年度 （すぎと）平成28年度	地方自治体			本学が宮代町・杉戸町と連携して「子ども大学みやしろ」「子ども大学すぎと」を開催。 教員・学生が講義や体験を提供することで、子どもの知的好奇心を刺激する学びや子どもの生きる力を向上させる機会を促す。 9/7（日） LEDを光らせるアプリを作成してみよう① 11/9（日） SDGsチャレンジ “学んで作って未来を変えよう” 11/30（日） LEDを光らせるアプリを作成してみよう②
313	日本工業大学	認知症にフレンドリーな社会に向けた合同展を開催	令和3年度	地方自治体			宮代町健康介護課、宮代町社会福祉協議会、宮代町立図書館と本学が連携し、認知症にフレンドリーな社会に向けた合同展vol.7 ～あしたのわたしと認知症～ を開催。 宮代町立図書館での合同展示の期間は 9/12（金）～10/13（月・祝）。 本学教員による特別講演会『宮代発「まちをアルバムにする」とそこから生まれた取り組みの紹介～』（10/13）も開催された。
314	日本工業大学	天満宮奉納少年・少女剣道大会		その他			7/26（土） 宮代剣友会含め4団体会を招待して本学武道場で開催された。
315	日本工業大学	学長杯バスケットボール大会	令和7年度	高等学校			近隣の高校への活動支援の一環として開催しており、初開催となる今年は連携協定校をはじめ近隣の7校が参加した。
316	日本工業大学	白岡市生涯学習センター「第5回こもれびの森まつり」への出展	令和4年度	地方自治体			11/22（土） 大学による協カイイベントとして「サイエンス緑日～ふしぎ実験で学ぼう～」と題した科学実験を実施した。

埼玉県における大学と地域等との連携事例（令和7年度）

No.	大学名	取組名	事業の始期	連携先1	連携先2	連携先3	事業内容
317	日本工業大学	「ママのためのカメラ教室」の開催	令和6年度	地方自治体			11/29(土) 本学の工業技術博物館後援会の主催で開催。 地元の宮代町、杉戸町を中心に親子が参加。 当日は撮影指導のほか、蒸気機関車の乗車体験、学食体験なども併せて実施された。
318	日本工業大学	宮代町立コミュニティセンター進修館オープンカレッジ企画 「ひかるふしぎないきものをつくろう」の開催		地方自治体			2/21(土) タブレットを使って、自分だけの「ひかる ふしぎな いきもの」を描き、簡単なアニメーションを制作し、進修館内で実際に投影(展示)を行った。 作品制作と投影(展示)は、カナダ・モントリオールでプロジェクションマッピングを使ったアート活動を行う「MAPP_」のアーティストを講師に迎え、本学学生が制作の指導と上映を実施した。
319	日本工業大学	サイエンスプロジェクト	令和4年度	地方自治体			2/25(水)、26(木) 町内4小学校の6年生約250名が来校し、SDGs for Engineersの学生の講義と学生環境推進委員会の学生による太陽光発電などの学内施設の説明を受けて環境について学んだ。
320	日本工業大学	杉戸町「文化財講習会」での講演		地方自治体			3/29(日) 本学教員がココティすぎとで、杉戸町「杉戸町角穀跡小島邸について」の講演。 テーマは『杉戸町旧細谷家住宅について』。
321	日本工業大学	アクティブシニア向けAI体験イベントを実施	令和7年度	その他			6/17(火)、学生有志チームが、大学近隣地域のアクティブシニア(元気で活動的な高齢者)に向けたAI体験イベント「暮らしを彩るAI体験講座」を開催した。
322	日本工業大学	白岡市ウィークエンドいきいき体験教室	令和7年度	地方自治体			3/7(土)に埼玉県白岡市ウィークエンドいきいき体験教室「親子で工作、サイエンスショーを楽しもう」を開催し、小学生11名、保護者8名が参加した。工業技術博物館でSLや箱根登山鉄道の電車を見学、そして館内に動態保存されている複数の機械を見学した。
323	日本工業大学	木エサークルの学生が杉戸町ヘレイズドベッド(花壇)を納品	令和7年度	地方自治体			杉戸町・市街地整備推進室からの依頼を受け、木エサークルの学生がココティすぎとに設置するレイズドベッド(花壇)を制作し、3月23日に納品した。当日は学生5名と顧問教員が訪問し、完成報告を行った。花壇は地域交流の場となるよう、子どもから大人まで楽しめる2段構造で設計した。また、材料にはホームセンター等で購入可能な2×4材を使用し、誰でも制作しやすい点も特徴となっている。
324	日本工業大学	埼玉県「カーボンニュートラルセミナー」開催	令和7年度	地方自治体			9/26(金)、埼玉県産業振興公社主催により、脱炭素技術や設備導入事例を紹介する「カーボンニュートラルセミナー」が開催された。セミナー内では、埼玉版スーパーシティプロジェクト有識者会議の座長を務めた成田副理事長が、「スーパーシティプロジェクトの実現に向けて」と題した基調講演を行った。
325	日本工業大学	大規模な土砂災害、風水害時における救助訓練の協力	令和7年度	地方自治体			埼玉県土砂・風水害機動支援部隊の合同訓練が10月9日、埼玉キャンパスの多目的運動広場において実施された。 本訓練は今年で6回目となり、複数消防本部(局)で構成される同部隊が一堂に会し、救助手法等の認識の統一を図り、来る災害に万全を期すことを目的としている。本学は今回初めて訓練会場の貸与という形で協力した。
326	日本工業大学	春日部市民講座でロボット工学を実演		地方自治体			10/4(土)、春日部市役所にて日本工業大学春日部市民講座「最先端のロボット工学～教えて！ニコット先生～」が開催し、春日部市在住・在勤・在学の市民54名(うち小学生以下15名)が参加した。
327	日本工業大学	小中学生向け無料塾・Yorisowがオープン	令和7年度	地方自治体			9/24(水)、日本工業大学無料塾「Yorisow(よりそう)」を開講した。 これは、宮代町教育委員会の後援のもと、宮代町内の学校に在籍する小中学生で、学校に行くことができない、または集団での授業が受けづらい児童生徒さんを対象に、週1回(毎週水曜日17:00～18:00)本学の教室で勉強を行ってもらう取り組みである。
328	日本赤十字看護大学	大学コンソーシアムさいたまリレー講座	令和4年度	地方自治体			コンソーシアム全体のリレー講座のテーマ「心と体の健康」を踏まえ、さいたま看護学部でのテーマを小学生向けにからだの不思議をテーマにした講義と、聴診器で心拍を測定するなどの体験を行った。 【日程】2026.3.7実施 【テーマ】キッズカレッジ(小学生対象) 講師:本学教員 【対象】小学生とその保護者24組
329	日本赤十字看護大学	UR 都市機構との共催事業	令和4年度	企業	地域団体(NPO、ボランティア、自治会等)		UR都市機構から健康づくりへの協力依頼があり、セミナーを実施。コンフォール南浦和団地の住民対象に同団地集会所にて行った。 高齢者の低栄養や脳梗塞予防について本学教員と外部講師によるミニ講話と、学生による「防災対策」をテーマにしたレクリエーションを実施した。 【日程】2025.8.19 【テーマ】いつまでもあなたらしく健康に！日常に取り入れたい栄養対策 講師:本学教員と外部講師 【対象】20名

埼玉県における大学と地域等との連携事例（令和7年度）

No.	大学名	取組名	事業の始期	連携先1	連携先2	連携先3	事業内容
330	日本赤十字看護大学	埼玉県大学・短期大学図書館協議会（SALA）	令和3年度	大学・短期大学			埼玉県内大学・短期大学図書館（分館・分室を含む）等間の相互協力を通じて、相互の改善向上を図ることを目的とし、下記の事業を行っている。 ・図書館等間の相互協力の推進 ・図書館活動に関する調査・研究 ・研修会の開催 ・会報等の発行
331	人間総合科学大学	蓮田市地域福祉計画策定委員会	令和7年度	地方自治体			地域福祉計画に関する事項について、必要な調査及び審議を行う。
332	人間総合科学大学	蓮田市総合振興計画審議会	令和7年度	地方自治体			総合振興計画に関する事項について、必要な調査及び審議を行う。
333	人間総合科学大学	蓮田市都市計画審議会	令和7年度	地方自治体			年計画に関する事項について、必要な調査及び審議を行う。
334	人間総合科学大学	子ども大学SAITAMA	令和7年度	地方自治体			さいたま市が行っている子ども大学の講義の1つを岩槻キャンパスで開催した。 さいたま市の4～6年生を対象とし、「じぶんのからだを知ろう！呼吸のひみつを探ってみよう！」をテーマとして、リハビリテーション学科理学療法学専攻の教員と学生が講師を担当した。
335	人間総合科学大学	いきいき街づくり委員会	令和7年度	企業			蓮田市商工会の委員として教員を派遣、特産品の開発を行っている。
336	人間総合科学大学	さいたま市地産地消健康幸メニューの開発・販売	令和7年度	企業			さいたま商工会議所およびさいたま市内飲食・小売店との連携により、さいたま市農産物を使用した地産地消のメニュー開発を行っている。開発した商品は、期間限定で提供も行っている。
337	人間総合科学大学	大学コンソーシアムさいたま	令和7年度	大学・短期大学			本学を含む県内12大学が加盟し、教育及び研究分野における連携に関することや民産学官との連携及び交流の促進に関する取り組みを行っている。
338	人間総合科学大学	さいたま市食品ロスプロジェクト	令和7年度	地方自治体			さいたま市では平成30年度より「さいたま市食品ロス削減プロジェクト」を開始し、食品ロスの削減を推進するため、事業者と市でつくる「チームEat All」事業に参加している。
339	人間総合科学大学	岩槻タウンカフェ	令和7年度	地方自治体			岩槻区の魅力あるまちづくりや課題解決について、行政に対する要望に偏らない、地域の自主的かつ主体的に実践できるようなアイデアを出し合う意見交換の場として開催。「岩槻区役所の魅力向上と賑わいの創出に向けて考える」をテーマに、学生5名・教員1名が参加した。
340	人間総合科学大学	第14回学生政策提案フォーラム in さいたま	令和7年度	地方自治体			7大学10グループの学生が「誰もが自分らしく暮らせる地域共生社会の実現」をテーマに政策を提案。本学からは1チームが参加「減災について」をテーマに発表。
341	人間総合科学大学	第23回　～人形のまち岩槻　まちかど雛めぐり～	令和7年度	地方自治体	企業		岩槻区主催のひな巡りのイベントの同時開催で、岩槻キャンパスにおいて360体を超える大迫力のひな人形の階段飾りを始め、健康イベント・ハンドメイド・音楽フェスなどのイベントを開催した。
342	人間総合科学大学	うたやの森フェスティバル	令和7年度	企業			うたやの森フェスティバル実行委員と蓮田市商工会青年部が主催のイベントに、学生2名がボランティアで参加した。
343	人間総合科学大学	シニア健康講座	令和7年度	地方自治体			蓮田市中央公民館主催の講座に教員を講師として派遣し、「シニアの栄養と食事　食べて貯筋～フレイル予防」をテーマに講義を行った。
344	人間総合科学大学	子ども講座	令和7年度	地方自治体			蓮田市中央公民館主催の講座に教員を講師として派遣し、「ぶくっとまん丸 カラメルドーム」「災害時のバッククッキング」の2テーマの講義を行った。
345	人間総合科学大学	さいたまマラソン（中止）	令和7年度	地方自治体			（中止）さいたまマラソンの給水ボランティアに教職員・学生含めて74名が参加予定だったが降雪のため中止となった。
346	人間総合科学大学	上尾シティハーフマラソン	令和7年度	地方自治体			上尾シティハーフマラソンの給水ボランティアに教職員・学生7名が参加。
347	人間総合科学大学	さいたま市タウンミーティング	令和7年度	地方自治体			「地域の暮らしを支える移動について考えよう」をテーマに、さいたま市長を含めた参加者とともに、本学からは学生が3名参加し意見交換を行った。
348	人間総合科学大学	出張講義	令和7年度	地方自治体			上尾市内の公民館主催の講座に教員を講師として派遣し、「自律訓練法を学ぶ」をテーマに講義を行った。
349	人間総合科学大学	出張講義	令和7年度	企業			いきいき埼玉主催の講座に教員を講師として派遣し、高齢者を対象としたフレイル予防に役立つ「健康栄養講座～人生100年時代を生き抜く身体づくり」「シニアの健康講座」をテーマに講義を行った。
350	人間総合科学大学	公開講座	令和7年度	地方自治体	企業		人間総合科学大学、蓮田市商工会と蓮田市による、防災・減災・災害対策等リスクマネジメントの連携協力に関する協定に基づき、「地域防災に役立つ公開講座」を4回開催した。
351	人間総合科学大学	学校運営協議会	令和7年度	小・中学校	高等学校		岩槻はるかぜ特別支援学校の学校運営協議会委員とし教員を派遣
352	文教大学	文教大学あいのみ文庫	昭和57年度	地域団体（NPO、ボランティア、自治会等）			文教大学越谷図書館の児童室施設・資料を地域の子どもたちに提供する児童文庫活動。設置当初は図書館の業務の一部だったが昭和62年より運営をボランティアに委託している。 平成18年文部科学大臣賞受賞。
353	文教大学	親子科学教室	平成15年度	地域団体（NPO、ボランティア、自治会等）			NPOとの共催で、公開講座として開催している。実験を伴い、自由研究への導入としても役立つ内容を提供する。また、親子で参加することで、大人にも発見のある講座となっている。 令和7年7月19日（土）「実験で学ぶはじめての力学」 NPO埼玉のしい科学ネットワーク講師
354	文教大学	文教大学あいのみ文庫連続講座	平成19年度	地域団体（NPO、ボランティア、自治会等）	地方自治体		文教大学あいのみ文庫の活動として、文庫スタッフおよび有識者等による連続講座を開催している。関心をもつ親のほか、学校司書等も参加している。 ・乳幼児を持つ親のための講座「わくわく絵本教室」 ・図書ボランティアのための講座「本物の読み手を育てるために」
355	文教大学	子ども大学こしがや・まつぶし	平成22年度	地方自治体	地域団体（NPO、ボランティア、自治会等）	大学・短期大学	平成25年度までは「子ども大学こしがや」平成26年度より「子ども大学こしがや・まつぶし」越谷市及び松伏町在住の小学生に発展的な学習の機会を提供するため、本学および他の団体が連携し、「はてな学」「ふるさと学」「生き方学」をテーマにリレー講座を実施している。 令和7年8月7日（木）「こころとからだの健康を楽しむ学ぼう！」人間科学部教授　石原俊一 令和7年10月4日（土）「越谷吾山さんに教えてもらおう、日本の方言」文学部准教授　亀田裕見

埼玉県における大学と地域等との連携事例（令和7年度）

No.	大学名	取組名	事業の始期	連携先1	連携先2	連携先3	事業内容
356	文教大学	シニアアカデミー	平成28年度	地方自治体			埼玉県のリカレント事業に賛同し、県福祉部との協定に基づき実施。県内在住の55歳以上の方を対象に、学部授業の一部を開放している。 令和7年度開放科目:「地理学」「文学」「障害児教育思想史」「ボランティア論N」「North American Studies I」「演劇論 I」
357	文教大学	越谷市 学生ボランティア制度	平成29年度	地方自治体			本学で教職を目指して学んでいる学生が学校応援団の一員として越谷市内の小・中学校における教育活動をサポートする。
358	文教大学	さいたま市教師塾「夢」講座	平成30年度	地方自治体			さいたま市教員等資質向上指標(キャリアnavi)【教諭・主幹教諭】に示されている資質を確実に身に付け、教職への意欲と使命感に燃えるさいたま市の教員を養成するために実施する。
359	文教大学	三郷市 学生ボランティア制度	令和2年度	地方自治体			本学で教職を目指し学んでいる学生が学校応援団の一員として三郷市内の小・中学校における教育活動を 補助するための制度。
360	文教大学	「高校生「学び」”夢”プラン」の受入れ	令和4年度	高等学校			埼玉県高等学校進路指導研究会との連携により、県内高校で学ぶ生徒の進路選択の参考、職業や生き方を考える機会として埼玉県民の日に実施。通常授業に高校生・高校教員を受け入れる。 令和7年度対象授業:「異文化理解概論」「社会福祉概論(A)」「人間性心理学」「健康・医療心理学」「研究基礎演習2(B)～大学での学び 研究方法の基礎を学ぶ～」言語と心理Ⅱ(B)～人は第二言語(外国語)をどのように習得しているのか～」英語科教育法Ⅳ(教職科目)」「専門ゼミナールⅡ ～English for Global Engagement(国際社会とつながる英語)～」国際観光とホスピタリティ」「専門ゼミナールⅡ～観光事業とホスピタリティ・マネジメント～」企業と市場の経済(ミクロ経済)」「スケジューリング」「基礎統計」「高校生のためのやさしいデータサイエンス&マーケティング」
361	文教大学	彩の国 かがやき教師塾	令和4年度	地方自治体			大学生の早い段階から、学校現場で体験を積むことによって、教職に対する学生の意欲を高めるとともに、将来の埼玉教育の中核的な立場として活躍できる教員の基礎となる資質を育成することを目的としたもの。
362	文教大学	さいたま市 アシスタントティーチャー	不明	地方自治体			教員を志している大学生による学習支援ボランティア(アシスタントティーチャー)は、児童生徒のきめ細かな学習支援の実現と、参加する大学生の教員となるための意欲や資質を高めることを目的としたもの。
363	文教大学	子ども大学そうか	平成27年度	地方自治体	大学・短期大学		大学の教育資源を活用した講義や地元を学ぶ講義を実施することで、普段の学校生活とは一味違った特別な体験学習を通し、子どもたちの学ぶ力や生きる力を豊かに育むことを目的としたもの。 令和7年9月20日(土)「世界がもし100人の村だったら～SDGsを体感しよう!～ 経営学部准教授 田中克昌
364	文教大学	越谷市×JTB連携 企業PRプロジェクト	令和7年度	地方自治体	企業		越谷市内の雇用促進による地域内経済循環や、職住近接による持続可能なまちの実現を図るため、若者の市内就職を促進することを目的としたもの。
365	文京学院大学	公開講座ウィークエンドフォーラム	平成4年度	地方自治体			ふじみ野市及び周辺地域に対する知識の提供を目的として、公開講座を開講。令和7年度は、10月18日(土)に実施した。
366	文京学院大学	淑徳大学・文京学院大学共催公開講座	平成14年度	地方自治体	大学・短期大学		富士見市、ふじみ野市、三芳町その他の地元社会において公開講座を開催することにより、市民にとって価値の高い修学の機会を提供する事を目的とする。令和7年度は、10月4日(土)に公開講座を行った。文京学院大学・淑徳大学共催公開講座。
367	文京学院大学	ボランティア支援活動	平成17年度	地域団体(NPO、ボランティア、自治会等)	地方自治体		ふじみ野キャンパス地域連携センターBICSでは、学生が中心となり、近隣地域の小学生、自治体、町内会、NPO法人、高齢者施設、障がい者施設と連携し、音楽演奏、スポーツ、レクリエーションなどのボランティア支援を定期的に行っている。令和7年度も、学生が主体的に関われる活動に取り組んだ。
368	文京学院大学	高大連携講座「高校生のまなびとあそびのキャンパス」	平成22年度	幼稚園・保育園			ふじみ野高校普通科1年生を対象とした体験授業。学生による課外活動の説明の後、各学部・学科の教員が担当する体験学習を重視した複数び講座のうち、希望する講座を受講するプログラム。教員指導の下、進行を大学生・大学院生が務める講座もある。令和7年度は、夏のオープンキャンパスの日程に合わせて開催した。
369	文京学院大学	子ども大学ふじみ野	平成24年度	地方自治体			子ども大学ふじみ野は「まなびで つながり ひろがる 人と地域を育むまち ふじみ野」を基本理念とする「ふじみ野市生きがい学習推進計画」に従い、普段学校では学ぶ事の出来ない専門的カリキュラムによって、子どもの知的好奇心を刺激する講義や体験活動を行っている。 具体的には、総合テーマを「共に生きる社会の理解」とし、多様化している現代社会において、課題に対応する「生きる力」を地域で育むとともに、誰もが笑顔で生活できるまちづくりのきっかけとなる学びを提供している。 対象者は市内に在住する小学校4～6年生とし、文京学院大学ふじみ野キャンパスを中心に、原則市内で実施している。令和7年度は、12月4日(土)・5日(日)に実施した。
370	文京学院大学	ふじみ野市と学校法人文京学園との連携協力に関する包括協定書	平成28年度	地方自治体			社会福祉の充実に関する事項や、教育・文化・スポーツの発展と振興に関する事項、環境の保全・回復・創出に関する事項、産業振興、地域コミュニティの発展、人材育成に関する事項。令和7年度も「公務キャリア特講(2年後期)」の授業において、市役所のご担当者様から対面により講義を実施した。
371	文京学院大学	アートフェスタふじみ野	平成29年度	地方自治体			包括協定締結先のふじみ野市のイベントに、学生、教職員が出演及び運営に参加している。令和7年度は、1月24日(土)、25日(日)でふじみ野ステラ・イーストにて対面で実施した。
372	文京学院大学	文京学院大学人間学部とふじみ野高等学校との教育連携に関する協定書	平成29年度	高等学校			双方が実施する教育連携事業等への生徒、学生の参加。双方の教員による出前授業及び施設・設備の利用や教員の資質向上のための研修。教育についての情報交換及び交流。令和7年度、保健医療技術学部も含めた2学部(人間学部・保健医療技術学部)にてオムニバス形式での体験授業を実施。
373	文京学院大学	文京学院大学と富士見高等学校との教育連携に関する協定書	令和5年度	高等学校			高大連携公開授業「オープンカレッジ」を実施。1～2年生が5月～12月にかけて各学科の授業を受講し、12月には生徒が取り組む探究活動の研究発表会を行った。
374	文京学院大学	商店街活性化プロジェクト	平成30年度	企業	地方自治体		ふじみ野キャンパス周辺のシャッター商店街を大学生と地域の連携活動により活性化を実施。現在は空き店舗を借り大学生が地元の子どもの交流を図る駄菓子屋を運営している。令和7年度は、3月20日(祝)にまちフェス開催。
375	文京学院大学	学生企業見学会	令和元年度	企業			学生が地元企業を訪問。地域経済への貢献、仕事の内容などへの理解を深めることを目的として実施。令和7年の1月に、学生企業見学会を実施。県内では4社が参加。
376	文京学院大学	インターンシップ	令和6年度	企業	地方自治体		令和6年夏に、人間福祉学科の2年生2名が、地元企業でインターンシップに参加。
377	文京学院大学	リカレント科目開講	平成27年度	地方自治体			埼玉県高齢者福祉課からの依頼で、参画がスタート。県内在住の55歳以上の方を対象に、生活の充実や社会参加のきっかけづくりとしていただくため、県と県内・近隣にキャンパスを構える 23大学が協力し、授業科目の一部を開放している。令和7年度も、人間学部、保健医療技術学部の科目をリカレント科目として開講。
378	文京学院大学	ふじみ野市議会と文京学院大学との連携に関する協定	令和3年度	地方自治体			相互の連携の下、人材交流を図る基盤を整備し、地域貢献及び社会貢献を担う人材の育成に寄与することを目的とする。この協定に基づき、人材の交流及び育成、大学図書館と議会図書室との連携や市議会の政策形成に関する事項について、連携強化を推進するため、協定の締結を行う。コロナで中止していたが、令和5年度より再開。令和7年度も、学生と市議会との交流企画をし、11月10日(月)ふじみ野キャンパスにて「議会報告会」「意見交換会」を開催。
379	平成国際大学	加須市シニアいきいき大学	平成23年度	自治体(行政)			高齢者の主体的な学習参加や学習活動を促進し、高齢者の力を社会に活かしていくため、加須市内在住の60歳以上を対象に「社会科学部」、「人間科学部」で専門的な講義を行っている。

埼玉県における大学と地域等との連携事例（令和7年度）

No.	大学名	取組名	事業の始期	連携先1	連携先2	連携先3	事業内容
380	平成国際大学	子ども大学かぞ	平成24年度	自治体（行政）			子どもの知的好奇心を満足させる学びの機会を提供するため、加須市教育委員会、加須青年会議所、加須げんきプラザ、加須市子育て支援課と連携して、ものごとの原理やしぐみを追及する「はてな学」、地域を知り郷土愛を愛する心を育てる「ふるさと学」、自分を見つめ人生や将来について考える「生き方学」の分野を開講している。
381	平成国際大学	加須市消防団「大学生機能別団員」	平成29年度	自治体（行政）			加須市消防団「大学生機能別団員」に平成国際大学の学生が入団し、地域の消防防災体制の充実強化のため、平常時（消防団PR活動や大規模災害を想定した訓練など）及び大規模災害時（避難場所運営、物資の仕分け、避難誘導など）の活動に協力する。
382	平成国際大学	学校法人佐藤栄学園 平成国際大学と大宮東高等学校との連携協定	平成29年度	幼保・小・中・高等学校等			双方の教育資源を活用し活性化を図るため、スポーツ科学的なサポート通じた高校生の競技力向上、インターンシップ実習（就業体験）の受け入れなどを行っている。
383	平成国際大学	子ども大学くき	平成30年度	自治体（行政）			子どもの知的好奇心を満足させる学びの機会を提供するため、久喜市教育委員会、久喜青年会議所と連携して、ものごとの原理やしぐみを追及する「はてな学」、地域を知り郷土愛を愛する心を育てる「ふるさと学」、自分を見つめ人生や将来について考える「生き方学」の分野を開講している。
384	平成国際大学	3大学（埼玉純真短期大学、平成国際大学及びものづくり大学）の連携協力	平成30年度	自治体（行政）		大学・短大（大学・短大間連携）	3大学の教育研究と学術交流及び地域連携活動における教育促進のため、協定を締結した。 R7年度： 6月3日：三大学学長連絡協議会 2月10日：三大学合同研究発表会、三大学合同高大連携交流会、三大学合同学生交流会
385	平成国際大学	加須市議会議員による本学視察研修開催	令和元年度	自治体（行政）			コロナ禍等により中断されていたが、コロナ禍等により中断されていたが、加須市議会全議員および法学部学生が出席し、加須市の現状と未来について協議が行われた。
386	平成国際大学	3市（行田市、加須市及び羽生市）1商工会議所（行田）、3商工会（加須市商工会、羽生市商工会及び南河原商工会）3大学（埼玉純真短期大学、平成国際大学及びものづくり大学）の連携協力	令和2年度	自治体（行政）	産業界（企業等）	大学・短大（大学・短大間連携）	3市、1商工会議所、3商工会、3大学は、3市の圏域特性及び各当事者の特色や資源を活かし、高等教育等の教育及び地域連携活動に際しての産学官の協力促進のため、協定を締結した。 R7年度： 8月21日、3月5日：彩北未来プロジェクト会議 11月8日、9日：大学祭における彩北未来プロジェクト広報活動 2月10日：三大学合同研究発表会
387	平成国際大学	移動スーパーの実施	令和5年度	自治体（行政）	産業界（企業等）		買物に困難を感じている高齢者等の利便性の向上を図るため、ウェルシア薬局(株)による週1回の移動スーパーによる商品の巡回販売を実施している。
388	平成国際大学	加須市長参加「加須クイズ」	令和5年度	自治体（行政）			角田加須市長を迎え、加須市を知るためのクイズを法学部の各ゼミの学生が出題し、一般参加者を中心に加須市長も含め解答を行い、加須市の知られざる情報をクイズ形式により周知させるイベントを開催した。
389	平成国際大学	こども美術展覧会 in KAZO	令和5年度	自治体（行政）			令和5年度より設置された平成国際大学附属サトエ美術館において、加須市立の全小・中学校（30校）が参加し、全児童・生徒（約8,000人）が対象となる絵画コンクールを開催し、各校代表の作品180点が美術館所蔵作品と共に展示を行なった。
390	平成国際大学	加須市ミドルアップ大学	令和5年度	自治体（行政）			加須市との連携により、日本と世界の「今」を学ぶ機会をつくるべく、加須市在住の30代から50代の方を対象に令和6年度新たに開講し、「社会人のためのリベラルアーツ」（法学部）、「健康ライフプラン」（スポーツ健康学部）の2つのコースを開講いたしました。
391	平成国際大学	学校法人佐藤栄学園 平成国際大学と埼玉県立伊奈学園総合高等学校との連携協定	平成29年度	幼保・小・中・高等学校等			双方の教育資源を活用し活性化を図るため、高校生へのスポーツ科学、社会科学、情報科学に関する学びのサポート、並びに本学学生のインターンシップ実習等で、両校の発展のため今後協議を行いながら連携協力を強化すべく締結した。
392	平成国際大学	学校法人佐藤栄学園 平成国際大学と埼玉県立鷲宮高等学校との連携協定	平成29年度	幼保・小・中・高等学校等			双方の教育資源を活用し活性化を図るため、高校生へのスポーツ科学、社会科学、情報科学に関する学びのサポート、並びに本学学生のインターンシップ実習等で、両校の発展のため今後協議を行いながら連携協力を強化すべく締結した。
393	武蔵野音楽大学	入間市 市民コンサート	昭和55年度	地方自治体	大学・短期大学		文化事業の一環として、入間市民にクラシック音楽鑑賞の機会を提供することを目的（協定内容）として昭和55年度（1980）に開始した。長年にわたり親しまれ続け、今年度（令和7年度）で47回目を迎えた（令和元年度は台風の影響で中止、令和3年度は新型コロナウイルス感染拡大防止の観点により中止）。現在では入間市教育委員会入間市立中央公民館が主催し、「市民コンサート」として市民に広く定着している。例年10月中旬から下旬の間に、両者で検討のうえ日時・会場を設定している。令和7年度は10月4日に武蔵野音楽大学パツハザールで開催し、多数の市民がオーケストラの演奏を鑑賞し好評を博した。
394	武蔵野音楽大学	子ども音楽大学いるま	平成25年度	地方自治体	大学・短期大学		「子どもの知的好奇心を刺激する学びの機会や文化芸術に触れる機会を提供する」目的で、「子ども音楽大学いるま」と銘打って、入間市教育委員会生涯学習課との連携により、地域の小学生（4年生～6年生）30名を対象に9月～10月の間に実施している。令和2年度、令和3年度は新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から中止となったが、令和7年度は「メロディーって どうして 生まれたの？」「はじまして！みんなのバイブ オルガン」「ハーモニーって どうして 生まれたの？」の講座を実施した。
395	武蔵野音楽大学	入間市文化創造アトリエ・アミーゴ アフタヌーンコンサート「武蔵野音楽大学の名手たち」	平成26年度	地域団体（NPO、ボランティア、自治会等）	大学・短期大学		入間市の公共施設「入間市文化創造アトリエ・アミーゴ」は、市民のNPOによる運営で、演劇、音楽、古典芸能、アートなどの文化芸術分野で様々な事業を展開している。同じ入間市内にキャンパスを持つ音楽大学として、市民にクラシック音楽に親しむ機会を提供すると共に、地元出身の若い演奏家を応援するコンサートとして、本学大学院の学生を中心とした演奏会を毎年開催し、市民から好評を得ている。令和7年度には大学院生によるテューバ、声楽、ピアノの演奏を実施した。
396	武蔵野学院大学	公開講座	平成20年度				地域社会に開かれた大学、地元の発展に貢献する大学を 目指し、地域住民を対象とした「公開講座」を開講している。令和6年度は全2回の講座を開講した。
397	武蔵野学院大学	コラボレーション講座	平成22年度	高等学校			高大連携事業として埼玉県内の高等学校の生徒を対象に講座を開催し、大学の雰囲気や講義を疑似体験できる取り組みとして5月から7月にかけて全8回・16講座を実施している。 ※協定締結校：埼玉県立飯能高等学校、埼玉県立狭山緑陽高等学校、埼玉県立鶴ヶ島清風高等学校、埼玉県立川越工業高等学校、埼玉県立川越初雁高等学校、埼玉県立秩父農工科学高等学校、埼玉県立富士見高等学校、日々輝学園高等学校東京校、クラーク国際記念高等学校（所沢キャンパス）、わせがく夢育高等学校（飯能・川越・所沢・南浦和キャンパス）
398	武蔵野学院大学	子ども大学さやま	平成25年度	小・中学校	地方自治体	その他	子どもの知的好奇心を刺激する学びの機会を提供するため、狭山市教育委員会社会教育課・飯能信用金庫と連携し、子ども大学さやまを全3回開講している。ものごとの原理やしぐみを追求する「はてな学」、地域を知り郷土を愛する心を育てる「ふるさと学」、自分を見つめ人生や将来について考える「生き方学」の3分野について学習する。
399	武蔵野学院大学	インターンシップ	平成28年度	企業	地方自治体	地域団体（NPO、ボランティア、自治会等）	正規授業である「インターンシップ」の授業を産学官連携によるPBL(Project-Based Learning)型で実施している。狭山市の企業が抱える課題を学生がグループで解決する中で学びを深めるという授業内容で、学生の学び(教育的価値)だけでなく、企業の課題解決(経済的価値)と狭山市の課題解決(社会的価値)を同時に実現することを目指している。市職員の方々には、事業所の紹介や学生への講和等でご協力いただいており、産学官三位一体のプロジェクトとして推進している。
400	武蔵野学院大学	ムサシノイングリッシュフェスティバル	令和6年度	企業	地方自治体	地域団体（NPO、ボランティア、自治会等）	地域の子ども達が英語の様々な体験ができるEnglish Festivalを産学官連携により実施している。本学の学びの特徴のひとつである英語を通して地域貢献に資するべく、学生達が英語のワークショップを企画し、運営も学生達により行われる。また、行政や地域企業にも協力いただき、地域の魅力や各社の商品・サービスについても触れられる機会を創出している。

埼玉県における大学と地域等との連携事例（令和7年度）

No.	大学名	取組名	事業の始期	連携先1	連携先2	連携先3	事業内容
401	武蔵野学院大学	狭山市市制施行70周年記念　ちびっこわくわく運動会	令和6年度	地方自治体			狭山市市制70周年を契機に、本学学生たちが日々の学びを活かして子育て世代や地域の方々への楽しい体験を提供しつつ交流促進に繋がるミニ運動会を実施した。
402	武蔵野短期大学	公開講座	平成20年度				地域社会に開かれた大学、地元の発展に貢献する大学を　目指し、地域住民を対象とした「公開講座」を開講している。令和6年度は、全2回の講座を開講した。
403	武蔵野短期大学	コラボレーション講座	平成22年度	高等学校			高大連携事業として埼玉県内の高等学校の生徒を対象に講座を開催し、大学の雰囲気や講義を疑似体験できる取り組みとして5月から7月にかけて全8回・16講座を実施している。 ※協定締結校：埼玉県立飯能高等学校、埼玉県立狭山緑陽高等学校、埼玉県立鶴ヶ島清風高等学校、埼玉県立川越工業高等学校、埼玉県立川越初雁高等学校、埼玉県立秩父農工科学高等学校、埼玉県立富士見高等学校、日々輝学園高等学校東京校、クラーク国際記念高等学校(所沢キャンパス)、わせがく夢育高等学校(飯能・川越・所沢・南浦和キャンパス)
404	武蔵野短期大学	子ども大学さやま	平成25年度	小・中学校	地方自治体	その他	子どもの知的好奇心を刺激する学びの機会を提供するため、狭山市教育委員会社会教育課・飯能信用金庫と連携し、子ども大学さやまを全3回開講している。ものごとの原理やしくみを追求する「はてな学」、地域を知り郷土を愛する心を育てる「ふるさと学」、自分を見つめ人生や将来について考える「生き方学」の3分野について学習する。
405	武蔵野短期大学	ムサシノイングリッシュフェスティバル	令和6年度	企業	地方自治体	地域団体（NPO、ボランティア、自治会等）	地域の子ども達が英語の様々な体験ができるEnglish Festivalを産学官連携により実施している。本学の学びの特徴のひとつである英語を通して地域貢献に資するべく、学生達が英語のワークショップを企画し、運営も学生達により行われる。また、行政や地域企業にも協力いただき、地域の魅力や各社の商品・サービスについても触れられる機会を創出している。
406	武蔵野短期大学	狭山市市制施行70周年記念　ちびっこわくわく運動会	令和6年度	地方自治体			狭山市市制70周年を契機に、本学学生たちが日々の学びを活かして子育て世代や地域の方々への楽しい体験を提供しつつ交流促進に繋がるミニ運動会を実施した。
407	明海大学	病診連携と登録医制度	平成15年度	その他			埼玉県歯科医師会の各都市歯科医師会と連携し、登録医の患者紹介による診療、診断の補助、共同診療など効率的な医療の推進。明海大学歯学部メディアセンター利用や研修会、セミナーへの参加。
408	明海大学	図書館の施設開放	平成15年度	その他	その他		病診連携登録医及び教職員並びに城西大学の学生及び教職員への図書館開放。
409	明海大学	坂戸市と日本栄養大学、城西大学及び明海大学の坂戸市民の健康づくりに関する連携協力協定に基づく事業	平成18年度	地域団体（NPO、ボランティア、自治会等）	地方自治体	大学・短期大学	坂戸市は、市民の多くが首都地域で働く、典型的なベッドタウンである。そのため、団塊の世代の退職者が増加するに従い、急速に高齢化が進む可能性が高く、「生活習慣病予防」の対策を積極的に行うことが大変重要な時期にある。現在、明海大学歯学部は、「食を通じた健康づくり応援店」の認定審査に参加している。
410	明海大学	子ども大学にしいるま	平成24年度	地域団体（NPO、ボランティア、自治会等）	地方自治体	大学・短期大学	大学、市、町、県が連携し、大学教授等プロフェッショナルが小学校で教えないような課題を大学で教えるという、子ども（4～6年生）の知的好奇心を満足させる学びの機会を提供する。 以下の2分野の講義を基本としている。 1.ものごとの原理やしくみを追求する「はてな学」 2.自分を見つめ人生や将来について考える「生き方学」
411	明海大学	坂戸市消防団「大学生機能別団員」	平成29年度	地方自治体	地域団体（NPO、ボランティア、自治会等）	大学・短期大学	坂戸市消防団「大学生機能別団員」に明海大学、城西大学及び日本栄養大学の学生が入団し、地域の消防防災体制の充実強化のため、平常時（火災予防及び消防団PR活動、出初め式及び防災訓練など）及び大規模災害時（避難所等での支援活動など）の活動に協力することで、地域防災体制の一層充実を目的としている。
412	目白大学	車いすテニスプレーヤー支援 ＜埼玉県車いすテニス協会との連携＞	平成29年4月	地域団体（NPO、ボランティア、自治会等）			本学での定期的な練習のサポートや大会の支援や交流イベントの開催を行う。 協会メンバーの授業協力、協会主催の川越水上公園車いすテニス大会への参加と協力も行っている。
413	目白大学	区内就労支援事業所との連携 （パン・焼き菓子販売）	令和2年4月	地域団体（NPO、ボランティア、自治会等）			月2回程度、本学にて学生と就労支援事業所の利用者・職員でパン・焼き菓子の販売を行う。
414	目白大学	岩槻区地域支え合い推進員連絡会との連携	令和3年4月	地方自治体			岩槻区内の3つの地域包括支援センター（松鶴園、白鶴ホーム、社協岩槻）の高齢者生活支援コーディネーターと岩槻区高齢介護課とで行う月に1回の会議に本学教員が参加し、岩槻区内における介護予防を目的とした通いの場や自主グループの創設・継続支援について情報共有することを目的とする。また、本連絡会に関する事業に学生ボランティアを派遣する。
415	目白大学	“ジェンダー平等” 今、できること。 －仲間と語ろう、仲間と考えよう－ 目白大学×With Youさいたま（共催）	令和5年4月	地方自治体			埼玉県男女共同参画推進センター With Youさいたまとの共催事業である。 ジェンダー平等に関する認識向上を目指し、With Youさいたま事業担当の方と学生でカンファレンス（①DV被害者への対応について②私らしく生きるために今できること）を実施した。また、R7年2月にWith Youさいたまフェスティバルにおいて、本活動の発表を行った。
416	目白大学	元気アッププロジェクト	令和5年4月	地域団体（NPO、ボランティア、自治会等）			地域で暮らす高齢者のヘルスプロモーション活動や和土小学校の活動をサポートする。 おもな活動は以下！！ ・岩槻南循環器クリニックに通院する高齢者さんと一緒にお散歩を楽しむ（1回/月） ・岩槻南循環器クリニックとの企画・運営で健康に関する市民公開講座を開催する（1回/年） ・岩槻南病院、和土住宅自治会との企画・運営で健康に関する座談会を開催する（1～2回/年） ・和土小学校チャレンジスクールを支援する（水・全14回、土・全14回） ・和土住宅自治会との世代間交流事業の企画・運営（1回/年）
417	目白大学	柏崎地区まちづくり活動	平成28年4月	地域団体（NPO、ボランティア、自治会等）			柏崎地区社会福祉協議会および青少年育成さいたま市民会議柏崎地区会が主催するサロン活動、夏祭り、敬老会の運営をサポートする。
418	目白大学	岩槻区地域包括支援センター連絡会との連携	令和3年4月	地域団体（NPO、ボランティア、自治会等）			年度に3回開催される岩槻区地域包括支援センター連絡会に参加する。 岩槻区内の3つの地域包括支援センター（松鶴園、白鶴ホーム、社協岩槻）の通いの場や介護予防事業の方針や進捗状況について議論し、連携を図る。
419	目白大学	さいたま商工会議所＆目白大学 医療機器等開発マッチング（＝SMAP事業）	令和2年4月	地方自治体			2019年度に実施したマッチング相談会に代わり、さいたま商工会議所に目白大学医療機器等開発マッチングについてのリーフレット作成を依頼し、教授会での配付を行う。
420	目白大学	岩槻区内作業所との協力	令和6年2月	地域団体（NPO、ボランティア、自治会等）			目白大学の体育館を利用し防災訓練を実施し、知的障害者や精神障害者が災害時にとる行動について学ぶ。また、支援者が日常のような声掛けをしているかや利用者との接し方を学ぶため、学生は訓練の補助に入る。
421	目白大学	革細工つくり隊	令和4年6月	地域団体（NPO、ボランティア、自治会等）			とまりぎが運営する障害者グループホームの入居者、放課後デイサービスに通所されている児童を対象に、余暇活動としての革細工教室をボランティア学生とともに年6回程度開催
422	目白大学	目白大学訪問カレッジサポーター	令和6年4月	地域団体（NPO、ボランティア、自治会等）			特別支援学校卒業後に通所等の利用が難しい方に訪問し生涯学習を支援する。医療的ケア児者について学生に理解を広めるとともに、まずは教員とともに岩槻区内などに在の医療的ケア児者のご自宅を訪問し交流を開始し自分たちにできることを考える。
423	目白大学	オレンジカフェ「目白のわ」	令和6年4月	地域団体（NPO、ボランティア、自治会等）			①認知症の方もそうでない人も理解を深める場を作る。 ②目白大学と地域包括支援センターが連携し、地域課題の解決を図る。 ③学生が認知症について理解を深める
424	目白大学	目白大学アクティブサポートセンター	平成29年4月	地域団体（NPO、ボランティア、自治会等）			いわつき健康大学（フレイル予防講座）を社協岩槻や住民リーダーの方々とは企画して健康講座を年5回程度開催する。地域交流会アクティブ倶楽部メンバーの方々とは、活動計画を立てて、月1回、交流会・手芸・体力測定・桐葉祭参加・介護勉強会等を行う。
425	目白大学	ぽっとう～土にふれる、陶芸にふれる～	平成30年5月	地域団体（NPO、ボランティア、自治会等）			目白大学さいたま岩槻キャンパスにて、地域で暮らす人、陶芸に興味がある人を対象に陶芸講師を招き何回かに分けて作品作りを行う。地域の人が①気軽に本格的な陶芸体験ができる場の提供②気軽に本学や学生に関わる場の提供③障がいの有無を問わず誰でも集える場の提供をし、没頭体験を通して地域住民のメンタルヘルス及びQOLに貢献することを目的とする。

埼玉県における大学と地域等との連携事例（令和7年度）

No.	大学名	取組名	事業の始期	連携先1	連携先2	連携先3	事業内容
426	ものづくり大学	公開講座	平成13年度	地方自治体	その他		本学の理念等を広く社会に周知させるとともに、地域の文化の向上、活性化に資することを目的とする。 行田市民を対象とする「市民特別公開講座」と、県民全体を対象とする「特別公開講座」について、講師を招いて講演を行う。 市民特別公開講座：2025年11月24日（祝・月）「ふるさと・埼玉の魅力ー埼玉らしさとはー」（講師：井坂 康志氏、スペシャルゲスト：さいぼん氏）をものづくり大学で開催 特別公開講座：2026年2月26日（木）「埼玉県産木材イノベーションフォーラムー建築デザインとサプライチェーンが拓く地域産業の新戦略ー」（講師：若杉 浩一氏、古川 大輔氏、小池 啓友氏、星野 敏之氏、戸田 都生男氏）を渋沢MIXで開催
427	ものづくり大学	授業製作物の寄贈、貸出	平成13年度	地方自治体	その他		授業製作物である東屋やベンチ、遊具などを、公共施設を中心に寄贈している。一部は貸出という形で設置している。
428	ものづくり大学	県内各種団体による大学見学	平成13年度	小・中学校			自治体・行政による視察や、学校等の社会科見学のための大学見学の受け入れ ・鴻巣市下忍小学校（2025年10月7日）
429	ものづくり大学	（高大連携事業）大学見学	平成13年度	高等学校			高校生の大学見学の受入れを実施。 7月 埼玉県私立武蔵野星城高校（21名） 10月 埼玉県立吹上秋桜高等学校（19名） 11月 埼玉県立岩槻商業高等学校（33名）
430	ものづくり大学	インターンシップ	平成14年度	企業			ものづくり大学のインターンシップは、ものづくり教育の基礎となるカリキュラムの中で、将来企業で活躍するための社会人力を身に付けるキャリア教育として位置づけられている。実務現場での研修を通して学習の意欲を高め、仕事をする意味や現場での考え方、コミュニケーションの必要性など社会人としての素養を高めることを目的としている。2年次の第2クォータに必修科目として配当しており、実働40日間の長期インターンシップは本学の特色の一つとなっている。 2025年度は、179人の学生が就業体験の機会をいただき、100名が県内企業においてインターンシップを行った。
431	ものづくり大学	行田市民大学	平成21年度	地方自治体	その他		行田市民大学への学内施設の貸出および講師派遣 5月15日（木）：まちづくりー2～地域を知ってアイデアを出そう 5月22日（木）：「埼玉学」のすめ 6月10日（火）：郷土の歴史「忍領に残る歴史遺産」 11月20日（木）：クルマと社会の過去と未来を覗く 12月4日（木）：日本建築の魅力 12月5日（木）：日本の建築の魅力 ロボットの未来 2月12日（木）：元気の出る街づくりー1
432	ものづくり大学	子ども大学ぎょうだ	平成22年度	地方自治体	地域団体（NPO、ボランティア、自治会等）		大学や市町村、企業・NPOが連携して、地域の子ども（小学校4～6年生）の知的好奇心を満足させる学びの機会を提供するものである。小学校で教えないような課題を取り上げ、一部講義を本学教員が担当している。全日、本学職員が参加している。 7月5日（土）入学式、「人間関係づくりプログラム」 7月12日（土）「AIと話してみよう」 8月2日（土）「行田は水の始発駅」 8月30日（土）「大工さんの道具を使ってみよう」 9月6日（土）「おれのふしぎ大発見」、卒業式
433	ものづくり大学	鴻巣おもちゃの病院との連携	平成23年度	地域団体（NPO、ボランティア、自治会等）			鴻巣市社会福祉協議会主催の「鴻巣おもちゃの病院」が、本学の学園祭においても開院している。
434	ものづくり大学	埼玉国際学園との連携	平成26年度	その他			熊谷にある日本語学校である埼玉国際学園との連携協定に基づき、見学の受入れなどを行っている。
435	ものづくり大学	中学生の職場体験	平成27年度	小・中学校			鴻巣市の中学生が「鴻巣市中学生社会体験チャレンジ事業」として本学に学生食堂で職場体験を実施
436	ものづくり大学	埼玉純真短期大学、平成国際大学及びものづくり大学の連携協力	平成30年度	大学・短期大学			3者における教育研究と学術交流及び地域連携活動における協力の促進を図ることを目的とし協定を締結した。 2026年2月10日（月）三大学合同研究発表会および高大連携交流会（場所：平成国際大学）
437	ものづくり大学	職場内での短時間保育	平成30年度	地域団体（NPO、ボランティア、自治会等）			NPO法人子育てネット行田との連携協定に基づき、職員等の子育てサポートとして職場内での短時間保育の環境を整えている。
438	ものづくり大学	3市（行田市、加須市及び羽生市）1商工会議所（行田）、3商工会（加須市商工会、羽生市商工会及び南河原商工会）3大学（埼玉純真短期大学、平成国際大学及びものづくり大学）の連携協力	令和2年度	地方自治体	その他	大学・短期大学	3市の圏域特性及び各当事者の特色や資源を活かし、高等教育等の教育及び地域連携活動に際しての産学官の協力を促進することを目的とし、協定を締結した。 7月8日（月）2025年度第1回彩北未来プロジェクト会議 8月6日（火）子ども大学はにゅうを本学で実施 10月28日（土）、29日（日）学園祭に彩北未来プロジェクトのパネル展示 12月に本学で実施した企業研究交流会において、行田商工会議所を通じて会員企業12社にご参加いただいた。 1月15日（木）彩北未来プロジェクト大学見学会 3月5日（木）2025年度第2回彩北未来プロジェクト会議
439	ものづくり大学	長瀬町の観光に関する調査	平成30年度	地方自治体			埼玉県の助成を受け、長瀬町産業観光課と共同で取り組んでいる。
440	ものづくり大学	皆野町における地域コミュニティ醸成を目的とした基礎的調査	令和6年度	地方自治体			皆野町の地域コミュニティ醸成を目的に、小中学生の地域愛着および住民意識に関する基礎的調査を実施した。 令和7年度は、森林共生意識と林業復興に関する調査を実施した。
441	ものづくり大学	皆野町公民館講座の実施	令和6年度	地方自治体			8月に皆野町の公民館にて、「親子でアートフレーム作り」のワークショップを開催した。3月には、ものづくり大学にて、「アイスの棒で橋づくり」のワークショップを開催した。
442	ものづくり大学	草加市との木橋リノベーション事業の実施	令和6年度	地方自治体			草加市と木橋リノベーション事業に関する基本協定を締結し、草加市が管理する木橋4橋のリノベーションを行う。令和7年度は、「ふれあい橋」1橋のリノベーションを実施した。
443	ものづくり大学	（高大連携事業）高校生のインターンシップの受入れ		高等学校			県内高等学校から高校生のインターンシップ受入れを行っている。令和7年度は実績なし。

埼玉県における大学と地域等との連携事例（令和7年度）

No.	大学名	取組名	事業の始期	連携先1	連携先2	連携先3	事業内容
444	ものづくり大学	(高大連携事業)ものづくり大学体験授業、出張授業		高等学校			高校と大学を結ぶ高大連携を目的として、本学の教員が高等学校を伺い、高校生を対象とした出張授業ならびに高校生が本学において授業を体験する体験授業実施している。 ものづくり大学の授業の一端に触れることで、大学で勉強する内容を知るとともに、ものづくりの楽しさや素晴らしさを感じてもらうとともに、ものづくりの「技」と「知恵」、そして「心」をあわせもつ有為の人材を育成して、ものづくり産業の発展を目指すという本学の設立の趣旨からも、出張授業ならび体験授業がその一助になることを念願している。 【出張授業】 埼玉県立大宮工業高等学校(3年生):1月19日、20日 武蔵野星城高等学校(13名):7月4日 埼玉県立杉戸農業高等学校(15名):7月11日 埼玉県立蓮田松韻高等学校(5名):9月18日 埼玉県立桶川高等学校(13名):9月25日 武蔵越生高等学校(26名)9月29日 埼玉県立久喜工業高等学校(23名)12月3日 埼玉県立春日部工業高等学校(20名):12月19日 埼玉県立朝霞高等学校(18名):12月23日 本庄第一高等学校:2月4日 山村学園高等学校:3月16日 【交流授業】 埼玉県立行田特別支援学校(中等部2年生):2月5日 【体験授業】 埼玉県立進修館高等学校(31名):11月1日
445	ものづくり大学	(高大連携事業)埼玉県教育委員会事業および県内高校等で教員が講演	令和5年度	高等学校			高校等の研修会で教員が講演を行った。 高等学校管理職マネジメント塾(埼玉県公立高等学校管理職:校長・副校長・教頭・事務長)希望者:10月28日、11月25日、12月26日 埼玉県立小川高等学校生徒講演会(全校生徒約560名):12月12日 埼玉県立北本高等学校生徒講演会(全校生徒約330名):12月17日 埼玉県立大宮光陵高等学校講演会(全校生徒約1,000名):12月22日 埼玉県立上尾鷹の台高等学校特別講座(1、2年生約370名):3月16日
446	ものづくり大学	ものづくり大学技能競技大会	平成24年度	その他			ものづくり大学、埼玉県技能士会連合会、埼玉土建、建設埼玉が主催し、高校生とものづくり大学生を対象に募集を行う。建築大工職種と家具職種で、それぞれ課題が示され、実技競技を行う。 日時:10月26日(碧蓮祭と同時開催) 参加人数:13名
447	ものづくり大学	行田まちなか再生エリアプラットフォーム	令和6年度	地方自治体			行田まちなか再生エリアプラットフォームにおける未来ビジョン等の新規策定のための支援
448	ものづくり大学	彩の国女性研究者・技術者ネットワーク	令和6年度	地域団体(NPO、ボランティア、自治会等)			埼玉県の女性研究者・技術者が相互に交流し、女性研究者・技術者の活躍を推進するために、埼玉大学が実施し、県内の企業、行政機関(研究機関)、大学等が連携・提携機関として加入。 ものづくり大学は、令和6年11月加入。
449	ものづくり大学	OKEGAWA hon+ 小学生ワークショップ	令和7年度	企業	地方自治体		桶川市のOKEGAWA hon+にて小学生対象のワークショップを実施した。 日時:6月21日 テーマ:強いカタチを見つけよう
450	ものづくり大学	いきいき埼玉未来大学への協力	令和7年度	地域団体(NPO、ボランティア、自治会等)			いきいき埼玉未来大学に講師を派遣した。 日時:6月26日、7月4日、23日、29日、30日 テーマ:ふるさと 埼玉の魅力
451	ものづくり大学	大宮図書館講座への協力	令和7年度	地方自治体			大宮図書館が開催する小学生対象の口座に講師を派遣した。 日時:3月7日 テーマ:橋のひみつを探れ〜つよい橋ってどうなってるの?〜
452	ものづくり大学	鴻巣市吹上図書館主催の講演会に協力	令和7年度	地方自治体			吹上生涯学習センターホールにて教員が講演を行った。 日時:12月6日 テーマ:この地に眠る物語ー「埼玉学」から考える未来ー
453	ものづくり大学	こうのとりSDGsフェスティバルへの参加	令和7年度	地方自治体			鴻巣市が主催する「こうのとりSDGsフェスティバル」にて研究内容の展示およびワークショップを行った。 日時:3月20日 テーマ:再生プラスチックを用いたものづくり体験
454	ものづくり大学	皆野町駅前拠点整備プロジェクト(皆野町 共同研究)	令和7年度	地方自治体			皆野駅前にある移住相談センターの機能を拡充し、若者が自然と集まり交流できる場所にするための支援を行う。
455	ものづくり大学	令和7年度中山間地域ふるさと事業調査研究事業(受託研究 ふるさと支援隊(埼玉県))	令和7年度	地方自治体			皆野町における森林共生と利活用を目的とした地域コミュニティの醸成と地域間交流を持続的に可能にするプラットフォームの構築に向けた検討を行う
456	ものづくり大学	三田ヶ谷農林公園木製品の調査・改修(受託研究 羽生市)	令和7年度	地方自治体			三田ヶ谷農林公園の木製品(木橋A、B、C、木製階段)について、劣化状況、原因を把握し長期的に使用するために必要な検討、改修を行う。
457	ものづくり大学	未来ビジョン事業のための、市役所前通りオープンカフェ化や中央公園有効活用イベントの実証実験(受託研究 熊谷まちなか再生エリアプラットフォーム)	令和7年度	地域団体(NPO、ボランティア、自治会等)			熊谷まちなか再生未来ビジョンにて策定した計画に沿った事業を実施し、まちなかの賑わいを創出する。 内容:市役所前通りオープンカフェ化や中央公園有効活用イベント実証実験イベント実証実験
458	ものづくり大学	日本遺産構成資産 イサミコーポレーションスクール工場土蔵建物現状調査(受託研究 行田市)	令和7年度	地方自治体			日本遺産構成資産(構成文化財)であるイサミコーポレーションスクール土蔵の文化財としての保存・活用に向けた現状建物調査
459	ものづくり大学	令和7年度木橋リノベーション事業(受託研究 草加市)	令和7年度	地方自治体			木橋の長寿命化を目的とし、次に掲げる事項を実施する。 (1)木橋の長寿命化に向けた修繕方法の検討及び提案を行うこと。 (2)木橋の長寿命化修繕を行うこと。
460	ものづくり大学	長瀨町こども広報事業支援業務委託(受託研究 長瀨町)	令和7年度	地方自治体			本業務は、長瀨町における郷土愛醸成及び関係人口の創出を目的としたこども広報を発行するにあたり、豊富な知識と高い専門性を有する貴学にこの策定業務を委託するものである。

埼玉県における大学と地域等との連携事例（令和7年度）

No.	大学名	取組名	事業の始期	連携先1	連携先2	連携先3	事業内容
461	ものづくり大学	唐鈴神社社殿の建物調査研究・屋根等応急部分補修(受託研究 本市市自治会連合会)※研究期間2025/5/1～2027/3/31	令和7年度	地域団体(NPO、ボランティア、自治会等)			唐鈴神社社殿の建物調査研究・屋根等応急部分補修業務
462	ものづくり大学	「埼玉純真短期大学、平成国際大学及びものづくり大学の連携協力協定書」に基づく単位互換	令和7年度	大学・短期大学			意欲ある学生に多様な学習機会を提供することを目的とした単位互換制度。
463	立教大学	水泳教室	昭和47年度	その他			毎年8月の夏休み期間を利用して、近隣の3～12歳の子供たちを対象に、体育会水泳部が水泳教室を行っています。期間中延べ1,000名近くが参加する人気の企画です。平成27年度より、屋内プールになり、天候に影響を受けません。
464	立教大学	新座市内大学講座	平成9年度	地方自治体			新座市・新座市教育委員会から委託を受け、市民向けに、「公開講座」「スポーツ教室(野球・サッカー・テニス・乗馬)」「クリスマスコンサート」などを開催しています。
465	立教大学	市内3大学学生と市長との懇談会	平成9年度	地方自治体			柔軟な思考で斬新なアイデアの提案が期待できることから、大学生が市政に対する提言等を新座市長にするというものです。市内にある3つの大学に通学する学生を対象に、懇談会形式で実施しています。
466	立教大学	インターンシップ	平成11年度	地方自治体			官公庁、一般企業の業務に触れることで、仕事や社会を知り、将来の展望を考える機会として新座市でのインターンシップを実施しています。実施期間は夏季休業中を中心に、5日間以上の実習について単位を付与しています。
467	立教大学	にいざプラスカレッジ(旧 新座市民総合大学)	平成12年度	地方自治体			新座市・新座市教育委員会主催で市内3大学(跡見学園女子大学、立教大学、十文字学園女子大学)が各1コース(3大学合計3コース)を開講し、市内在住もしくは在勤・在学の18歳以上を対象に講義を実施しています。
468	立教大学	武蔵野銀行×立教大学産学連携プロジェクト	平成19年度	企業			埼玉県の地域活性化に貢献することを目的に武蔵野銀行と産学連携協定を締結し様々な活動を行っています。事例として、地域活性化を目的として、まち歩きMAPを本学観光学部生が作成しています。『ぶらって幸手』から始まり、羽生、行田、加須、氷川参道、新座、小鹿野、秩父、川越、草加、朝霞などで制作を続けています。
469	立教大学	中山間「ふるさと支援隊」	平成22年度	地方自治体			埼玉県内の中山間地域の多くの集落では、高齢化や過疎化の進行により、農林業や地域活動の維持が困難な状況となっています。埼玉県では、平成22年度から大学生による「ふるさと支援隊」を組織し、若い感性や専門知識を活かして中山間地域に活力をもたらす支援をしています。
470	立教大学	子ども大学ふじみ	平成24年度	地方自治体			地域の大学や市民活動団体等との連携のもとに、その教育資源を活用しながら、富士見市の子ども30名を対象に、学ぶ力や生きる力をはぐくみ、向上させることを目的とし、様々な授業を展開しています。
471	立教大学	子どもスポーツ大学ふじみ	平成24年度	地方自治体			地域の大学や市民活動団体等との連携のもとに、色々なスポーツ分野で活躍している選手と一緒に学校では体験しないスポーツを経験することを目的とし、「乗馬教室」などを開催しています。
472	立教大学	飯能信金との経営塾	平成24年度	企業			本学ビジネスデザイン研究科と飯能信用金庫が連携して実施する飯能信用金庫の地元企業若手経営者及び後継者を対象とした全18回程度の経営塾を開講しています。飯能信用金庫がプログラム全体の運営を行い、ビジネスデザイン研究科は、各講座の企画・内容を提案・実施し、講師も派遣するなどプログラム運営の支援を行っています。
473	立教大学	彩の国アスポート学習支援事業との科目展開	平成26年度	地方自治体			「RSL(立教サービスマーケティング)」科目において、アスポート学習支援事業(運営:一般社団法人彩の国子ども・若者支援ネットワーク)に学生を派遣しています。
474	立教大学	正課授業 立教サービスマーケティング(RSL)ーローカル(地域共生)	令和4年度	地域団体(NPO、ボランティア、自治会等)			熊谷市をフィールドとして、「農福連携」に取り組む企業での農作業や地域に根ざした「農からはじまる暮らし」の体験(ハンディキャップをもつ方々との農作業やワークショップ、農産物の生産から商品として消費者へ提供される過程についての体験的な学び)をとおして、地域における社会的包摂のあり方やローカルな視点から持続可能な社会をつくるために必要な視点や方法を学んでいる。
475	立教大学	埼玉県知事と新座キャンパス学部学生による意見交換	令和5年度	地方自治体			埼玉県と立教大学との包括連携協定に基づく連携推進の一環として、若者の感性を県政に生かしつつ、学生に生きた学習の場を提供することを目的として実施しています。
476	立教大学	埼玉県議会議員とコミュニティ福祉学部の学生による意見交換会	令和6年度	地方自治体			埼玉県と立教大学との包括連携協定に基づく連携推進の一環として、「若者と政治の距離をどう縮めるか、若者の政治離れ」をテーマに初開催となった埼玉県議会議員との意見交換会に本学のゼミが参加、活発に討論し若者視点からの提案をさせていただいた。
477	早稲田大学	所沢市との「協働によるまちづくり」	平成15年度	地方自治体			●市の行政活動に大学が保有する知的財産をまちづくりの資源として活かし、豊かな地域社会を創造する。 ●福祉、環境、教育、文化、スポーツ、芸術などの分野において相互に協力し、地域社会の発展と人材育成に寄与する。
478	早稲田大学	所沢市西地区総合型地域スポーツクラブの支援事業	平成16年度	地域団体(NPO、ボランティア、自治会等)			●種目別クラブ活動 ●各種スポーツ教室 ●健康体力相談・測定 ●各種研修会・講演会 ●調査研究 ●会員相互の親睦を深めるための活動 ●その他、クラブの目的達成のために必要な事業
479	早稲田大学	さやま市民大学 早稲田大学連携 健やかいきがい講座	平成18年度	地方自治体			●スポーツ科学部教員がコーディネートした講座実施 ●授業期間中の毎土曜2限 ●定員20名
480	早稲田大学	所沢市教育委員会並びに早稲田大学人間科学学術院による教育連携	平成19年度	地方自治体			所沢市の市立小・中学校へ早稲田大学人間科学部の実習学生を派遣し、学校教育活動の円滑な実施に寄与し、教育現場における体験等を通じて、学生の教育専門職としての意識および教養を高め、学校教育の一層の向上を図る。 実習内容は次のとおり。 ●学習支援 ●その他、学校教育活動に関すること
481	早稲田大学	埼玉県皆野町と早稲田大学人間科学学術院との地域活性化プロジェクト	平成31年度	地方自治体			●海外招聘高校生、早稲田大学人間科学部学生・大学院生、皆野中学校生徒との英語交流事業 ●キャリア教育を目的とした皆野町立小学校・中学校、県立皆野高校と早稲田大学人間科学部学生・大学院生との交流事業 ●地域創成を目的としたインターンシップ事業
482	早稲田大学	オープンスクール	平成7年度	高等学校			●「脳の研究」について、高校生に体験してもらう。 (ブタの脳の解剖、神経の顕微鏡観察) ※現在は埼玉県内の高等学校と実施している。
483	早稲田大学	埼玉県皆野町、株式会社アイネス総合研究所と早稲田大学人間科学学術院との 健康データ分析による健康増進で中長期的にまちを発展させる事業に関する包括的協定	令和4年	地方自治体	企業		●健康データ分析事業に関する事項 ●皆野町民の健康寿命の延伸事業に関する事項 他

埼玉県における大学と地域等との連携事例（令和7年度）

No.	大学名	取組名	事業の始期	連携先1	連携先2	連携先3	事業内容
484	早稲田大学	埼玉医科大学総合医療センターとの実習生に関する契約書	令和5年	大学・短期大学			●臨床現場での実習および見学
485	早稲田大学	所沢市教育委員会と早稲田大学人間科学学術院との教育臨床連携に関する覚書	令和5年	地方自治体			●相談者への窓口紹介 ●大学院生への実習提供 ●教員の資質向上 ●心理相談室の活動提供
486	早稲田大学	獨協医科大学埼玉医療センターと早稲田大学人間科学学術院との実習生の受け入れに関する覚書	令和6年	大学・短期大学			●臨床現場での実習および見学
487	早稲田大学	「マチごとゼロカーボン市民会議」相互協力に関する覚書	令和5年	地域団体（NPO、ボランティア、自治会等）			●市民会議への協力 ●市民会議参加者を対象とした調査研究 ●市民会議参加者自らが行う活動への支援
488	早稲田大学	埼玉医科大学総合医療センターとの実習生に関する契約書	令和6年	大学・短期大学			●臨床現場での実習および見学
489	早稲田大学	埼玉県秩父郡長瀬町と早稲田大学人間科学学術院とのキャリア形成支援に係る取組みに関する覚書	令和6年	地方自治体			●保健・福祉・教育分野を中心とした政策提言を含む調査研究事業 ●町役場等でのインターンおよび地方創生を体験できるプログラムの開発 ●学校教育に係る研究活動
490	早稲田大学	所沢市教育委員会と早稲田大学人間科学学術院との研究連携に関する覚書の一部変更	令和6年	地方自治体			
491	早稲田大学	公益財団法人トトロのふるさと基金と早稲田大学人間科学学術院との包括連携に関する協定書	令和6年	企業			●市民運動、行政、民間企業、アカデミアによる連携 ●動植物の広域なモニタリング（自動カメラによる野生動物のモニタリング等）
492	早稲田大学	飯能信用金庫との包括協定	令和7年度	企業			●包括連携（地域コミュニティ・社会福祉・環境保全等）
493	早稲田大学	秩父市との包括協定	令和7年度	地方自治体			●包括連携（地域コミュニティ・社会福祉・環境保全等）
494	早稲田大学	所沢市青年会議所との包括協定	令和7年度	地域団体（NPO、ボランティア、自治会等）			●包括連携（教育・研究・街づくり等）
495	放送大学埼玉学習センター	放送大学・さいたま市宇宙劇場コラボレーション特別講演会	令和2年度	地方自治体			放送大学埼玉学習センターとさいたま市宇宙劇場とのコラボレーションによる講演会。さいたま市宇宙劇場プラネタリウムを会場として、宇宙や星座にまつわる内容の講演を行っている。令和7年度は、9月13日に「地下から探る宇宙の謎～ニュートリノと重力波～」(講師：梶田隆章東京大学卓越教授)というテーマで開催した。
496	秋草学園短期大学	インターンシップ	平成13年度	企業	地方自治体		自治体・企業等にインターンシップの受け入れを依頼、大半が5日間程度で実施しているが、1dayインターンシップを受け入れていただいている企業もある。修了後単位が付与される。令和7年度は、22の企業様に40名の学生を受け入れていただいた。
497	秋草学園短期大学	秋草学園短期大学 前期公開講座	平成19年度	地方自治体			6～9月、埼玉県、所沢市の各教育委員会及び所沢商工会議所の後援を受けて、音楽・健康・心理学・文学・自然・芸術・語学(中国語)の分野で15の講座を開設。
498	秋草学園短期大学	秋草学園短期大学 後期公開講座	平成19年度	地方自治体			10～3月、埼玉県、所沢市の各教育委員会及び所沢商工会議所の後援を受けて、音楽・健康・心理学・文学・自然・芸術・語学(中国語)の分野で14の講座を開設。
499	秋草学園短期大学	地域活動（ボランティア）	平成19年度	地域団体（NPO、ボランティア、自治会等）	地方自治体	その他	自治体、NPO法人、幼稚園・保育園等からの依頼を受け、学生を派遣する。地域保育学科はボランティアが必修科目とされ、修了者に単位(4単位)が付与される。所沢市民フェスティバルの会場係を担当。「サンタを探せ」のイベントに派遣。その他地域のイベントでもボランティア活動を行った。
500	秋草学園短期大学	埼玉県民の日高校生「学び」「夢」プラン	平成29年度	高等学校			埼玉県高等学校進路指導研究会主催の事業であり、高校生が普段の大学の授業を学生と共に受講することにより、将来の学校や学部選択の参考にし、将来の職業や生き方を考える機会を提供する。
501	秋草学園短期大学	「安心・安全な地域づくり」事業	令和4年2月25日	その他			埼玉県警所沢警察署と包括連携協定を結び、安全・安心な地域を作るための取り組み(オレオレ詐欺防止キャンペーンのためのポスター・チラシ作りと市民へのPR活動、西武鉄道・西武遊園地に於ける救難訓練の実施 等)を行っている。
502	秋草学園短期大学	駅ボランティア		地方自治体	企業		学生約40名が参加し、所沢市、西武鉄道の協力を得て車椅子での移動や、視聴覚の障がい者の疑似体験をし、障がいのある人々を理解するとともに、駅構内等での介助方法を学ぶ。
503	秋草学園短期大学	「茶娘」		地方自治体			所沢市農業振興課地元特産の「狭山茶」を池袋駅にてPR活動を補助。
504	秋草学園短期大学	「農業祭」		地方自治体			所沢市民フェスティバルにて所沢市農業振興課の「農業祭」における様々なイベントの補助。
505	秋草学園短期大学	「SORAレディ(学生記者)」		地方自治体			所沢商工会議所のSORAレディ(学生記者)を2名の学生が毎年委嘱を受けて、様々な機関・企業等に取材に赴き、本機関広報誌等に記事等を執筆した。
506	国際学院埼玉短期大学	幼児絵画展	昭和61年度	地方自治体	幼稚園・保育園		埼玉県内の幼稚園・保育園(所)・認定こども園に通っている3歳から5歳までの子供を対象に、幼児教育における表現活動への興味・関心を深め、県内幼児教育の振興に寄与することを目的に開催している。応募作品は、厳正な審査を経たうえで、一部を表彰形で表彰の上、本学のホームページ上で優秀作品等の紹介を行った。
507	国際学院埼玉短期大学	就職問題研究協議会	昭和63年度	地方自治体	大学・短期大学	その他	埼玉県内私立短期大学に在学する学生の就職支援の向上・充実を図ることを目的に毎年、春・秋の年2回、研究協議会を開催しており、令和7年度もオンラインで開催し、埼玉労働局職業安定部職業安定課、埼玉労働局雇用環境・均等部 指導課、埼玉県産業労働部雇用労働課、埼玉県雇用対策協議会に助言・指導者として出席いただき開催した。 第1回：令和7年6月17日 / 第2回：令和7年9月10日
508	国際学院埼玉短期大学	埼玉県高等学校進路指導研究会との連絡協議会	昭和63年度	高等学校	大学・短期大学		県内短期大学の教育内容の理解、及び県内高校生の自県内短期大学への進学率の向上等を図るため毎年研究協議会を開催している。令和7年度は「令和8年度入学者選抜の特色」「入学前教育」「高校生『学び』夢”プラン」について連絡協議・意見交換を行った。 期日：令和7年8月8日 場所：埼玉県立浦和商業高等学校
509	国際学院埼玉短期大学	さいたま市委託事業公開講座	平成5年度	地方自治体			さいたま市との共催で、さいたま市在住・在勤の方を対象に学びの機会を提供しており、令和7年度については次の3講座を開講した。 ・「大人も育つ！子育て講座」令和7年9月6日 ・「はじめての災害食講座～在宅避難生活乗り越えるために～」令和7年10月18日 ・「スペシャル講座 パレスホテル大宮のシェフと学ぶ、さいたま市産野菜の逸品」令和7年11月29日・12月6日
510	国際学院埼玉短期大学	味彩コンテスト	平成5年度	地方自治体	高等学校		一般家庭の食生活の改善や健康増進、高校生の食育推進等に役立てることを目的にバランスの良い健康に役立つ献立を公募し、書類審査、試食審査を行い優秀作品を選出・表彰している。
511	国際学院埼玉短期大学	農・商・学連携地産地消プロジェクト	平成24年度	地域団体（NPO、ボランティア、自治会等）	地方自治体		さいたま市及びさいたま市内農家の協力を得て、さいたま市特産の紅赤を本学学生が苗付、除草、収穫等を行い、農作業を通じて農業の役割や食物の大切さなどを理解する取り組みを行っている。収穫した紅赤を使用したスイーツを考案し、五峯祭(大学祭)やさいたま市農業祭において販売している。

埼玉県における大学と地域等との連携事例（令和7年度）

No.	大学名	取組名	事業の始期	連携先1	連携先2	連携先3	事業内容
512	国際学院埼玉短期大学	県民の日 高校生「学び」夢プラン	平成25年度	高等学校			埼玉県高等学校進路指導研究会と埼玉県私立短期大学協会等との連携により開催する県民の日高校生「学び」夢プランに参画し、本学通常授業に高校生・高校教員の参加を受け入れている。 令和7年度は幼児保育学科の授業に2名の申し込みがあった。
513	国際学院埼玉短期大学	大学コンソーシアムさいたま加盟大学の公開講座	平成27年度	大学・短期大学			市民等の高度で専門的かつ多様な学習要求に応えるため、共通のテーマを設定し、各大学が公開講座（リレー講座）に参加している。本学では令和7年度は3つの講座を実施した。 ・「全国調理師養成施設協会共催 食育教室2025 おはして楽しむ西洋料理」令和7年8月30日 ・「親子で参加 ころ・からだ☆はずむダンスエクササイズ」令和7年8月2日 ・「そば打ち入門」令和8年2月28日
514	国際学院埼玉短期大学	国際学院埼玉短期大学認定「食育士養成講座」	平成28年度	企業			本学が地域の食育を推進する人材を育成する事業において、埼玉県内の農場や牧場と連携し、作業体験を通じて体験的に食の循環等を学ぶ機会として取り組んだ。
515	国際学院埼玉短期大学	大学の開放授業講座	平成28年度	地方自治体			埼玉県が実施する「大学の開放授業講座（リカレント教育）」として、県内在住の55歳以上の方々を対象に、本学通常授業への受け入れを行っている。令和7年度は2科目開講した。
516	国際学院埼玉短期大学	園外保育連携	平成29年度	幼稚園・保育園			保育士養成教育並びに保育の向上・充実に寄与することを目的に包括協定締結先の保育園と連携し、園から徒歩圏内にある本学の構内（人工芝の多目的広場）を目的地として園児を受け入れ、園外保育に協力した。（平均：月に3.5回程度 実施）
517	国際学院埼玉短期大学	高大連携授業	令和元年度	高等学校			高校生が「本学教員による出張授業」を体験することにより、専門職業への学びの意欲を高め、興味・関心を持つ分野への理解を深めるとともに、主体的な進路選択を行うことができるようにするための機会の拡充を図ることを目的に高大連携授業を行っている。 埼玉県立鷺宮高等学校：5月～3月に3回 国際学院中学校高等学校：5月～2月に10回
518	国際学院埼玉短期大学	IRの普及・活用に向けた合同研修会	令和4年度	大学・短期大学			県内短期大学が行っているIR（学修時間や教育の成果等に関する情報収集を行い、自らの客観的な状況を分析する）の取組に触れ、相互に啓発しあう機会を設けるため、合同の研修会を行った。令和7年度は参加校6校でオンライン開催で行われた。 期日：令和7年9月17日
519	国際学院埼玉短期大学	さいたま市産「紅赤」を使用した、産学官連携・地産地消推進の取組み	令和5年度	地方自治体	企業		さいたま市内の農家が栽培するさいたま市発祥のサツマイモ「紅赤」と「お米」を使用したレシピを、パレスホテル大宮のシェフと本学学生が共同開発し、パレスホテル大宮において販売した。令和6年度より、「紅赤パウンドケーキ」がさいたま市ふるさと納税返礼品となった。
520	国際学院埼玉短期大学	図書館と県民のつどい埼玉	令和6年度	地方自治体	大学・短期大学	高等学校	埼玉県内の公共・高校・大学図書館等が、本や図書館に関わる催しを実施する、埼玉県内最大級の図書館イベント。令和7年度は延べ1,121人の来場者があった。本学の図書委員学生（委員長1名、副委員長1名）が、SALA（埼玉県大学・短期大学図書館協議会）による蔵書展示に参加し、自分たちがすすめる本を介して来場者と交流した。期日：令和7年12月14日
521	埼玉医科大学短期大学	埼玉県民の日高校生学び夢プラン	平成26年度	高等学校	その他		・埼玉県高等学校進路研究会および埼玉県私立短期大学協会が実施している「埼玉県民の日高校生『学び』『夢』プラン」について、令和7年11月14日（金）に 2コマ講座を開講する旨の案内を行った。 ・令和7年度は準備を進めていたものの、希望参加者がいなかったため、 講座を開講することができなかった。
522	埼玉医科大学短期大学	中高大連携事業	平成27年度	高等学校	小・中学校	地方自治体	・協定校3校の高校生に対し、看護に関する学習の機会を設け、大学および看護への関心を高めることを目的として高大連携事業を実施している。また、近隣中学校に対しても、中大連携事業として将来の進路選択の参考となる学習機会を提供している。 ・令和7年度（2025年）は、高大連携事業を7月26日（土）に実施した。内容は、「看護への道」（短大紹介）、講義（感染対策と看護）、演習（滅菌手袋の着脱）、学内見学であり、協定校卒業の在学生の協力を得て実施した。また、対象高等学校卒業生である在学生との懇親会、高等学校教員と本学教職員との情報交換会も行った。 ・令和7年度の中大連携事業は、8月6日（水）に実施した。午前の部は日高地区の中学校5校から17名、午後の部は越生町・毛呂山町地区の中学校2校から6名が参加した。内容は、「看護への道」の紹介、体験学習（若年期の高血圧の学習、聴診器を用いた身体測定、赤ちゃんの抱き方）、先輩からのメッセージ、参加証授与、実習室見学であり、関連中学校卒業の在学生の協力を得て実施した。参加中学生の生徒を各集合場所までバスで送迎した。
523	埼玉医科大学短期大学	埼玉医科大学短期大学公開講座	平成29年度	地方自治体	大学・短期大学	その他	・地域住民や社会の学習を支える知の拠点として、一般の方の関心に応じたテーマを発信し、地域での学びと活動を支援している。公開講座は、全教員から提案されたテーマの中から、医学的専門知識を要さず、看護職の専門性を活かして安全に実施できる内容を選定した。 ・令和7年度は令和7年6月21日（土）に「足ツボ健康教室～冷え・むくみ・疲れ・・・覚えたツボで毎日スッキリ☆～」（参加者21名）、令和8年2月7日（土）に「骨盤底筋を一緒に鍛えよう～女性のより良い日常生活を目指して～」(参加者16名)の2回実施した。
524	埼玉純真短期大学	埼玉純真短期大学市民公開講座	平成21年度	地方自治体	その他		R7年9月6日（土）に計4講座開講した。
525	埼玉純真短期大学	羽生市学びあい夢プロジェクト協議会	平成22年度	地方自治体	その他		羽生市内の教育機関（児童福祉施設、保育所、幼稚園、小学校、中学校、高等学校、特別支援学校、短期大学等）と教育委員会が連携して、教育交流を推進し、幼児・児童・生徒・学生及び教職員の成長を促進する活動を行っている。
526	埼玉純真短期大学	特別支援教育研究セミナー	平成23年度	地方自治体	地域団体（NPO、ボランティア、自治会等）	その他	11月8日（土）本学にて開催。障がい者教育に携わっている100名が参加出席。成人ASD研究会一般社団法人高槻ルーロー代表理事よつばもこ氏の講演、3分科会は本学教員の布施由起、浅野瞳、外部講師の本由紀子氏がそれぞれ担当し開催した。
527	埼玉純真短期大学	子ども大学はにゅう	平成23年度	地方自治体	地域団体（NPO、ボランティア、自治会等）	その他	第15期子ども大学はにゅうを8月7日（木）および8月8日（金）に開校した。 参加者：羽生市内小学生4年生～6年生 27名 実行委員会を本学にて開催、子ども大学学長・実行委員長・実行委員・事務を担当した。
528	埼玉純真短期大学	子ども支援センター	平成25年度	その他			一般市民からの「子どもの発育・発達」についての相談を受け入れている。相談員は本学教員4名が担当
529	埼玉純真短期大学	高校生学び夢プラン	平成25年度	高等学校	その他		11月に開催
530	埼玉純真短期大学	羽生市と埼玉純真短期大学との地域連携協力に関する協定	平成26年度	地方自治体			羽生市との間に、教育・文化・生涯学習・学術研究・人材育成などの分野において、地域連携協力の協定を結んでいる。特別支援巡回回数：6回（市内小中学校）など
531	埼玉純真短期大学	埼玉純真短期大学と埼玉県立誠和福祉高等学校との高大連携に関する協定	平成26年度	高等学校			高大連携協定に基づき、本学教員による出前授業ならびに来学授業を行なった。
532	埼玉純真短期大学	埼玉純真短期大学と埼玉県立進修館高等学校との高大連携に関する協定	平成26年度	高等学校			高大連携協定に基づき、本学教員による出前授業ならびに来学授業を行なった。
533	埼玉純真短期大学	埼玉純真短期大学と埼玉県立羽生第一高等学校との高大連携に関する協定	平成27年度	高等学校			高大連携協定に基づき、1年生全員が来学。本学教員が授業を行なった。
534	埼玉純真短期大学	高大連携授業	平成27年度	高等学校			高大連携協定により、埼玉県立誠和福祉高等学校、埼玉県立進修館高等学校、埼玉県立羽生第一高等学校の生徒に、本学教員の講義を行った。実施回数：誠和福祉高等学校4回 進修館高等学校 5回 羽生第一高等学校 2回
535	埼玉純真短期大学	小中学生のためのオープンカレッジ	平成29年度	小・中学校			11月3日に開催。羽生加須行田の小学生中学生合わせて6名が参加

埼玉県における大学と地域等との連携事例（令和7年度）

No.	大学名	取組名	事業の始期	連携先1	連携先2	連携先3	事業内容
536	埼玉純真短期大学	行田市教育委員会と埼玉純真短期大学との地域連携協力に関する協定	平成29年度	地方自治体			行田市教育委員会との間に、教育・文化・生涯学習・学術研究・人材育成などの分野において、地域連携協力の協定を結んでいる。
537	埼玉純真短期大学	埼玉純真短期大学、平成国際大学及びものづくり大学の連携協力協定	平成30年度	大学・短期大学			三大学学長会議等の開催、単位互換、合同写真展の開催、学園祭にて相互PR、合同研究発表会の開催、子ども大学はにゅう(ものづくり)大学で1講義開催)等
538	埼玉純真短期大学	3市(行田市、加須市及び羽生市)1商工会議所(行田)、3商工会(加須市商工会、羽生市商工会及び南河原商工会)3大学(埼玉純真短期大学、平成国際大学及びものづくり大学)の連携協力協定	令和2年度	地方自治体	大学・短期大学	その他	この団体の名称は彩北未来プロジェクトである。定例会議を行っている。 ・3大学学園祭時に10団体のPRを実施 ・3大学合同研究発表会を平成国際大学にて2月10日(火)に開催。各団体から見学参加があり。 ・高大連携交流会開催(多数の高校教員に3大学のPR、入試説明等) ・学生間交流会開催 ・大学見学会の実施
539	埼玉純真短期大学	教員による出前講座		地方自治体	小・中学校	その他	地元羽生市や周辺市町村の小・中・高等学校や地域団体からの要請で、教職員による出前講座を実施している。 実施内容 ① 小中学校、高等学校等の教職員研修の講師派遣 ② 羽生市、行田市、加須市教育研修センターへの講師派遣 ③ 児童養護施設職員研修への講師派遣など
540	埼玉純真短期大学	学生による地域ボランティア活動		地域団体(NPO、ボランティア、自治会等)	地方自治体	その他	地元自治体、教育委員会のほか、各種団体からの派遣要請を受け、地域活動をサポートする学生のボランティア活動を推進している。 実施内容 ① 県立羽生水族館「スマイル幼稚園」 ② 世界キャラクターさみっとin羽生 ③ イオン未来屋書店 ④ 岩瀬小学校放課後こども教室 ⑤ 加須市の龍興寺ボランティア ⑥五霞町のボランティアなど
541	埼玉女子短期大学	日高市 ひ・まわり探検隊	平成25年度	地方自治体			市内の小学生を対象に、郷土愛の醸成と地域の大人との交流の機会を作ることを目的とし、「ひ」だか市内を隅々まで「まわり」探検する。 学生がスタッフとして参加。
542	埼玉女子短期大学	放課後子ども教室	平成25年度	地方自治体			小学生および義務教育学校前期課程の児童を対象。受付の補助や活動を見守り。
543	埼玉女子短期大学	子ども大学ひだか	平成29年度	地方自治体			地域の大学や企業・団体が連携して、子どもの知的好奇心を刺激する学びの機会を提供する。
544	埼玉女子短期大学	日高市 日高塾	平成30年度	地方自治体			市内6つの小学校区で月1回の土曜日に4年生から6年生までを対象として、基礎学力の向上、学習習慣の定着化、地域の方との交流を図ることを目的としている。 学生がスタッフとして参加。
545	埼玉東萌短期大学	公開講座「救急講習」	平成24年度	地方自治体			消防署の協力を得て、隔年で「普通救命講習Ⅲ」を開講している。内容は、応急手当の重要性(講義)、主に新生児から幼児に対する基本的心肺蘇生法、AEDの使用法、異物除去方法および止血法等となる。 (令和2～5年度はコロナにより中止した)
546	埼玉東萌短期大学	ボランティア	令和7年度	小・中学校			越谷市立大間野小学校での特別養護教室のボランティア
547	埼玉東萌短期大学	見えないチカラと夢のリアル体験教室・プレミア	平成30年度	地方自治体			平成30年度より、埼玉県民生部青少年課の主催事業である「夢のかけはし教室」(現事業名「見えないチカラと夢のリアル体験教室・プレミア」)を開講している。内容は、小学生(4年～6年生)を対象とした、保育士体験プログラム(手遊び歌や紙芝居、参加型劇等の体験、実践)となる。毎回、近隣の保育園に向向き、参加者が保育士(先生)役となり、園児に手遊び等の実演を行うことを実践している。
548	埼玉東萌短期大学	高大連携事業	令和2年度	高等学校			大学教育と高等学校教育の接続の円滑な進行、及び双方の発展に資することを目的として、本学の教員が高等学校を伺い、高校生を対象とした出張授業を実施している。 令和3年度からは武蔵野星城高等学校の生徒を対象とした「保育講座」「進学クラス保育の授業」及び連携校3校の生徒を対象とした「高大連携校3校による夏休み保育講座」を実施している。 教育連携協定締結校 杉戸農業高校、八潮南高校、武蔵野星城高校
549	埼玉東萌短期大学	こしがやファミリー・サポート・センターステップアップ研修	令和6年度	地域団体(NPO、ボランティア、自治会等)			こしがやファミリー・サポート・センターステップアップ研修「児童の発達に合わせた接し方のヒント」の講師を担当。
550	埼玉東萌短期大学	オリジナルパンの商品化	令和6年度	企業			産学連携事業として、学生が考案したパンを越谷市内にある「ねこの手」で商品化し、学園祭での販売や、公開講座での配付が行われた。
551	埼玉東萌短期大学	小学校との連携事業	令和6年度	小・中学校			越谷市立南越谷小学校の1年生を対象に、SDGsをテーマにした劇の発表や「虹」の手話うたの体験を行った。
552	埼玉東萌短期大学	中学校との連携事業	令和7年度	小・中学校			越谷市立南中学校 職業体験、
553	埼玉東萌短期大学	子育て支援	令和6年度	地域団体(NPO、ボランティア、自治会等)			保育者支援・地域貢献センターの施設を開放し、地域の保育士による子育てサロンが実施されている。
554	埼玉東萌短期大学	「私のイチ推し～絵本の世界～」記事連載	令和6年度	企業			東武よみうり新聞にて「私のイチ推し～絵本の世界～」の連載を毎月行った。
555	埼玉東萌短期大学	ラジオ輪読会	令和6年度	企業			「こしがやエフエム」で「ハテルマシキナ」の輪読会に学生・教員が参加
556	埼玉東萌短期大学	市長と市民による懇談会	令和7年度	地方自治体			越谷市長が来学され、学生たちと越谷市の取り組みや今後に向けての意見などを聴いていただき、市長から越谷市の取り組みの進捗状況をお聞きた。
557	埼玉東萌短期大学	第27回南越谷地区フェスティバル	令和6年度	地域団体(NPO、ボランティア、自治会等)			第26回南越谷地区フェスティバルにてパネルシアターを演じ、地域の方々と交流を深めた。また、子どもから高齢者の方まで一緒に民謡を踊るプログラムに参加し、多世代交流を行った。
558	埼玉東萌短期大学	第50回埼玉県文化振興の集い	令和6年度	地域団体(NPO、ボランティア、自治会等)			第49回埼玉県文化振興の集いにて、午前はさいたま紙芝居サークルの方々と一緒に練習に参加し、午後は地域の皆さまの前で紙芝居の実演を行った。
559	埼玉東萌短期大学	選挙について学ぶ	令和6年度	地方自治体			越谷市選挙管理委員会と、若者の投票行動を促す目的で、コラボ授業を実施した。越谷市の現状や保育政策、課題などについても学んだ。
560	埼玉東萌短期大学	保育所との意見交換会	令和6年度	幼稚園・保育園			保育所を運営する社会福祉法人と、学生の実習や就職状況について意見交換会を実施している。

埼玉県における大学と地域等との連携事例（令和7年度）

No.	大学名	取組名	事業の始期	連携先1	連携先2	連携先3	事業内容
561	埼玉東萌短期大学	高大連携事業	令和6年度	高等学校			教育連携協定締結校に吉川美南高等学校を加え、大学教育と高等学校教育の接続の円滑な進行、及び双方の発展に資することを目的とした、「高大連携校対象夏休み保育講座」を実施している。
562	武蔵丘短期大学	インターンシップ	平成3年度	企業	その他		学生が本学で学んだ知識や指導技術を活かす場として、企業や団体において実習的・研修的な就業体験を行う。
563	武蔵丘短期大学	自治体主催講座への講師派遣	平成4年度	地方自治体			東松山市、吉見町、滑川町、鳩山町、川島町、北本市へ講演、実技指導の講師派遣。
564	武蔵丘短期大学	県内の高等学校との事業	平成24年度	高等学校			主に高大連携協定校などへ教員が講演や模擬授業などを実施している。
565	武蔵丘短期大学	大学と連携した人材育成	平成29年度	その他			本学の学生に対してB&Gによる海洋リーダー研修を実施して、研修を受けた学生が吉見町の子どもたちに実施する安全教室ボランティアやプール教室の補助を実施している。
566	武蔵丘短期大学	埼玉東上地域大学教育プラットフォーム(TJUP)	平成30年度	大学・短期大学	地方自治体	企業	埼玉県内の18に及ぶ大学や自治体及び企業が連携し、単位互換・公開講座・学生募集・地域リスクマネジメント・共同研究・履修証明型市民大学の提供・地域連携の推進等を実施している。
567	山村学園短期大学	埼玉東上地域大学教育プラットフォーム 公開講座	令和7年度	大学・短期大学	企業	地方自治体	「武蔵国の19校を通じて埼玉を知る2025」-新・名物先生大集合」
568	山村学園短期大学	こども大学はとやま	令和7年度	地方自治体	大学・短期大学	小・中学校	鳩山町小学生対象に鳩山町教育委員会、東京電機大学、日本医療科学大学、山村学園短期大学による講座(計4回)を行った。
569	山村学園短期大学	東松山市 このゆびと～まれ！フェスタ	令和7年度	地方自治体	幼稚園・保育園	地域団体(NPO、ボランティア、自治会等)	東松山市子育てねっとを中心に児童施設による出展ブースを設け、幼児・児童と親子に遊び学べるイベントにボランティアサークルが参加した。
570	山村学園短期大学	東松山アートフェスタ	令和7年度	地方自治体	大学・短期大学	地域団体(NPO、ボランティア、自治会等)	高坂駅西口から続く野外彫刻ギャラリーとともに地域アーティストによる作品展示、ワークショップなどが実施された。本学はワークショップで参加した。
571	山村学園短期大学	鳩山町つどいの広場ぽっぽ運営	令和7年度	地方自治体	幼稚園・保育園	地域団体(NPO、ボランティア、自治会等)	鳩山町と連携し、つどいの広場ぽっぽ事業を実施することにより、地域における子育て支援の推進と人材の育成に寄与することを目的とし、子育て親子交流、相談、援助、教養講座等を実施した。
572	山村学園短期大学	鳩山町こどもの居場所づくり支援	令和7年度	地方自治体	小・中学校		鳩山町と連携し、小学生の夏休み期間にこどもの居場所づくり支援業務を行った。